# 文部科学省 平成20年度戦略的大学連携支援事業 口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考

### 平成20年度 口腔医学自己点検・評価報告書



平成21年6月 口腔医学自己点検·評価委員会

#### はじめに

平成20年度戦略的大学連携支援事業「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」は、現代社会の医療に対するニーズから乖離しつつある、現在の歯科医学教育を、次代にマッチした口腔医学として再編し、口腔疾患と全身疾患との関連について十分な知識を持ち、口腔ケアを含む口腔疾患の予防・治療ができる医療人の育成を目指す取り組みである。本取り組みの最終的な目標は現在の医学・歯学教育体制の改善を図り、医学・歯学を統一した一体教育を実現することにある。これらの目標に対して2008年度は具体的な事業内容として、1)歯学部学生および医学部学生に対する口腔医学カリキュラムの作成、2)諸外国での医師・歯科医師養成教育の視察によるグローバルな視点での口腔医学教育の考察、3)FD事業(国内シンポジウムの開催)、4)SD事業、5)テレビ会議システムの導入、6)社会への情報発信、が行われた。

口腔医学自己点検・評価委員会ではこれらの事業に対し点検・評価を行い、現状、自己評価、改善策について報告書を作成した。この報告書が今後の事業のフィードバック資料として活用されることを切に希望する。尚、今回は評価のためにシンポジウムに関してのみ参加者のアンケート調査を行ったが、2009年度は学生、担当教職員、介護施設職員に対してもアンケートを実施し自己点検・評価に加える予定である。

2009 年 6 月 口腔医学自己点検・評価委員会

#### 口腔医学自己点検・評価委員

北海道医療大学中山英二

岩手医科大学 武田泰典

昭和大学
立川哲彦

神奈川歯科大学 久保田英朗

神奈川歯科大学 赤羽根龍夫

鶴見大学福島俊士

九州歯科大学 高田 豊

福岡大学 出石宗仁

福岡歯科大学 谷口省吾

#### I 口腔医学カリキュラム作成の取組

#### 1) 現状

口腔医学カリキュラム作成担当者会議では3回の会議を開催し、口腔医学カリキュラム作成のための方向性の検討を歯学部での口腔医学教育の現状及び医学部での歯学教育の現状の調査を行った。

#### A. 口腔医学カリキュラム作成担当者会議

資料1に会議の議事の要旨を示す。会議では 8 大学間での口腔医学に関する講義形式の方向性、海外視察についての議論があった。その中で、講義室の確認、共通講義あるいは DVD 利用など講義方法の検討、および立案の時期についての検討を行った。また、口腔医学カリキュラム作成に当たり連携 8 大学の医学系授業科目の授業内容やコマ数など現状について確認を行った。一般歯科医に対する内科学的知識の重要性についてのアンケート調査の必要性などの意見も出された。

#### B. 連携大学(8大学)の医科系授業科目の内容とコマ数の確認(アンケート)

- (1) 口腔医学カリキュラム作成のために連携大学の医科系授業科目が整備され、適切に 運営されているか。
- ①連携大学(8大学)の医科系授業科目は内科学、外科学、小児科学、皮膚科学、整形外科学、産婦人科学、耳鼻咽喉科学、泌尿器科学、眼科学、神経精神科学が共通コア科目として授業が行われている(資料2)。
- ②内科学の授業は $28 \sim 35$  コマ、外科学は14 コマ $\sim 30$  コマの授業が行われているが、他の医科系科目は2 コマ $\sim 7$  コマの授業時間数である。
- ③連携大学の医科系臨床教育は総授業数の2~15%である。関連授業科目である生命科学教育は25%~35%である。これに対して口腔臨床科目は37~55%である。 医学部の場合、医科系臨床教育は40%、生命科学教育は40%、口腔系臨床教育は2%である。
- ④共通コア科目以外では、脳神経外科学、臨床薬理学、生体管理学、美容医療学、臨床 検査学、リハビリテーション学、などの授業が行われている。
- ⑤内科系や外科系の医科系臓器別講義(循環器病学、呼吸器病学、腎臓病学、消化器病学)は福岡歯科大学で行われているが、他の大学ではコア授業の中に組み込まれている。
- ⑥医科系教育の中で、診断診察学あるいは検査診断学として独立した授業科目はなく、 医科系教育の各授業の中で教えられている。
- (2) 口腔医学カリキュラム作成のために連携大学の医学部の中で、口腔系臨床科目が整備され、適切に運営されているか。
- ①医学部で口腔系臨床科目教育は総授業数の2%であった。

- ②口腔系臨床科目は歯科口腔外科学が講義されている。
- (3) 口腔医学としての保存学や補綴学が生命科学基盤として整備され、適切に運営されているか。
- ①現状では歯科医療に特化した技術であるという考えで、歯科教育の中心をなしている。
- ②その理論や技術は長年の間培われ、進歩し、口腔機能の回復・保全のみならず、全身 の機能回復にも関与している。
- ③一方、保存、補綴教育はあまりにも技術や手法の習得に走りすぎた感をゆがめないために、口腔組織を中心としたリハビリテーション医療の一環として位置づけする可能性がある。

#### 2) 自己評価

#### A. 口腔医学カリキュラム作成担当者会議

平成 20 年度は3回の口腔医学カリキュラム作成担当者会議を開催した。8 大学の医学系講義カリキュラムの収集と大学間の時間数の相違を確認することができた。特に福岡大学のみ医学部であるため、他の7 大学歯学部の講義の医学系授業のコマ数などとの比較の参考になった。

一方、海外視察(アメリカ合衆国の5大学、ヨーロッパの英国、チェコ、フランスの 歯学部)での医学系教育カリキュラム内容の収集を通して、日本より、先を見越した将 来性を踏まえた教育内容が充分にうかがわれた。特に歯学部教育のカリキュラム内容は、 各大学で毎年必ず改善を行い、現状の医療に即した内容となるように、各大学のカリキュラム検討委員会にてブラッシュアップされていることが理解できた。また、カリキュ ラム専任教官のいる大学もあり、教育内容の充実はその大学のカラーにもなっているこ とがうかがわれた。(資料3、資料4)

今回の福岡大学を除く7大学歯学部の医学系教育内容は、生命科学系、医科系教育ともに視察した他国の大学より、いささか不足していることが示唆できた。特に内科系教育(歯科に関連する内容を含む)の充実は必須との意見が各委員からあった。

#### B. 連携大学(8大学)の医科系授業科目の内容とコマ数の確認(アンケート)

#### (1) 医科系授業科目について

連携8大学の医科系授業科目は内科学、外科学、小児科学、皮膚科学、整形外科学、産婦人科学、耳鼻咽喉科学、泌尿器科学、眼科学、神経精神科学が共通コア科目として講義がなされ、関連した脳神経外科学、臨床薬理学、生体管理学、美容医療学、臨床検査学、リハビリテーション学も講義されている点は充実した授業科目と言える。各大学間で授業時間数に幅がみられるが、概ね歯科医学教育に必要な医科系授業科目が実施されている。しかし、現状の歯科医学教育に求められることと足りない点もあり、アンケート調査では、麻酔学、救急医学、腫瘍学、心療医学などの科目の授業の必要性、あるいは臓器別の疾患の授業科目などが望まれている。診察診断学あるいは診断学、症候学

においても、各大学で独立した科目として授業がなされておらず、他の科目の中に組み込まれて講義されている。今後、診察診断学の位置づけとその充実を口腔系臨床教育と関連づけて充実させることが重要と考える。医科系臨床科目の授業数は総授業数の2%~15%であり、大学間の授業数の差が認められる。アンケートによれば平均20%の授業数の増加を望んでいる。また、共通したシラバスでの一般目標、到達目標、教育方法、医科系科目の評価と評価に対する位置づけが調査されておらず、この点の調査が望まれる。

一方、医学部の中で、口腔系臨床科目の講義は少なく、口腔医学に対する重要性の認識がないのが現状である。この重要性を広く認識させることが重要と考える。医学部の口腔系臨床科目は口腔外科学が主体となっているが、連携大学での医学部に望む口腔系臨床科目の授業は歯科学の特徴である歯周病学、歯科保存学、歯科補綴学などの生命科学的基盤に立脚した講義が望まれている。

#### (2) 保存、補綴系口腔医学について

保存・補綴系の口腔医学は内容、授業時間数共に十分に行われているが、現時点の教育はその技術や手法の習得が重要視され、生命科学的基盤に立脚していない部分がある。保存学、補綴学は口腔機能の回復・保全のみならず、全身の機能回復にも関与しているために、口腔組織を中心としたリハビリテーション医療の一環として位置づけすることを考慮したカリキュラムが望まれる。

#### 3) 改善・向上方策

耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、小児科など従来行われていた口腔系臨床科目と非常に密接した主要科目以外の医科系教育以外に、心療内科、形成外科、救急医学、再生医学、血液学、腫瘍学などの教育の必要性がある。さらに診察診断学などは各科目の中で行うばかりでなく、独立した科目として取り上げ、検査学とあわせて部位別に行うことが望まれる。口腔医学カリキュラムの充実の一つの方策として、医科系科目の授業が十分に行われているかを詳細に検証するために、各大学における、医科系科目の教育の一般目標、到達目標を明確にし、共通したコアカリキュラムの作成が望ましいと考えられる。アンケート調査によりその準備を行っている。また医科系科目と口腔系臨床科目あるいは生命科学教育との整合性を整備する必要があり、より深く関連づけられた教育カリキュラムの作成が望まれる。そのために、医科系科目と口腔系臨床科目や生命科学教育との関連性を詳しく調査すべく準備中である。

8大学間で共有できる講義の可能性についての検討では、その場合の授業科目の選定と実行できる大学の教員の把握、大学間連携カリキュラムの方向性の確認、実行方法の検討を早期に行う必要がある。また、医科系科目の成績評価と評価に対する位置づけに関しては現時点でアンケート調査が行われていいないために、その調査を準備中である。一方、医学部の中で口腔医学に対する重要性の認識がないのが現状であり、この重要性を広く認識させることが重要と考える。そのためには口腔医学の必要性を説明し、ギ

ャップを埋める必要がある。

保存学、補綴学に関しては歯科医療の中心であり、その技術の習得も重要であるが、 生命科学的基盤に立脚した臨床手法の習得や口腔医学としてのリハビリテーション医療 の部分として捉え、その確固たるエビデンスを構築する必要がある。また、現在の日本 での歯科医療において、一般の開業歯科医師が、内科医学的知識の必要性をどの程度、 切望しているかのアンケート調査を早期に実現する必要がある。

#### Ⅱ 海外視察

#### 1) 現狀

平成 21 年1月と2月に、本事業に参加する8大学の中から選出された9名の視察員が、 米国5校およびヨーロッパ3校の合計8校を手分けして訪問し、各大学のカリキュラムに ついて、特に「口腔医学」教育がどのように行われているかについて調査してきた(資料 4)。また、その調査結果についてテレビ会議による報告会を開き、8大学教員に周知する とともに、内容について質疑した。

#### A. 海外視察の対象大学と実施時期:

米国北部 2009/1/12~1/18

Harvard School of Dental Medicine, Tufts University

米国中西部 2009/2/8~2/14

University of Missouri-Kansas City, University of North Carolina

ヨーロッパ 2009/2/1~2/8

University of London, (King's college), Charles University in Prague, University of Louis Pasteur in Strasbourg

#### B. 海外視察の聴取内容

視察の内容は以下の通りである、

- ①現行カリキュラムの長所と短所
- ②現行カリキュラムの詳細。各科目の講義・実習の時間数・受講学年など。シラバス自体を受け取る。
- ③現状に加えて、今後の方向性は?
- ④視察国の医療事情。特に、歯科医療の役割・位置づけと将来の方向性。
- ⑤歯科医師養成数について、その需給バランスを決めているのは行政か自律的か。
- ⑥卒後教育、特に歯科系専門医制度とその教育システム。

#### C. 海外視察報告会

- ①口腔医学カリキュラム作成担当者第1回 TV 会議:2009 年 3/5 (木) 18:00~19:20
- ②海外視察報告会 TV 会議: 2009 年 3/23 (月)  $15:00\sim17:10$

#### D.海外視察報告内容

各大学視察の結果が各視察担当者から報告された。

①Harvard School of Dental Medicine は1年生と2年生で90%が医学部学生と同時受講

で生命科学の授業を受けている(10%は歯科・口腔の専門教育)。ADA の CODA (Commission on Dental Accreditation) ガイドラインに沿った教育。歯学部教育は大学院教育であり、歯学教育のリーダーと研究者育成を目指している。

- ②<u>Tufts University</u>は総カリキュラム 3253 時間中生命科学 27.1%、医科系臨床教育 26.1%、歯科口腔系教育 46.8%。特に、内科系医学知識を習得した臨床歯科医師を育成する方向性がある。
- ③University of Missouri-Kansas City は 63 項目からなる Competence を重視した教育を行っている。医学部教員が心血管系、外科、老人病学などを教えているが、頻度が高い全身疾患は病理や歯周病の歯科医師が担当し実践的な教育を行っている。2 年生春季に心血管、呼吸器、腎臓、肝臓、胃腸、内分泌、筋骨、血液、SAS、全身疾患評価、紹介状の書き方と全身疾患と歯周病の関わりを、3 年生秋期に栄養、口腔医学を教えている。
- ④<u>University of North Carolina</u>は2年生で医科救急、老年学を、3年生で外科学、歯科 医のための内科学を教えている。新しい試みの一つとして、全身疾患と口腔疾患の位 置づけを入れている。
- ⑤<u>University of Kentucky</u> は医学的知識が豊富な、外科処置ができる、社会通念が備わっている、Critical Thinker である歯科医師を育成することを目標とする。Competency based education を重視し、全体の中で生命科学 20%、歯科臨床科学 75%、行動科学・社会科学・研究方法 5%。全身疾患を持った患者の管理方法の授業がある。
- ⑥ King's College は GDC (General Dental Council) が作成した教育指針に従いカリキュラムを作成している。医科系講義・実習は 7~8%である。学外実習が充実している。 医科系実習も院外で実施。時代は総合歯科医師から技術重視へ動き、インプラントや歯科矯正を目指す歯科医が多い。Oral Medicine Drにはdouble licence が必要である。
- ⑦Charles University は新カリキュラムに変わり医科系講義・実習が以前は50%であったが、その後減少する傾向にあった。ただ、新カリキュラムでも1,2年生は50%が医科系科目で、卒後教育3年間の中に内科3か月、外科3か月、麻酔1か月が入っている。
- ® <u>Strasbourg University</u> は 2009 年から新カリキュラム。1 年生は医歯薬共通授業。医科系授業は多くない。

今回調査したすべての大学において、教育は Stomatology としてでなく Odontology としてカリキュラムが組まれていた。EC 加盟国のシステムはすべて共通となるよう調整中であった。すなわち、これまで Stomatology だったチェコでも Odontology に移行中であった。

#### 2) 自己評価

視察報告会の事前検討として 8 大学を結ぶ TV 会議が 3/5 (木)  $18:00\sim19:20$  に熱心に行われた。また、最終報告会も福岡歯科大学を中心とした 8 大学 TV 会議で 3/23(月)

15:00~17:10 に非常に熱心な報告会が開催された。この事業が立ち上がったのは平成20年9月で、事業を企画・実施するには時間的な制約が大きかったにもかかわらず、短期間のうちに海外視察団を組織し、訪問大学の選定、当該大学との訪問日時の調整、具体的な調査内容の検討などの準備を行い、結果的に訪問大学が作成したカリキュラムの一覧表を初めとする貴重な情報を収集した。海外大学歯学部視察は米国5大学、欧州3大学で実施されており、我国よりも歯科医療・歯学教育が先進していると考えられる欧米における歯学教育、特に口腔医学教育の実態の把握として十分な数・地域の大学視察が実施されたと考える。また、視察内容も一貫した方針に基づいており大学・地域間の比較検討が容易であった。

口腔医学・医科系教育に関してはその内容の定義が明確でなく、大学ごとに多少異なった単語で表現されており、カリキュラム全体の割合だけでは我が国よりも多いか少ないか、重視されているか軽視されているかの評価が困難である。欧米では以前は医科系教育が我が国より重視されていた大学もあったが、最近の方向は歯科臨床教育重視であり、隣接医学教育は我が国と同等になっているように考えられる。

#### 3) 改善・向上策(従来計画)

今回の海外視察で、おおまかながら欧米の情況が明らかとなった。今後の活動としては得られた情報の分析、分析結果に基づく検討、調査対象大学の増加など改善が望まれる。欧米では CODA (Commission on Dental Accreditation) ガイドライン、Competence を重視した教育、GDC (General Dental Council) 教育指針などの一定の方針に基づく 歯学教育が実施・評価されていることから、これらのガイドラインや教育方針を詳細に 読み解くことで、我国のコアカリキュラム改善への具体的提言を行うことが、「海外視察、報告会の実施」からみた改善・向上方策にあたると考える。

#### Ⅲ. FD研修について(口腔医学シンポジウム)

#### 1) 現状

平成21年1月22日福岡県歯科医師会館で、「口腔医学」-歯科医療の将来像-というテーマで口腔医学シンポジウムが開催された。福岡歯科学園の田中健蔵理事長の挨拶の後、5名の講演者の講演があり、その後活発な討論が行われた。<u>資料5</u>はそのプログラムである。各講演のテーマを以下に示す。

- ①基調講演「なぜ?今、口腔医学か」(演者:福岡歯科大学学長 本田武司氏)
- ②「医歯二元論の歴史と展望」(鶴見大学歯学部特命教授 瀬戸晥一氏)
- ③「口腔医学の果たすべき役割と進むべき方向」(北海道大学歯学部口腔病態学講座教授 戸塚靖則氏)
- ④「医学・歯学教育の将来」(国立国際医療センター名誉総長 鴨下重彦氏)
- ⑤「医学と歯学によるチーム医療」(福岡大学医学部耳鼻咽喉科学講座教授 中川尚志氏)
- ⑥ 討論 (モデュレータ 福岡歯科学園 理事長 田中健藏氏)

このシンポジウムの要旨として、(1) 現在の歯科医学を、医学の一分野としての口腔医学として再構築し、国民の健康に寄与できる医療を提供することが求められていること、(2) そのための歯学教育を現状から、広く医学に立脚した「口腔医学」に再構築する必要があること、の二点が共通認識として得られた。

今後、21年度、22年度についても同様な FD 研修、シンポジウムを開催し、連携校間での意識統一をはかっていく予定である。

#### 2) 自己評価

福岡歯科大学の出席者に行ったアンケートの内容および結果を<u>資料 6</u>に示す。 アンケートでは

- ①平日に行われたこともあり、出席者の多くは 40 代以上が多く、教授または准教授が多かった。内訳では臨床系の歯科医師が多かったが専門の診療科に偏りはなかった。
- ②ほとんどの回答者が講演以前に口腔医学の概念についての知識を有していた。
- ③講演者の人選に関しては適切あるいは普通という回答が多かったが、口腔外科系の偏り を指摘する意見もみられた。
- ④歯学教育に医学教育をこれまで以上に増やすという考えにはほとんどの回答者が賛成していた。
- ⑤また、医学教育に口腔医学を取り入れた教育を行うことに関してもほとんどの回答者が 賛成していた。
- ⑥ほとんどの回答者がこれからの歯科医療にとって口腔医学の確立は必要と考えていた。
- ⑦次回のシンポジウムに関して討論してもらいたいテーマでは、実際の臨床の歯科医療の あり方、学生教育の変化(臨床模型実習含む)、諸外国での医科と歯科の歴史的背景、歯

科医療における患者の全身状態の把握、歯科臨床の現場における医学教育の必要性などがあげられた。また、講演者に関しては口腔外科以外の歯科医師、開業医、行政(厚生労働省)、一般市民、父兄や学生など幅広い意見が必要と考えている回答が多かった。

このシンポジウムは歯学、医学教育機関、医療機関に所属する医療関係者、およびそれらの機関の事務担当者を対象にして行った FD であった。そして医学教育と歯学教育の統合である「口腔医学」の構築の必要性があるという認識を共有する上で有意義であった。隣接の耳鼻科の意見も聴くことができたのも有意義であった。

一方、医療、および医学、歯学教育における「口腔医学」の構築の必要性が、広く国民、および行政関係者にも理解されてその必要性が認識されないと、最終的に実効性のある「口腔医学」の構築は実現しにくい現実がある。今後は、その方面への FD や広報も必要となると考えられた。

#### 3) 改善・向上方策(将来計画)

将来計画として、行政、患者団体、および医学教育機関とも連携し、アンケートでも意見があったように幅広い意見が必要である。また講演者として、医学部、各診療科の医師(口腔外科系以外)、行政(厚労省)、一般市民、コメディカル・コデンタルスタッフ、医師、歯科医師会、医師会の意見をきくことが必要と思われる。講演者だけでなくテーマも考慮する必要がある。医学教育と歯学教育の統合である「口腔医学」の構築の必要性を広く議論し、国民の合意形成を行うためのFD研修やシンポジウムが計画されるのが妥当と考えられる。

#### IV. SD研修

#### 1) 現状

平成21年2月19日、20日の2日間、福岡歯科大学にてSD研修を行った。その概要を 下記に示す。

(1) 目的

連携大学の中核的職員に対し、現在直面している又は今後の課題は何かを認識させ、それらの問題解決能力向上を目指す。

(2) 日時

平成21年2月19日(木) $13:30\sim16:30$ 平成21年2月20日(金) $09:00\sim14:15$ 

(3) 場所

福岡歯科大学:本館8階第3会議室、803講義室

- (4) 研修プログラム (資料7)
- (5) 概要

初回のSD研修であったため、①医歯連携によって「口腔医学」の学問体系を確立し、その教育体制を育成する必要性及び本連携支援事業のコンセプト、本事業を行う必要性、事業の内容等に関する講演に重点を置いた。②連携大学職員の交流を深めるため、フリーディスカッションの時間を多く設け、問題点を出し合い、それに対して各大学ではどのような取り組みを行っているかの話し合いを行った。③問題解決能力向上を図るため、これからの大学職員としての役割と能力開発の重要性及び「高等教育及び私学の現状と問題点」に関する講演を実施した。

#### 2) 自己評価

SD研修終了時に参加者へのアンケート調査を行った(<u>資料8</u>)。その結果、上記①は、「口腔医学」や本事業への理解が深まった。研修参加前は、支援事業の内容や事業としてのSD研修について知識が無かったが、方向性が見えてきた。これから行われる口腔医学についての概要説明を受け、連携校との交流を行ったためであると考えられる。②は、歯科大学としての職員交流は今まで皆無であったのが、本音の意見交換ができ非常に有意義であった。他大学の取り組みを参考にできることができた。③事務職員の役割の大きさを痛感した等の意見をいただき、概ね所期の目的は達成できたと思われる。

運営面においては、予定プログラム通り進行でき、TV会議システムによる講演の配信も ほぼ問題なく行えた。

#### 3) 改善・向上方策(将来計画)

次年度以降の研修については、教務部門としてのSD研修では何が必要であるか、管理 部門としてのSD研修では何が必要とされるのか、総合的に大学人として何が求められて いるのかなど、細分化して行うことも視野に入れたい。具体的には本事業の目的達成のた めに職員が出来うる支援等及び問題解決能力向上の一環として、職員の意識改革や業務改革等の実践事例等に関するSD研修の実施を計画したい。改善点として、開催時期の見直し、参加者に対する研修の連絡案内窓口(企画課または総務課)の一本化を図る予定である。20 年度の職員交流は非常に有意義であったが、現状報告が主体となった感も多分にあった。大学職員としての問題解決能力など能力開発の向上ができるプログラム設定など連携校で定期的な話し合いを行わなければならない。

#### V. テレビ会議システムの導入

#### 1) 現状

本事業の連携校の所在地は、北海道から九州地方までの広域にわたることから、連携校の円滑なコミュニケーション及び担当教員の物理的負担及び事業経費の軽減を目的として、各連携大学の会議室に本システムを導入した(資料9)。運用に際しては大きなトラブルも無く、ほぼ当初の計画通り使用した。平成20年度1月以降に本システムを利用して同時配信した会議・講演等の実施回数は、計11回であった。

#### TV会議システム使用一覧

月日	時間	会議タイトル	参加大学
1月20日	11:00~ -	TV 会議システム検収	全大学
2月12日	10:30~11:23	TV 会議システム運行管理者講習会	福大・北海道除く
2月19日	13:20~16:24	平成 20 年度 SD 研修配信(第1日目)	全大学
2月20日	10:20~11:53	平成 20 年度 SD 研修配信(第 2 日目)	全大学
2月24日	17:30~18:03	第1回戦略連携事業実施担当者 TV 会議	全大学
3 月 5 日	18:00~19:25	第1回口腔医学カリキュラム作成担当者 TV 会議	全大学
3月12日	16:50~18:40	第 2 回戦略連携事業実施担当者 TV 会議	全大学
3月23日	13:20~15:10	平成 20 年度自己点檢·評価委員会 TV 会議	全大学
3月23日	15:11~17:23	海外視察報告会 TV 会議	全大学
3月24日	17:20~18:50	FD 講演会 『我が国の歯科保健医療飛躍の課題』	
3月31日	9:19~10:14	SD 打ち合わせ (神奈川-福岡歯科)	福歯・神奈川

#### 2) 自己評価

本システム導入の目的である、連携校の円滑なコミュニケーション及び担当教員の物理的負担及び事業経費の軽減については、充分達成されたと考えている。また、SD・FD 研修を本システムを利用して同時配信したことによって、多くの連携大学教職員の意識向上を図ることができ、学生教育の改善に反映することが可能となった。さらに、平成21年度に導入する各連携大学の講義室を結ぶテレビ授業システムの基幹となるネットワークシステムを構築することができた。会議の画像や音声の質にも支障のないレベルであった。

一方、問題点としては、会議開始時点で連携校の全てが、本システムに接続されること がない場合がある点が挙げられる。

#### 3) 改善・向上方策(将来計画)

今年度の使用実績により、本システムの有用性が確認できたため、平成21年度はさらに利用回数を増やしていく予定である。また、本システムにより整備した高速ネットワークシステムを利用し、各大学内のサーバーから講義室等への通信システムを整備し、平成21年度には各連携大学の講義室を結ぶテレビ授業システムを導入する計画である。なお、前述の問題点については、全ての大学が会議開始30分前に本システムの電源を入れ、20分前には代表校である福岡歯科大学と接続されているかの確認を徹底することで改善していく。

#### VI. 社会への情報発信

#### 1) 現状

戦略的大学連携支援事業が文部科学省から採択されて以降、社会への情報発信として、 新聞社へのリリース、各大学の広報誌及びホームページへの掲載並びに補助金による週刊誌、新聞紙への広告を行った。

また、文部科学省が主催し、パシフィコ横浜で開催された平成 20 年度大学教育改革 プログラム合同フォーラム・ポスターセッションへの参加並びに口腔医学シンポジウム を開催するなど、この取組みの情報発信を行った。さらに、私立歯科大学・歯学部、歯 科医師会等へ口腔医学の創設・育成について協力要請を行った。

なお、各情報発信内容は下記のとおりである。

#### 【新聞関係】(資料10)

- ①日本歯科新聞(平成20年11月4日):「連携事業採択及び事業内容」
- ②日刊歯科通信(平成20年11月5日):「連携事業採択及び事業内容」
- ③西日本新聞(平成20年12月21日):「連携事業採択及び事業内容」
- ④教育学術新聞(平成21年1月21日):「連携事業採択及び事業内容」
- ⑤日本歯科新聞(平成21年2月10日):「口腔医学シンポジウム」
- ⑥日刊歯科通信(平成21年2月24日):「SD研修」
- (7)日本歯科新聞(平成21年2月24日):「SD研修」
- ⑧教育学術新聞(平成 21 年 2 月 25 日): 「SD研修」
- ⑨週刊文春広告(平成21年3月26日):「連携事業採択及び事業内容」
- ⑩西日本新聞広告(平成21年3月29日):「連携事業採択及び事業内容」

#### 【ホームページ】(資料11)

- ①ホームページ掲載内容(例:代表校)
- ②私立大学協会加盟大学専用サイトHP:「口腔医学シンポジウム」
- ③私立大学協会加盟大学専用サイトHP:「SD研修」

【大学教育改革プログラム合同フォーラム・ポスターセッション】(<u>資料12</u>) 大学教育改革プログラム合同フォーラム・ポスターセッション参加時ポスター

#### 【口腔医学シンポジウム】(資料13)

平成21年1月22日 福岡市(福岡県歯科医師会館)

#### 2) 自己評価

代表校からの関連新聞社(教育学術新聞、日本歯科新聞)、週刊誌上、学士会報誌上、及び福岡歯科学園ホームページ上での情報提供は迅速に行っており、現状では十分に社会への情報発信を実施している。しかし、連携校からの情報発信が不十分であるように思える。また、私立歯科大学・歯学部、歯科医師会等へ口腔医学の創設・育成について協力要請を行っているが、国立大学、医師会、関連学会への協力要請を行う必要がある。

「口腔医学」の根幹をなす考え方について、社会へ情報発信する事業に当たるもので、8 大学間で事前に十分な討論がなされるべき事業である。その意味では、「口腔医学シンポジウム」が異なる立場の演者からそれぞれ発表があったことは有意義であった。また。演者間にみられた意見の共通点や相違は今後十分に論議されるべきである。それを経て社会に情報発信される必要がある。今回のシンポジウムが FD 事業の一環として実施されたのはこの視点によるものと思われる。

#### 3) 改善・向上方策(将来計画)

平成 21 年度以降も継続した社会への情報発信が必要で、特に具体的な提言を発信することが重要である。代表校及び連携校から地域の新聞社、関係団体(学会、医療界)への情報発信を積極的に行うことが必要である。また、この連携事業を解りやすく解説するパフレットを作成し、大学、学会、医療界へ配布して広く社会へ周知する必要もある。ホームページについては、連携大学でもトップページに項目立てするなどの工夫が必要と思われる。このように情報発信を強化するには、各大学とも広報に関する組織・体制作りが必要と考える。

前項でも触れたが、「口腔医学」の根幹に関係するものなので、今後とも多くの識者の意見を聞くための開かれたシンポジウムの開催が望ましい。その際に、「歯科医学」を中心とする現在のカリキュラムの点検・評価も十分に行うことが望ましい。それを通して、問題点を抽出し、その解決策を「口腔医学」を中心に据えたカリキュラムがどのように提示できるのか、という順序を踏むことが異なった立場の方々に本事業を理解していただくための近道と思われる。

#### 口腔医学カリキュラム作成担当者会議要旨

第1回「口腔医学カリキュラム作成担当者会議」

日時: 平成 20 年 11 月 4 日 (火) 13:30~16:30

場所:福岡歯科大学 第3会議室

議題

1. 口腔医学カリキュラム作成についての計画案

期 間 : 平成 20 年~平成 22 年の 3 年間

組 織 :口腔医学カリキュラム作成委員会担当者会議の構成員の報告があっ

た。

助成金 : 概要についての報告があった。

TV会議:同システムの利用開始時期と、その利用方法の説明があった。

講義形式:8大学間での口腔医学に関する講義形式の方向性についての立案の開

始の説明があった。それに関して、各大学から大講義室、PCルー

ムなどの使用は可能との発言があった。

スケジュール:8 大学での口腔医学教育の方向性の議論があった。同日、同時間での

共通講義を行うのか、DVD利用での8大学での講義形式で行うのかの方向性を討論した。平成21年度の9月、10月頃までには平成

22 年度開始に向けての立案を行うとの討論結果であった。

2. その他

第2回「口腔医学カリキュラム作成担当者会議」

日時: 平成21年1月22日(木)10:00~12:30

場所:福岡県歯科医師会館 第3会議室

議題

- 1. 口腔医学カリキュラムの作成について
  - 1) 連携8大学医学系授業科目一覧:

内科学など医学系授業内容とコマ数の報告と確認があった。

2)海外視察

北米グループの視察報告と感想、助言があった。他のグループの打ち合わせ を行った。

2. その他

次回開催からTVモニターを利用した会議を行うとの報告があった。毎月、第1木曜日の18:00 から行うこととなった。

第3回「口腔医学カリキュラム作成担当者会議」

日時: 平成21年3月5日(木)18:00~19:30

各大学TV会議用会議室

議題

1.「歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」の第1次報告について 大学視察報告:ヨーロッパ

米国中部

アンケート調査:鶴見大学の子島先生から歯科医師の内科医学的知識の重要性に ついてのアンケート調査を行ってはとの意見があった。「一般歯 科医(特に開業歯科医師)における歯科診療時に必要な口腔医 学教育」

2. その他 : 次回の日時の確認

#### \*海外視察報告会(TV会議)

日時:平成21年3月23日(月)15:00~17:00

場所:各大学TV会議用会議室

議題

- 1. 海外視察報告
  - ① 北米
- Harvard School of Dental Medicine
- Tufts University
- ②ヨーロツパ
  - · University of London, (King's college)
  - Charles University in Prague
  - University of Louis Pasteur in Strasbourg
- ③アメリカ中西部
  - University of Missouri, Kansas City School of Dentistry
  - University of North Carolina
  - · University of Kentucky
- 2. 上記報告の後、「海外の状況をふまえて、口腔医学カリキュラムのあるべき姿を検討する」という方向性を8大学のカリキュラム作成担当者で確認した。

#### 8大学医学系授業科目一覧表

	常勤:★																							
科目	岩手医科大学	常勤/非常勤	コマ数 *(時間)	大学	常勤/非常勤	コマ数	鶴見大学	常勤/非常勤	コマ数	北海道医療 大学	常勤/非常勤	コマ数	神奈川歯科 大学	常勤/非常勤	コマ数	昭和大学	常勤/非常勤	コマ数	福岡歯科大学	常勤/非常勤	コマ数	福岡大学	常勤/非常勤	コマ数
		*		内科学I	*		内科学I	*	14	内科学	*	30	内科学	*	35				内科学総論	*	13			
内科学	内科学(実習)		*(4)	内科学II	*	15	内科学II	*	14										内科学各論	*	20			
1314-3-				内科学III	*		内科学III	*	14										臨床内科学 講義	*	7			
外科学	外科学		15	外科学I	*	15	外科学I	*		外科学		12	外科学	*	29				外科学総論	*	14			
	1 15 51 34			外科学II	*	15	外科学II	*	14	1 15 5 1 39									L ID & LW		_		1	
小児科学	小児科学			小児科学		8	+ + 1.1 ×			小児科学		7	/ <del></del> <del></del>						小児科学		9	小児医学	*	38
皮膚科学	皮膚科学		6	皮膚科学	1	8	皮膚科学		6	皮膚科学		3	(皮膚科学)	*	2				皮膚科学		/	皮膚科学	*	20
神経 精神医学	神経精神科学		6	精神医学		8							(精神科学)		4				精神医学• 心身医学	*		精神医学	*	28
臨床	臨床検査医学		6																			検査診断学	*	15
検査医学																						診断学実習概説	*	21
	専えという				-					専るとと									하고 된 지 수			診断学実習	*	- 00
整形外科 産婦人科学	整形外科学 産婦人科学		6		1					整形外科学 産婦人科学		6							整形外科学 産婦人科学		7	整形外科学 産科婦人科学	<b>★</b>	28 38
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科学		6	耳鼻科学		15	耳鼻咽喉科学		5	<u>库州人科子</u> 耳鼻咽喉科学		4	(耳鼻 咽喉科学)	*	6				<del>连州八付子</del> 耳鼻咽喉科学	*		<u>库科娜人科子</u> 耳鼻咽喉科学	*	24
眼科学	眼科学		6	眼科学	+	0	眼科学		5	眼科学		6	(眼科学)	*	2				眼科学		7	眼科学	*	24
泌尿器科学	泌尿器科学		6	政行士	+		吸行于		J	政行士		U	(政性于)	_					吸行于			泌尿器科学	*	23
薬	薬局(実習)		*(18)													くすりと体	*	6				薬剤学	<del>^</del>	8
医学概論	<b>太月</b> (人日)		1(10)										医学概論	*	14		^	Ū	医·口腔医学 概論	*		<u>本州</u> 臨床医学入門	*	26
																			(臨床医学概論)	*	15			
薬理学													臨床薬理学	*	14									
生体管理学													生体管理 医学	*	15									
隣接医学																								
循環•呼吸•																			(循環·呼吸· 腎臓病学)	*		腎臓·膠原病学	*	32
腎臓病学																						循環器病学	*	32
																			(11)			呼吸器病学	*	29
消化器病学																			(消化器病学)	*		消化器病学	*	47
腫瘍・炎症学					-														腫瘍・炎症学	*		腫瘍・輸血・血液学	*	30
画像診断																			画像診断学総論 画像診断学各論	*	18 20			
麻酔科学																			麻酔科学総論 麻酔科学各論	<u>★</u>	17 22	麻酔科学	*	16
放射線科学																			M451147 D DHI	_		放射線科学	<del>*</del>	20
内分泌· 代謝病学																						内分泌•代謝病学	*	34
形成外科	1		t		$\dagger$														美容医療学	*	13	形成外科学	*	12
救急 救命医学																						救命救急医学	*	17
脳神経病学													_									脳神経病学	*	40
歯学 口腔外科学																						歯科口腔外科学	*	12

科目	岩手医科大学	常勤/非常勤	コマ数 *(時間)	九州歯科 大学	常勤/非常勤	コマ数	鶴見大学	常勤/非常勤	コマ数	北海道医療 大学	常勤/非常勤	コマ数	神奈川歯科 大学	常勤/非常勤	昭和大学	常勤/非常勤	コマ数	福岡歯科大学	常勤/非常勤	コマ数	福岡大学	常勤/非常勤	コマ数
体の病気															からだの 病気I・II	*	92						
															からだの 病気Ⅲ・IV	*	75						
院外臨床 研修																					院外臨床研修	*	
基礎臨床 統合講義																					基礎臨床統合講義	*	77
臨床修練																					臨床修練I 臨床修練II		
各科総括 講義 感染学																					各科総括講義	*	
感染学																					感染症学	*	12
リハビリ テーション学				リハビリ テーション 学		8																	
臨床検査				_						臨床検査	*	8											
社会医学																					社会医学	*	57
社会と 医学医療															社会と 歯科医療	*	13						

#### 連携大学実施担当者・カリキュラム作成担当者に対するアンケート集計結果

1 口腔医学教育を実施する場合,授業科目として必要と思われるものを挙げてください。 a 歯学部の場合:

a 困于中の場合			
教養系教育	生命科学系教育	一般医科系教育	口腔系臨床教育
国語 (コミュニ	解剖学 4、	内科学 8	口腔外科学4
ケーション学)	組織学3	外科学8	歯科放射線学3
1	生理学4	耳鼻咽喉科学 8	歯科麻酔学2
倫理学1	生化学4	眼科学7	歯周病学2
統計学(推計	細菌学(微生物	皮膚科学 6	障害者歯科学2
学) 1	学) 4	精神科学 6	修復・歯内療法学
法学(医事法	薬理学 4	産婦人科学5	2
学) 1	病理学4	小児科学 5	補綴学 2
生物学1	生体材料学(理	整形外科学 4	小児歯科学2
化学1	工学:人工臟器	脳神経学(神経内科学)3	口腔内科学1
物理学1	学) 2	麻酔学・救急医学、2	歯科矯正学1
	衛生学・公衆衛	再生医学 2	口腔インプラント
	生学3	放射線学1	学1
	口腔保健学2	腫瘍学1	予防歯科学1
	社会歯科学(歯	心療内科 1	有病者歯科学1
	科医療社会学)3	法医学1	高齢者歯科学1
	免疫学3	社会系医学1	救命救急歯科学1
	分子生物学1	泌尿器科学1	
	生命科学1	臨床検査学1	
		循環器1	
		消化器 1	
		腎臓 1	
		神経 1	
		呼吸器 1	
		血液 1	
		形成外科 1	
		遺伝子治療 1	
		医療心理学1	
		リハビリテーション学1	
		医学総論 1	
		症候学 1	
		診断学 1	
		臨床医学演習 (症例 ベース	
		の PBL など) 1	

現行のすべてが必要であると考えています。(1名)、 回答なし(2名) 頭頚部学、上部消化管病学、上部気道病学、歯周病と全身疾患等の統合講義(1名)

#### b 医学部の場合:

口腔系臨床科目

口腔外科学6 口腔内科学1

口腔科1 歯科口腔外科1

歯周病学2

歯科保存学2

口腔医学総論(特に歯周病、顎顔面補綴、外科的矯正治療など)2

歯科補綴学2

有病者歯科学1 高齢者歯科学1 障害者歯科学2

歯科矯正学1

予防歯科学1 口腔保健学1

社会歯科学1

粘膜免疫学1

再生医学1

歯科理工学1

歯周病と全身疾患、頭頚部学等の統合講義(1名)

2 臨床実習を除く総授業時間の中で教養系教育、生命科学系教育(基礎系教育)、一般医 科系臨床教育及び口腔系臨床教育(歯科系臨床教育)の比率はどの程度が適当と考えます か。

教養系教育	生命科学系教育	医科系臨床教育	口腔系臨床教育	所属学部
5~20% (10%)	20~40% (30%)	10~40% (20%)	30~60% (40%)	歯学部
20%	35~40%	40%	5%	医学部

#### 参照:現行

教養系教育	生命科学系教育	医科系臨床教育	口腔系臨床教育	所属学部
10~27%	25~35%	2~15%	37~55%	歯学部
18%	40%	40%	2%	医学部

- **3** 補綴・保存修復系口腔医学やリハビリテーション医学の生命科学的基盤をどのように 考えますか。
- ・ 保存修復系口腔医学やリハビリテーション医学の理解には生命科学的基盤をしっかり と持ってないと困難。
- ・ 補綴・保存修復系口腔医学の教育は、摂食嚥下やリハビリテーション分野へ発展など、 現在よりも生命科学的基盤に立脚した傾向を強めるべき。
- 現在の補綴・保存修復系口腔医学の教育は、あまりにも技術や手技の習得に走り過ぎて 生命科学的基盤に立脚していない。
- ・ 歯・歯周組織・顎骨の炎症反応および組織修復・再生機構を生理・生化学的(分子生物学を含む)に詳しく理解した上で、すなわち、この理解を重要な生命科学的基盤として、現行の臨床手技を見直す必要がある。
- ・ 技工を中心としたこれまでの保存補綴医療から口腔組織を中心としたリハビリテーション医療に変更すべきである。
- ・ 口腔のみのリハビリテーション医学は存在できず、全身的な生命科学的基盤に立ったリ

ハビリテーション教育が必要。

- ・ 補綴・保存修復系教育だけを行うのであれば、総合的な医科系教育の必要性はない。
- 4 口腔医学の中で補綴・保存系教育の技術教育のあり方をどのように考えますか。
- ・ 学部での技術教育は、シミュレーション教育に中心をおくべき。
- ・ 基本的な手技(例えば、レジン充填、咬合採得、局所麻酔など)は相互実習で取り入れるべきである。
- ・ 実際の臨用面では技工士の分業が進んでいるから、卒後の専門家の教育で重点的に行われるべき。
- ・ 現在の医療事情では、モデル等を使った実習と見学実習にならざるを得ない。技術教育 の大半は卒後教育として指導されることになる。したがって、学部教育においては従来 よりも技術教育の比重を軽くすべきである。
- ・ 歯科技工士とのチーム医療を行う上で、非観血的操作については技工士の業務とすることが望ましい。そのため、保存補綴系実習についてはプロセス重視の実習に切り替え、時間短縮を図る必要がある。
- ・ 医学科の整形外科学における講義に義手、義足の実習は入ってないように、歯科の歯冠 修復物や義歯などの作成の技術教育のあり方は歯科技工士が行うのが、職域分担として 理想的と考える。
- \* 歯科治療に特化した技術と考える。
- \* 歯科大学・大学歯学部における技術教育の重要性を低く評価すべきでない。この実習がないと、チェアサイドでの調整や修理が多い臨床の現場に対応できず、装置の改良等の進展を期待できない。
- \* 補綴・保存系教育は歯科教育の中心をなすもので、不可欠。
- \* 口腔医学という枠組みができたとしても補綴・保存系の技術そのものに大きな変化があるとは思えない。保存・補綴系の技術修得が、口腔機能の回復・保全のみならず全身の機能回復にも関与している可能性が高いことを理解したうえで、確固たるエビデンスを構築し、その修得に取り組む必要がある。
- 5 貴大学では介護施設実習を行っていますか。
- 1)回答大学すべてで介護実習を行っている。 (看護実習を行っている大学が1校、病院見学実習を行っている大学が1校)
- 7 設問 5 で行っていると回答された先生と設問 6 で導入する予定があると回答された先生にお聞きします。

介護実習では口腔ケアは目的に入っていますか。

入っている 6大学

入っていない 2大学(関わらせるようにしている 1大学:今後入れる予定 1大学)

## 8 現在行っているまたは導入を予定している介護実習の実習時間数と具体的な内容をお教えください。

おんく	/C C V '0				
北医大	1 学年	半日 (見学)			臨床実習として実施
	5 学年	1日 (実習)			(5 学年)
岩手医大	1 学年	4 日間	7~8名		入院病棟での実習も
	5 学年	2~3 日	1年に帯同		あり (1年)
神歯大	2 学年	半日を2回		口腔ケアは見	食とコミュニケーシ
	5年次	現在は中断(復活		学	ョンをテーマ
		予定)			病院実習(5年次)
		障害者歯科学の			
		一環として実施			
鶴見大		1日間		高齢者の「栄	特別養護老人ホーム
				養」の問題	学外実習
九歯大		3時間(半日)			介護施設、リハビリ
					テーション病院、老
					人病院での介護見学
					及び一部介護実習
福歯大	1 学年	半日 (3回)	5名	体験	
	3 学年	1日(宿泊)	8名	食事介助	
	5 学年	3 日間	5名	口腔ケア	
福大	3 学年	3 日間	4-6名		フィールド実習
	3 学年 (看護)	3 日間	6-8名		看護学科介護実習で
					は口腔ケアの目的が
					入る
HTT -	. 27.	o H HH	A 17	AL miss	A =#+1/4=#1. ) >>
昭和大	1 学年	3日間	全員	体験	介護施設など
	2 学年	1.5日間	<i>'</i> !	口腔ケア	介護施設など
	3 学年	2日間	"	食事介助	療養施設など
	5 学年	2日間	"	し一般介護	授産施設など

#### 海外大学の授業カリキュラム(分類別)

分類	Subject	University of British Columbia	University of Minnesota	Tuft's University	University of Kentucky	University of Liverpool	Charles University in Prague	Medical Academy of Moscow	University of Missouri-Kansas City	University of North Carolina
刀規	Subject	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Medicine	Bachelor of Dental Surgery	Stomatology	Doctor of Stomatology	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Surgery
	Medical Science			Medicine I, II		Basic medical Science				
	Biology	Oral Biology	Introduction to Oral Biology		Oral Biology		Biolgy and Genetics	Medical Biology and Ecology	Cell Biology	Oral Biology
	Diology									Pulp Biology
	Biophysics						Biophysics	Medical Physics, Biophysics		
	Chemistry						Medical Chemistry	General Chemistry and Dental Materials Bioorganic Chemistry		
	Ecology						Human Ecology	General Hygiene, Human Ecology		
	Psychology						Medical Psychology	Medical Psychology and Pedagogies		
	Terminology						Latin and Greek Terminology	Latin Language with Medical Terminology		
			Current Legal Issues for the New Dentist	Ethics & Professionalism		Law and Ethics	Medical Ethics	Bioethics	Introduction to Ethics and Professionalism	Social and Ethical Issues in Dental Practice
	Law and Ethics			Ethics Seminar I, II				Law Fundamentals	Applied Ethics	Ethical and Legal Aspects of Dental Practice
									Dental Jurisprudence and Ethics	
一般教養	Physical Education		Physical Evaluation I, II			Health Education and Community	Physical Education	Physical Training		
	History							History of World Culture and History of Medicine		
	Philosophy							Philosophy		
	Sociology Economics							Sociology Economics		
	Mathematics							Higher Mathematics		
	informatics	Informatics								
	Ergonomics	Ergonomics								
	Communication	Communication Skills			Communication in the Dental Health Care Setting					Behabior, Communication and Culture: Child/ Adolescent and Adult/The Elderly
	Health Science		Behavioral Sciences I, II						Dental Behavioral Science I, II	
	others	Professionalism and Community Service			Patients, Dentists and Society I				Introduction to Dental Literature	
		Doug Waterfield								

A) NOT		University of British Columbia	University of Minnesota	Tuft's University	University of Kentucky	University of Liverpool	Charles University in Prague	Medical Academy of Moscow	University of Missouri-Kansas City	University of North Carolina
分類	Subject	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Medicine	Bachelor of Dental Surgery	Stomatology	Doctor of Stomatology	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Surgery
		Assesment of Periodontal Structures & Teeth	Oral Anatomy I(Lecture)	Cranio Facial Function I, II, III	Combined Histology and Oral Micro Anatomy		Anatomy	Human Anatomy	Human Gross Anatomy I, II	Gross Anatomy
		Dental Morphology	Oral Anatomy I(Lab)	Dental Anatomy/Occlusion	Dental Gross Anatomy and Embryology		Anatomy Dissections	Anatomy of Head and Neck	Dental Morphology I (Lec/Lab)	Dental Anatomy
			Gross Anatomy for Dental Students	Gross Anatomy	Dental Neuroanatomy		Clinical Anatomy for Stomatologists	Pathological Anatomy		
	Anatomy			Neuroanatomy	Normal Human Growth and Development			Pathoanatomy of Head and Neck		
					Principles of Dental Anatomy,			Topographic Anatomy and Operative Surgery		
					Principles of Dental Anatomy, Morphology and Occlusion Laboratory					
			Oral Histology & Embryology & Medical Genetics	Histology			Histology and Embryology	Histology, Embryology and Cytology	Histology I	Growth and Development
	Embryology		Human Histology					Histology of Mouth Cavity Organs		Applied Growth and Development
										Microscopic Anatomy
		Oral Medicine/ Oral Pathology	General & Systemic Pathology	Basic Human Pathology I, II	General Pathology for Student Dentist	Oral Pathology	Pathology		Histopathology (Lecture/Lab)	Pathology I, II
基礎医学	Pathology		Oral & Maxillofacial Pathology	Oral and Maxillofacial Pathology Seminar	Oral Pathology I, II, III		Integrated Block-Pathology and Microbiology		Pathology(Lecture)I, II, III	Systemic Pathology
2 W. L. J				Oral and Maxillofacial Pathology						Clinical Pathology Conference
	Biochemistry		Biochemistry	Biochemistry	Dental Biochemistry		Biochemistry and Molecular Biology	Biological Chemistry	Biochemistry and Nutrition	Biochemistry
	•		Topics in Dental Biochemistry				Clinical Biochemistry	Biochemistry of Mouth Cavity		
							Pathobiochemistry			
	Microbiology		Microbiology for Dental Students	Microbiology/Oral Health Promotion			Microbiology	Microbiology, Immunology and Virology	Microbiology	Dental Microbiology
								Microbiology of Mouth Cavity		Clinical Microbiology
			Dental Care Delivery and Oral Epidemiology	Epidemiology			Hygiene and Epidemiology	Epidemiology and Prevention of Stomatological Diseases		Epidemiology and prevention I
	Epidemiology							Infectious Diseases, Tropical Diseases, Epidemiology and Phtysiopulmonology		
	Infectious Diseases	Infection Control		Infectious Diseases			Infectious Diseases			
	Parasitology						Parasitology for foreign students			
	Immunology			Immunology	Immunity, Infection and Disease for the Student Dentist		Immunology	Clinical Immunology		

分類	Subject	University of British Columbia	University of Minnesota	Tuft's University	University of Kentucky	University of Liverpool	Charles University in Prague	Medical Academy of Moscow	University of Missouri-Kansas City	University of North Carolina
23.24	July	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Medicine	Bachelor of Dental Surgery	Stomatology	Doctor of Stomatology	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Surgery
			System Physiology	Physiology	Dental Physiology		Physiology	Normal Physiology	Physiology Lecture	Physiology
	Physiology						Pathophysiology	Physiology of Maxillofacial Area		
	Physiology							Pathological Physiology		
								Pathophysiology of Maxillofacial Area		
			Pharmacology	Pharmacology	Dental Pharmacology and Therapeutics		Pharmacology	Pharmacology	Pharmacology Lecture	Basic Pharmacology
基礎医学	Pharmacology				Drug Misuse, Abuse and Dependency: What Dentists Need to Know		Introduction to Toxicology	Clinical Pharmacology	Therapeutics	Clinical Pharmacology
	Neurology		Neuroscience for Dentistry Students				Neurology	Neurology	Applied Neuroscience	
	Forensic Medicine						Forensic Medicine	Forensic Medicine(Stomatology)		
	Biomaterial	Biomaterials	Introduction to Dental Biomaterials	Biomaterials I, II	Dental Biomaterials				Dental Biomaterials Lecture	Dental Materials Science
	2.satoriui		Applied Dental Biomaterials							

分類	Subject	University of British Columbia	University of Minnesota	Tuft's University	University of Kentucky	University of Liverpool	Charles University in Prague	Medical Academy of Moscow	University of Missouri–Kansas City	University of North Carolina
刀規	Subject	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Medicine	Bachelor of Dental Surgery	Stomatology	Doctor of Stomatology	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Surgery
	General Dentistry	General Dentistry								General Dentistry
		Periodontics	Periodontology I, III Lecture	Periodontology I, II, III, IV	Periodontics I, II	Periodontology			Preventive Periodontics	Introduction to Preventive Therapies and Periodontal Scaling
	Periodontology		Periodontology Technique		Clinical Periodontics II, III, IV				Periodontics I, II, III	Fundamentals of Periodontology
	, endentelegy	_	Periodontology Clinic						Periodontal Treatment Palanning	Introduction to Periodontal Therapy
										Clinical Periodontology Surgical Periodontics
										Evidence Based Periodontics
		Endodontics	Introduction to Endodontics Lecture and Laboratory	Endodontica-Patient Stimulation	Anterior Endodontics				Endodontics(Lecture)I, II	Preclinical Endodontics
	Endodontics		Endodontics Clinic	Endodontics Seminar I, II, III, IV	Clinical Endodontics I, III				Endodontics(Lab) II	Clinical Endodontics
	Litadaditios			Endodontics Fixed Manikin	Posterior Endodontics					Endodontic Didactics
				Endodontics Minimum Experience	Endodontics II					
				Experience	Clinical Endodontics II					
		Diagnostic Casts	Operative Dentistry I, II, III, IV	Operative Dentistry	Fundamentals of Operative Dentistry		Electives- Dentistry	Preclinic Dentistry	Operative Dentistry (Lecture) I, II, III,	Conservative Operative Dentistry
		Intro to Operative Dentistry & Psycomotor Skills	Operative Dentistry Laboratory I, II	Operative Prep Workshop	Preclinical Operative Dentistry			Conservative Dentistry	Operative Dentistry (Lab) I, II,	Clinical Operative Dentistry
歯科系	Operative Dentistry				Clinical Restorative Dentistry I, II, III			Modern Composits	Introduction to Oral Diagnosis	Clinical Radiology
授業	Operative Dentistry				Preclinical Restorative Dentistry II, III			Aesthetics		Operative Dentistry II
					Restorative Dentistry Updated			System of Tooth Enamel Protection		
		Occlusion	Preclinical Prosthodontics Technique Lecture II, III, IV, V	Fixed Prosthodontics	Advanced Clinical Removable Prosthodontics	Removable Prosthodontics (Dental Prosthetics)	Prosthetic Dentistry	Double Cast Technique	Complete Removable Prosthodontics(Lecture) I	Introduction to Occlusion
		Prosthodontics	Preclinical Prosthodontics Technique Lab II, III, IV, V	Removable Prosthodontics Patient Stimulation	Principles of Fixed Prosthodontics	Prosthodontics			Complete Removable Prosthodontics(Lab) I	Fixed Prosthodontics I: Single Unit Restorations
		Prosthodontics- Removable Partial Dentures	Prosthodontics I	Prosthodontics & Operativ	Principles of Dental				Fixed Prosthodontics (Lecture) I	Removable Prosthodontics I
	Prosthodontics	Prosthodontics-Complete Dentures		Endodontics/Fixed Prostho Stimulated Patient	Clinical Removable Prosthodontics				Fixed Prosthodontics (Lab) I	Clinical Fixed Prosthodontics
		Occlusion and Articulation		Prosthodontics Esthetics	Advanced Removable Prosthodontics				Removal Partial Prosthodontics	Removable Partial Prosthodontics II
		Prosthodontics-Fixed			Preclinical Complete Denture Prosthodontics Lecture				Advanced Prosthodontics	Clinical Removal Prothodontics
					Clinical Complete Denture				Dental Occulusion	Advanced
					Prosthodontics		1	+	(Lecture/Lab)	Fixed Prosthodontics
					Removable Partial Denture					Fixed Bridges and Ceramics Overdenture Elective
										1

分類	Subject	University of British Columbia	University of Minnesota	Tuft's University	University of Kentucky	University of Liverpool	Charles University in Prague	Medical Academy of Moscow	University of Missouri-Kansas City	University of North Carolina
77.58	Casject	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Medicine	Bachelor of Dental Surgery	Stomatology	Doctor of Stomatology	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Surgery
		Orthodontics	Orthodontics I, II	Orthodontics Patient Stimulation	Orthodontics I, II	Introduction to Orthodontics		Orthodontics	Orthodontics: Growth and Development	Biomechanics and Preclinical Orthodontics
	Orthodontics			Orthodontic Case Presentation	Clinical Orhodontics	Orthodontics		Mordern Orthodontic and Orthopaedic Method	Orthodontics(Lecture) I, II	Clinical Orthodontics Treatment
									Orthodontics(Lab) I	
		Implant Module	Introduction to Clinical Implant Dentistry Lecture	Implant Dentistry	Dental Implantology	Implantology – (Restorative Dentistry)			Implant Dentistry	Dental Implants
	Implant		Introduction to Clinical Implant Dentistry Laboratory			Restorative Dentistry and Materials Science				Dental Implant Elective
						Restorative Dentistry				
		The Child	Pediatric Dentistry Pre-Clinic	Pediatric Dentistry/Growth Development	Clinical Pediatric Dentistry	Introduction to Paediatric Dentistry			Pediatric Dentistry I	Clinical Pediatric Dentistry
	Pediatric Dentistry	Pediatric Dentistry	Clinical Pediatric Dentistry		Pediatric Dentistry I, II	Paediatiric Dentistry			Pediatiric Dentistry Seminar	G&D IV-Advanced Pediatric Dentistry
					Clinical Pediatric Dentistry I					
		Oral and Maxillofacial Radiology	Oral and Maxillofacial Radiology	Oral and Maxillofacial Radiology	Oral and Maxillofacial Radiology and Diagnostic Imaging	Oral Radiology	Radiobiology	Radiodiagnostics and Radiotherapy	Oral Radiology Lecture	Introduction to Radiology
歯科系 授業			Oral Radiology Preclinical Laboratory	Oral Diagnosis/Treatment	Clinical Oral Diagnosis I, II, III		Radiodiagnostics and Radiotherapy		Radiographic Interpretation I, II	Clinical Radiology
授耒	Radiology		Patient Management and Radiographic Interpretation				Nuclear Medicine			Radiologic Interpretation
										Management of Radiologic Environment
										Introduction to Oral Diagnosis
							Stomatologic Propaedeutics	Physiotherapy in Stomatology		
							Stomatologic Praeclinics	Children's Stomatology -Children's Oral Surgery		
							Conservative Stomatology	Geriatrics in Stomatology		
							Stomatological Surgery			
	Stomatology						Stomatology			
							Orthopaedic Stomatology			
							Therapeutic Stomatology			
							Stomatologic Surgery – Final			

分類	Subject	University of British Columbia	University of Minnesota	Tuft's University	University of Kentucky	University of Liverpool	Charles University in Prague	Medical Academy of Moscow	University of Missouri–Kansas City	University of North Carolina
77 75	Subject	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Medicine	Bachelor of Dental Surgery	Stomatology	Doctor of Stomatology	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Surgery
		Oral Mucosal Disease	Oral and Maxillofacial Surgery Clinic Rotation	Oral and Maxillofacial Surgery I, II	Oral Surgery I, II	Introduction to Oral Surgery(extraction)		Oral and Maxillofacial Surgery; Rehabilitation	Oral Surgery (Lecture) I, II, III	Introduction to Oral and Maxillofacial Pathology
	Oral and Maxillofacial Surgery	Oral Surgery	TMJ disorders		Oral Surgery Rotation I	Oral Surgery		Children's Oral Surgery		Orientation Oral & Maxillofacial Surgery
			Oral Surgery I, II							TMJ and Craniomandibular Disorders
	Oncology						Orofacial Oncology		Oral Oncology	
							Oncology			
	Neurostomatology							Neurostomatology		
				Geriatric Dentistry	Gerontology/ Geriatric Dentistry	Special care dentistry			Dentistry for the Special Patient	Geriatric Dentistry
				Apecial Care Orientation	Preclinical Esthetic Dentistry I					Urgent Care Service
	Special care dentistry				Esthetic Dentistry I					Clinical Geriatric Dentistry
歯科系 授業					Advanced Esthetics in Restorative Dentistry					Specialty Care in the Generalist Practice
					Management of the Medically Compromised Patient					
					Preclinical Restorative Dentistry II Laboratory					
			Management & Supervision of a Dental Practice	Practice Management I, II, III, IV	Dental Practice and Field Experience					Dental Practice management
	Dental practice				Dental Practice Management II					
					Preclinical Complete Denture Prosthodontics Laboratory					
	Oral Medicine	Oral Medicine Bridge				Oral Medicine			Oral Diagnosis and Oral Medicine	Oral Medicien I, II
	Oral Medicille					Oral Science and Medicine 1, 2				

分類	Subject	University of British Columbia	University of Minnesota	Tuft's University	University of Kentucky	University of Liverpool	Charles University in Prague	Medical Academy of Moscow	University of Missouri–Kansas City	University of North Carolina
/J 5R	Subject	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Medicine	Bachelor of Dental Surgery	Stomatology	Doctor of Stomatology	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Surgery
	Internal Medicine			Cardio Pulmonary IV			Propaedeutics in internal medicine	Internal Diseases	Principles of Meidicine and Physical Diagnosis	Internatl Medicine for Dentists
							Internal Medicine final	Propedeutics of Internal Diseases		
							Propaedeutics in Surgery	General Surgery		Surgery
	Surgery						Surgery - Clinic	Topographic Anatomy and Operative Surgery -Clinical Anatomy of Head and Neck		
							Orthopaedic Surgery	Surgerical Diseases		
		TMD and Orofacial Pain	Pain and anxiety Control	Anesthesiology	Local Anesthesia	General Anaesthesia and Sedation in Dentistry			Anesthesiology(Lecture)I	
	Anaesthesia	Local Anesthesia		Nitrous Oxide Sedation	Conscious Sedation	IV Sedation			Dx.&Mgt./Orofacial Pain	
		Minimal Sedation			Diagnosis and Management of Facial Pain				Anxiety/ Pain Control in Dentistry	
	Emergency	Vital Signs	Emergency Clinic			Medical Emergencies	Emergency Medicine		Medical Emergencies in the Dental Office	Medical Emergencies/ Local Anesthesia
						Royal Accident and Emergency	First Aid			Treatment of Pediatric Emergencies
医科系 授業		Intro to Patient Care	Patient Management and Radiographic Interpretation				Patient Care		Introduction to Comprehensive Patient Care	Introduction to Patient Management
		Introduction to Patient Assessment	Patient Management II, III, IV, V				Primary Medical Care		Clinical Assisting	Treatment Planning I
	Patient Care		Patient Care:Special Issue						Treatment Planning	Diagnosis and Treatment Planning Service
										Patient Management
										Comprehensive Treatment Planning
	Otorhynolaryngology						Otorhinolaryngology	Otorhynolaryngology		
	Ophthalmology						Ophthalmology	Ophthalmology		
	Pediatrics						Pediatric Propaedeutics	Pediatrics		
		_		_			Pediatrics			

分類	Subject	University of British Columbia	University of Minnesota	Tuft's University	University of Kentucky	University of Liverpool	Charles University in Prague	Medical Academy of Moscow	University of Missouri-Kansas City	University of North Carolina
	oubject	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Medicine	Bachelor of Dental Surgery	Stomatology	Doctor of Stomatology	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Surgery
	Dermatovenerology						Dermatovenerology	Skin and Venereal Diseases		
	Neurosurgery						Neurosurgery			
	Psychiatry and Narcology						Psychiatry and Sexology	Psychiatry and Narcology		
	Psychotherapy						Psychotherapy			
医科系 授業	Obstetrics and Gynaecology						Gynaecology and Obstetrics	Obstetrics and Gynaecology		
12.**	Urology						Urology			
	Pneumology						Pneumology			
	Physiotherapy							Physiotherapy		
	Traumatology and Disaster medicine							Traumatology and Disaster medicine		
	Medical Informatics						Medical Informatics	Medical Informatics		

分類	Subject	University of British Columbia	University of Minnesota	Tuft's University	University of Kentucky	University of Liverpool	Charles University in Prague	Medical Academy of Moscow	University of Missouri–Kansas City	University of North Carolina
刀块	oubject	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Medicine	Bachelor of Dental Surgery	Stomatology	Doctor of Stomatology	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Surgery
			Oral Radiology Clinic	Rotation (Emergency, Geriatric, Medicine, New Patient Encounter, Oral And Maxillofacial Radiology, Oral and Maxillofacial Surgery, Orthodontics, Pediatric Dentistry, Community Service Learning Externship)	Oral Surgery Rotation	Introduction to Clinical Practice		Preventive Dentistry (practical Training)	Review of Pre-Clinical Dentistry	Information Mangement for Clinical Practice
歯学系 臨床実習	Clinical Practice		Pediatric Dentistry Clinic	Rotation(Emergency, New Patient Encounter, Oral and Maxillofacial Surgery, Pediatric Dentistry, Periodontology, Special Care)		Special Dental Module (Clinical Skills)		Dentist 's Assistant (Conservative Dentistry, Oral Surgery, Prosthodontics, Pedodontics) (practical Training)	Clinic	DISC Rotation Program
			Fixed Prosthodontics Clinic I/II/III/IV						Review of Clinical Dentistry I, II	
			Removable Prosthodontics Clinic I, II, III, IV						Grand Rounds I, II, III, IV	
			Orthodontic Clinic Rotation						Practice Administration I, II	
			Operative Dentistry Clinic							
			Oral Medicine/Diagnosis Clinic I, II, III							
	Clinical Practice		Treatment Planning & Patient Care Clinic(only)				Internal Medicine- Internal Clinic			
			Comprehensive Care Clinic I, II	_			Summer Clerkship- Internal Medicine			
医学系 臨床実習			Treatment Planning Clinic I, II				Summer Clerkship- Gynaecology and Obstetrics Summer Clerkship-			
							Patient Care Summer clerkship - Surgery			

分類	Subject	University of British Columbia	University of Minnesota	Tuft's University	University of Kentucky	University of Liverpool	Charles University in Prague	Medical Academy of Moscow	University of Missouri–Kansas City	University of North Carolina
刀块		Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Medicine	Doctor of Dental Medicine	Bachelor of Dental Surgery	Stomatology	Doctor of Stomatology	Doctor of Dental Surgery	Doctor of Dental Surgery
	Social Medicine						Introduction to Social Medicine			
	Coolal Medicine						Social Medicine – Health Politics			
			Prevention and Oral Health Promotion			Introduction to Oral Health				
保健	Oral Health					Child Dental Health Dental Public Health and Primary Dental Care				
	Public Health	Preventive and Community Dentistry		Community Service Forum	Fundamentals of Dental Public Health			Public Health, Medical Administration and Economics	Preventive Dentistry	Prevention II
	T ablic Health				Advanced Concepts in Dental Public Health				Dental Public Health	Health Care Systems
	Professional Problem Solving		Professional Problem Solving	Intro to Clinical Experience	Profession of Dentistry I. II. III					Preventive Recall Service
	Dental Auxiliary Utilization Clinic		Dental Auxiliary Utilization Clinic (DAU)							
			Dental Auxiliary Utilization Clinic (DAUI-II)							
	Medical Study						Introduction to Medical Study			
	Sports Medicine						Sports Medicine			
	Occupational						Occupational Medicine			
-	Rehabilitation					<del> </del>	Rehabilitation Medicine Tropical Medicine for Foreign			
	Tropical Medicine						students			
その他		Intro to Patient Assessment	Summer Student Selectives or summer Research	Oerative Board Preparation	Management III: Clinical Patient Management	Clinical Allocations	Elective I	Nursing Practice	Community-Based Education I, II	PRU Rotation
		Diagnosis and Treatment Seminars	Summer Research(elective)	Nutrition	Management	Elective Project	Elective II		Case Presentation	Substance Abuse
		Clitical Thinking	Role of Dentistry in the Hospital Setting	Board Review II	Management I: Introduction to Management for the	Outreach Programme				Special Topics in Dentistry
	Other subjects	Integrated Clinical Care		ADA Success Seminar	Introduction to Clinical and Community Practice	VT training and Career Development				Team Dentistry Concepts
				Group Practice Meeting	Introduction to Oral Diagnosis and Planning					
				Interdisciplinary Seminar	Management II: Introduction to Clinical Patient					
				Porcelain Esthetic						

平成 21 年 2 月 26 日

#### 欧州歯科大学視察報告

九州歯科大学 柿木保明 北海道医療大学 安彦善裕 福岡歯科大学 鴻江俊治

\* EU が結成されて以来、欧州統合に収束する流れは医療とて例外ではない。 歯科医師免許さらに歯科教育の取得単位が相互共有化に向かっているから、それに 対応して各国は歯科医療と歯科教育を急速に改革しなければならなかった。現在、 改革が具現化しつつある。

#### King's College (ロンドン)

#### 1. 概要

King's には歯学部を含め 9 学部がある。学生数は約 20,000 人、うち 20%が留学生。 他の 3 カレッジを併せて、全体を Univ. London と称する。大学教員の評価は世界トップ 10 で 5 つ星を獲得している。

- 2. 歯学部教育
  - ✓教育のモットーは「Innovative teaching and learning」
  - ✓1 学年の定員は 180 名
  - ①標準コース (5年) 128人
  - ②生物系大学卒後の4年コース 25人
  - ③医学部卒後の3年コース 7人
- 2-1. カリキュラム (標準コース)
  - ✓GDC(後述)が作成した教育指針に従って、各大学がカリキュラムを作成する。 現行の第2版の指針は2004年に発刊され、2010年まで有効。第3版は2008年 に発刊された。今回の改訂では、指針は学生の達成目標を具体的に示しているが、 その達成方法は各大学に任され、カリキュラムの作成にあたっては、個々の大学 の自主性が尊重されている。
  - ✓2年生から実習開始。
  - ✓一般教養科目はわずか(倫理、生物統計、コミュニケーション、図書館利用法)
  - ✔医科系講義・実習は全体の7~8%。
  - ✓オスキーは 1993 年から開始され、17 ステーション(各学年で3つのステーション)で実施している。
  - ✓学外実習(Outreach teaching)が充実しており(数週間から1年間)、医科系実習も院外にて行われる(ただし、教育する医師側があまり熱心ではないのが問題)。
  - ✔標準コースは5年と短いが、40時間/週の授業があり、フランスの7年に相当。

#### 3. 卒後教育

- ①実地歯科
- ②病院研修1年+勤務1年、それから一般歯科
- ③病院研修1年+勤務1年、それから専門歯科医(3年で専門医、5年でコンサルタント)
- ✓歯学部を卒業して医学部3年コースに進み、医師の資格を取ることも可能。
- ✓大学院には Clinical PhD コースと Basic PhD コースがある。

#### 4. 英国の歯科医療事情

- ▼General Dental Council (GDC)という評議員会が英国の歯科医療従事者の登録と規制、歯科教育方針策定を決めている。構成は15人の歯科医、4人の歯科衛生士、10人の有識者からなる。
- √ '70 年代に2校が閉鎖され、現在13校。近年、歯科医はやや不足し、特に分布の地域格差が生じている。その格差是正の目的もかねて3校が新設予定。ただし、教員は兼任がほとんどで専任は少ないとのことであった。
- ✓英国の人口 7000 万人に対して、年間約 900 名の歯科医師が養成されている。
- ✓今後の方向性は、専門医と研究者の充実。
- ✓Oral medicine 医になるには、医師・歯科医師の両方のライセンスを修得しなくては行けない(近々、見直しが検討されている)。
- ✓歯科衛生士以外に、歯科看護師 (Dental nurse) (Oral medicine や sedation を する患者の介補、血圧測定や採血などが主体) がいる。歯科看護師は衛生士と 違い、正式な学校を卒業してなるものではなく、夜間のパートタイムのコースを 履修することでなれる。
- ✓歯科医師は Oral physician であるべきだが、時代はむしろ逆行。卒後、インプラントや矯正を目指す学生が多い。歯学部卒前教育でも、学術重視から技術重視へ向かう傾向にある。

#### Charles University (プラハ)

#### 1. 概要

Charles University の創設は、神聖ローマ帝国皇帝であったボヘミア王カール4世の14世紀であり、医学部はヨーロッパで最も歴史ある大学のひとつ。

#### 2. 歯学部教育

- ① 旧カリキュラム: Stomatology 6 年間(03年入学生まで、09年終了)
- ② 新カリキュラム: Dentistry (Odontology) 5年間 (04年入学生から)
- ✓歯学部入学までの初等および高等教育は計16年間

#### 2-1. カリキュラム

- ①旧カリキュラム
- ✔初めの2年間は医学部と共通授業。3年進級時に試験があり相互交流が可能 だった。

- ✔医科系講義・実習が全体の約50%。
- ✓学位は MUDr であり、医学部卒と同じ(医学博士)。
- ②新カリキュラム
- ✔欧州全体で共通化しつつある5年間プログラム。
- ✓一般教養科目はない。
- ✓1,2年生の50%は医科系科目で、4~5年生は、臨床実習になる。
- ✓学位は MDDr (歯科医学博士)。

#### 3. 卒後教育

- ① 旧カリキュラムは、3年間のレジデントコース(内科 3  $\tau$  月、外科 3  $\tau$  月、麻酔科 1  $\tau$  月を含む)の後に 1st grade 試験。この時点で開業できる。さらに3年間の専門コースを選べば、2nd grade 試験がある。2nd grade 試験合格の後に主任歯科医師や大学教授への道へ3年間のコースがある。
- ② 新カリキュラムは、1年半のレジデント、そして2年間の専門コース。

#### 4. チェコの歯科医療事情

- ✓チェコが EU に加入して以来、医歯学教育プログラムは EU 共通化の方向に従わ ざるを得なくなっている。EU 圏内では、歯科医師免許さらに歯科教育の取得 単位までも共通化に向かっているから、従来のチェコ独自のシステムを維持でき なくなった。
- ✔旧カリキュラムで教育された現在の教官は、むしろ従来のシステムの方が良かったと感じている。これまでチェコの歯科医師の地位は高かった。
- ✓共産主義時代には各学校に校歯科医、各職場に産業歯科医が配置されていたので、 その名残で歯科医師数は人口 10 万あたり約 70 人の歯科医がいる。
- ✓無免許の歯科医師も存在するが、優れた教育を受けたチェコの歯科医は海外 (ドイツ、英国、スペインなど)で活躍している。

#### Strasbourg University (ストラスブール)

#### 1. 概要

16 世紀に創設された歴史ある大学である Louis Pasteur Univ.他、ストラスブールの 3 大学が統合され、2009 年 1 月から Strasbourg Univ.となった。

#### 2. 歯学部教育

- ①旧カリキュラム:6年間
- ②新カリキュラム:6年間(医学部は7年、薬学部6年)(09年入学生から)
- ✓歯学部入学までの初等および高等教育は計12年間

#### 2-1. カリキュラム

- ①旧カリキュラム
- ✓初めの1年間は医歯薬学部の共通授業(医科系科目のみ)。パリでは3年から 臨床前歯科教育であるが、ストラスブールでは2年生から開始。4~6年は臨床 歯科教育。

#### ②新カリキュラム

- ✓2009 年 9 月から国が作成した教育指針に従って、各大学がカリキュラムを作成する。指針は学生の達成目標を具体的に示しているが、その達成方法は各大学に任され、カリキュラムの作成にあたっては、個々の大学の自主性が尊重されている。
- √初めの1年間は医歯薬学部の共通授業(ストラスブールの場合1,600人が受講。 2年進級時に試験があり、医学部240人、歯学部61人、薬学部125人、助産師 30人が選抜される)。
- ✓医科系講義・実習は従来から多くない。
- ✓一般教養科目はない。
- ✓2年生から実習開始。6年生は学外のクリニックにて計 200 時間の実習。日本の 臨床研修医制度の内容に近い。
- ✓3~4年生は歯学教育コースで、50%は実習(主にファントム実習)、50%は授業にあてられる。臨床の授業以外に口腔解剖、口腔生理学などの口腔基礎科目も含まれる。ただし、一般医科教育はわずか。
- √5~6年生は臨床トレーニングコースとなっている。

#### 3. 卒後教育

- ✓大学の6年目を含めて3年間のコースで大学独自のInternal Dentist(内科歯科 医)とOrthopedic Dentist(整形外科歯科医)のコース制度を有している。ただ し、これを修得しても正式な専門医認定があるわけではなく、名誉(履歴書が 充実する)だけである。
- ✓歯周病の専門医コースは4年間(週4日)必要であるが、これも正式な専門医制度ではない。メリットが少ない。
- ✓近々、口腔粘膜疾患の専門医を養成すべく Oral pathology & Surgery のコースができる。これは、全国で年間 10 人程度の定員になる予定。

#### 4. フランスの歯科医療事情

- ✓フランス全土で、歯科医師の93%が開業歯科医師、7%が病院歯科や大学勤務。
- ✓補綴物の保険単価が日本と比較して 10 倍ほどで、保険診療自体が日本と若干異なるようである。
- ▼現在の歯科医の平均年齢は 47.8 歳。女性比率は 36%と増加中。特に矯正歯科医 の 80%は女性である。
- ✓歯科医師養成数は国が決める。現在、フランスの歯学部学生数は 1,047 人/年。 したがって、現時点ではフランスと日本の人口比に対する歯科医師数に大差はないものの、フランスでは今後、歯科医師不足になることが懸念されている。
- ✓歯科医の分布の地域格差、診療科の偏りが、改善すべき問題。
- ✓他の欧州諸国と異なり、専門医の認定システムがない。
- ✓今後の方向性は専門医制度の充実。

#### 第3回口腔医学カリキュラム作成担当者会議

#### 海外大学視察報告

#### 米国中部地区

訪問校

- 1. School of Dentistry, Univ. of Missouri (Kansas City)
- 2. School of Dentistry, Univ. of North Carolina (Chapel Hill)
- 3. College of Dentistry, Univ. of Kentucky (Lexington)

参加者 森實敏夫(神奈川歯科大学教授・副学長・内科学)

片岡竜太(昭和大学歯学部教授・歯科医学教育推進室室長・口腔 外科学)

稲光哲明(福岡歯科大学教授·心療内科学)

期 間 平成21年2月8日~14日

University of Missouri-Kansas City School of Dentistry 稲光 1 学生 100 名の 4 年制 Doctor of Dental Surgery (DDS) degree program

- 1年生 biomedical science と歯科の基本的な知識・技術を習得する basic science は general を医学部教官が、oral を歯科教官が教える biology, biochemistry, physiology, anatomy, histology, pathology
- 2年生 biomedical science の続きと、歯科の基本的な技能を習得する 実習: operative dent., prosthodont. (fixed & removable), endodont. 講義: periodontics, oral diagnosis, oral radiology, oral surgery
- 3・4年生 病院実習中心、朝1限に講義 (8:00-8:50) 病院実習: 患者が割り当てられて診断から治療までの total care を実践

competence と clitical thinking を重視しており、卒業時の判定も competence を評価する

#### 口腔医学の教育

- ・ 医学部教官は、心血管系、外科、法律?老人病学など専門分野の一部を教えているが、common disease に関しては歯科 (pathology、periodontics) 教官が担当し実践的な教育をしている
- ・ Special pt care program 合併症のある患者のケアプログラム (DM,癌・・)
- ・ clinical record management system CMS: 病院の患者の診療記録と学生の 実習内容をコンピュータ管理している
- <u>Principles of Medicine & Physical Diagnosis</u> (2年生春期): 前半に講義、後半に online で家庭学習したことを発表する。内容:心血管(4回)、呼吸器・腎臓・肝臓・胃腸・内分泌、筋骨、血液、SAS。実践に近い合併症をもつ歯科の患者をどのように評価するか、専門医への紹介状の書き方(症例報告書)をフォーマットに沿って書かせる
- <u>Oral Diagnosis / Oral Medicine</u> (3 年生秋期) 前半に講義、後半に実践的な症例をプレゼンする。内容:栄養、口腔医学(口腔、舌の疾患、感染粘膜病変、アレルギー、色素沈着、血液疾患、唾液疾患、内分泌、骨代謝、膠原病)
- <u>Periodontics 1</u> (2年生春期)のなか、5コマで全身疾患と歯周病の関わりを教える。(糖尿病、白血病、心血管病、妊娠、AIDS など)。(4年生春期)セミナー形式の case-based learning: 20人程度のグループで PC スライドにより症例を提示し討論させる
- ・ 学生実習の患者は 50%の治療費でみており、企業から多額の寄付 donation があり教育や奨学金などにも利用
- ・ 1 年生秋期 early exposure で Clinical Assisting: 病院で 3・4 年生の手伝い

			Third Year		
<b>Fall Semester</b>		Hours			TT
<b>BIO 203</b>	Cell Biology	3.0	Summer Term	Oral Orașile eri	Hours 0.5
BMS 9300	Human Gross Anatomy I	5.0		Oral Oncology Introduction to Comprehensive	0.5
LSBIOC 304	Biochemistry and Nutrition	4.0	DENT 0301C	Patient Care	8.0
BMS 9308	Histology I	2.5	<b>Total Hours</b>	1 attent care	8.5
DENT 6306	Introduction to Ethics and Professionalism	1.0	Fall Semester		Hours
DENT 6310C	Clinical Assisting	3.0		Dental Behavioral Science I	1.0
DENT 6316	Dental Morphology I (Lec/Lab)	3.0		Dental Biomaterials Lecture	1.0
DENT 6328	Introduction to Dental Literature	1.0		Oral Diagnosis and Oral Medicine	2.0
Total Hours	indicate to Dental Ditoratare	22.5		Review of Pre-Clinical Dentistry	2.0
10441104115				Grand Rounds I	1.0
Spring Semester	•	Hours		Pharmacology Lecture	3.0
BMS 9301	Human Gross Anatomy II	5.0		Periodontics III Lecture	1.0
LSPHYS 401	Physiology Lecture	5.0		Oral Surgery II Lecture	1.0
<b>DENT 6305</b>	Operative Dentistry I Lecture	1.0	<b>DENT 6538</b>	Orthodontics II	1.0
<b>DENT 6305L</b>	Operative Dentistry I Lab	2.0	Clinic		9.0
<b>DENT 6314C</b>	Introduction to Oral Diagnosis	3.0	<b>Total Hours</b>		22.0
<b>DENT 6317</b>	Dental Occlusion (Lecture/Lab)	3.0			
<b>DENT 6335</b>	Applied Neuroscience	2.0	Spring Semeste		Hours
<b>DENT 6350</b>	Histopathology (Lecture/Lab)	2.5	<b>DENT 6522</b>	Oral Surgery III Lecture	1.0
<b>Total Hours</b>		23.5	<b>DENT 6526C</b>	Preventive Dentistry	1.0
			<b>DENT 6527</b>	Therapeutics	2.0
			DENT 6534	Advanced Prosthodontics	1.0
			DENT 6559	Dx & Mgt./Orafacial Pain	1.0
Second Year			DENT 6595	Implant Dentistry	1.0
Fall Semester		Hours	DENT 6602	Grand Rounds II	1.0 1.0
LSMCRB 4180	Microbiology	4.0	DENT 6633 DENT 6634	Dental Public Health	1.0
DENT 6410	Operative Dentistry II Lecture	1.0	Clinic	Community-Based Education I	14.0
<b>DENT 6410L</b>	Operative Dentistry II Lab	2.0	Total Hours		24.0
<b>DENT 6412</b>	Anesthesiology I Lecture	1.0	Iotal Hours		27.0
<b>DENT 6414</b>	Pathology I Lecture	4.0			
<b>DENT 6416</b>	Complete Removable				
	Prosthodontics I Lecture	1.0			
		1.0	Fourth Year		
DENT 6416L	Complete Removable		Fourth Year		Harring
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Complete Removable Prosthodontics I Lab	2.0	<b>Summer Term</b>	Padiographia Intern. II	Hours
DENT 6422	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture	2.0	Summer Term DENT 6558	Radiographic Interp. II	0.5
DENT 6422 DENT 6422L	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab	2.0 1.0 2.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650	Radiographic Interp. II Applied Ethics	0.5 0.5
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture	2.0 1.0 2.0 2.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic	Radiographic Interp. II Applied Ethics	0.5 0.5 9.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours	Radiographic Interp. II Applied Ethics	0.5 0.5 9.0 <b>10.0</b>
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture	2.0 1.0 2.0 2.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester	Applied Éthics	0.5 0.5 9.0 <b>10.0</b> <b>Hours</b>
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429	Applied Éthics  Behavioral Science II	0.5 0.5 9.0 <b>10.0</b> <b>Hours</b> 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture	0.5 9.0 <b>10.0</b> <b>Hours</b> 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 25.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation	0.5 0.5 9.0 <b>10.0</b> <b>Hours</b> 1.0 0.5
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 25.0 Hours	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III	0.5 9.0 <b>10.0</b> <b>Hours</b> 1.0 1.0 0.5 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b>	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry	0.5 9.0 <b>10.0</b> <b>Hours</b> 1.0 0.5 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b> 1.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6613	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning	0.5 9.0 <b>10.0</b> <b>Hours</b> 1.0 0.5 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b> 1.0 1.0 2.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6613 DENT 6617	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar	0.5 9.0 <b>10.0</b> <b>Hours</b> 1.0 0.5 1.0 1.0 0.5
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436  Total Hours  Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b> 1.0 2.0 3.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6613 DENT 6617 DENT 6630	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture	0.5 9.0 <b>10.0</b> <b>Hours</b> 1.0 0.5 1.0 1.0 0.5
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436  Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b> 1.0 2.0 3.0 2.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6613 DENT 6617 DENT 6630 DENT 6630 DENT 6635	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar	0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 1.0 0.5 1.0 1.0 0.5 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436  Total Hours  Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b> 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6613 DENT 6617 DENT 6630 DENT 6635 Clinic	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture	0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423 DENT 6423L	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lab	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b> 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6613 DENT 6617 DENT 6630 DENT 6635 Clinic Total Hours	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture Community-Based Education II	0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 0.5 1.0 1.0 0.5 1.0 1.0 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423 DENT 6423L DENT 6431	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lab Pediatric Dentistry I	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b> 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6613 DENT 6617 DENT 6630 DENT 6635 Clinic Total Hours Spring Semester	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture Community-Based Education II	0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 0.5 1.0 1.0 0.5 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423 DENT 6423L	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lab Pediatric Dentistry I Medical Emergencies in the	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b> 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0 2.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6613 DENT 6617 DENT 6630 DENT 6635 Clinic Total Hours Spring Semester DENT 6600	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture Community-Based Education II  r Review of Clinical Dentistry	0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423 DENT 6423 DENT 6431 DENT 6439	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lab Pediatric Dentistry I Medical Emergencies in the Dental Office	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b> 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0 2.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6613 DENT 6617 DENT 6630 DENT 6635 Clinic Total Hours Spring Semester DENT 6600 DENT 6604	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture Community-Based Education II  r Review of Clinical Dentistry Grand Rounds IV	0.5 0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423 DENT 6423 DENT 6431 DENT 6439 DENT 6440	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lab Pediatric Dentistry I Medical Emergencies in the Dental Office Oral Surgery I Lecture	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b> 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0 2.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6610 DENT 6617 DENT 6630 DENT 6635 Clinic Total Hours Spring Semester DENT 6600 DENT 6604 DENT 6605	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture Community-Based Education II  r Review of Clinical Dentistry Grand Rounds IV Review of Clinical Dentistry II	0.5 0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423 DENT 6423L DENT 6431 DENT 6439 DENT 6440 DENT 6441C	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lab Pediatric Dentistry I Medical Emergencies in the Dental Office Oral Surgery I Lecture Treatment Planning	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 25.0 Hours 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6613 DENT 6617 DENT 6630 DENT 6635 Clinic Total Hours Spring Semester DENT 6600 DENT 6604 DENT 6605 DENT 6614	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture Community-Based Education II  r Review of Clinical Dentistry Grand Rounds IV Review of Clinical Dentistry II Dentistry for the Special Patient	0.5 0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423 DENT 6423L DENT 6431 DENT 6439 DENT 6440 DENT 6441C DENT 6442	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lab Pediatric Dentistry I Medical Emergencies in the Dental Office Oral Surgery I Lecture	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b> 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0 2.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6613 DENT 6617 DENT 6630 DENT 6635 Clinic Total Hours Spring Semester DENT 6600 DENT 6604 DENT 6614 DENT 6618	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture Community-Based Education II  r Review of Clinical Dentistry Grand Rounds IV Review of Clinical Dentistry II Dentistry for the Special Patient Dental Jurisprudence and Ethics	0.5 0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423 DENT 6423L DENT 6431 DENT 6439 DENT 6440 DENT 6441C	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lab Pediatric Dentistry I Medical Emergencies in the Dental Office Oral Surgery I Lecture Treatment Planning Endodontics II Lecture	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b> 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6617 DENT 6617 DENT 6635 Clinic Total Hours Spring Semester DENT 6600 DENT 6604 DENT 6605 DENT 6614 DENT 6618 DENT 6631	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture Community-Based Education II  r Review of Clinical Dentistry Grand Rounds IV Review of Clinical Dentistry II Dentistry for the Special Patient	0.5 0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423 DENT 6423 DENT 6431 DENT 6431 DENT 6439 DENT 6440 DENT 6441C DENT 6442 DENT 6442 DENT 6442 DENT 6442L	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lab Pediatric Dentistry I Medical Emergencies in the Dental Office Oral Surgery I Lecture Treatment Planning Endodontics II Lecture Endodontics II Lab Principles of Medicine and Physical Diagnosis	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 <b>1.0</b> <b>25.0</b> <b>Hours</b> 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6613 DENT 6617 DENT 6630 DENT 6635 Clinic Total Hours Spring Semester DENT 6600 DENT 6604 DENT 6614 DENT 6618	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture Community-Based Education II  r Review of Clinical Dentistry Grand Rounds IV Review of Clinical Dentistry II Dentistry for the Special Patient Dental Jurisprudence and Ethics	0.5 0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423 DENT 6423 DENT 6423L DENT 6431 DENT 6431 DENT 6439 DENT 6440 DENT 6441C DENT 6442 DENT 6442L DENT 6524	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lab Pediatric Dentistry I Medical Emergencies in the Dental Office Oral Surgery I Lecture Treatment Planning Endodontics II Lecture Endodontics II Lecture Endodontics II Lab Principles of Medicine and Physical Diagnosis Orthodontics I Lecture	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 25.0 Hours 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6617 DENT 6635 Clinic Total Hours Spring Semester DENT 6604 DENT 6605 DENT 6618 DENT 6618 DENT 6631 Clinic	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture Community-Based Education II  r Review of Clinical Dentistry Grand Rounds IV Review of Clinical Dentistry II Dentistry for the Special Patient Dental Jurisprudence and Ethics	0.5 0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423 DENT 6423L DENT 6423L DENT 6431 DENT 6431 DENT 6440 DENT 6442 DENT 6442 DENT 6442 DENT 6442 DENT 6524	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lab Pediatric Dentistry I Medical Emergencies in the Dental Office Oral Surgery I Lecture Treatment Planning Endodontics II Lecture Endodontics II Lecture Endodontics II Lab Principles of Medicine and Physical Diagnosis Orthodontics I Lecture Orthodontics I Lab	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 25.0 Hours 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 2.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6617 DENT 6635 Clinic Total Hours Spring Semester DENT 6604 DENT 6605 DENT 6618 DENT 6618 DENT 6631 Clinic	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture Community-Based Education II  r Review of Clinical Dentistry Grand Rounds IV Review of Clinical Dentistry II Dentistry for the Special Patient Dental Jurisprudence and Ethics	0.5 0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423 DENT 6423 DENT 6423L DENT 6431 DENT 6431 DENT 6442 DENT 6442 DENT 6442 DENT 6442 DENT 6524	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lab Pediatric Dentistry I Medical Emergencies in the Dental Office Oral Surgery I Lecture Treatment Planning Endodontics II Lecture Endodontics II Lecture Endodontics II Lab Principles of Medicine and Physical Diagnosis Orthodontics I Lecture	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 25.0 Hours 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6617 DENT 6635 Clinic Total Hours Spring Semester DENT 6604 DENT 6605 DENT 6618 DENT 6618 DENT 6631 Clinic	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture Community-Based Education II  r Review of Clinical Dentistry Grand Rounds IV Review of Clinical Dentistry II Dentistry for the Special Patient Dental Jurisprudence and Ethics	0.5 0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0
DENT 6422 DENT 6422L DENT 6426 DENT 6430C DENT 6435 DENT 6436 Total Hours Spring Semester DENT 6312 DENT 6411 DENT 6415 DENT 6417 DENT 6420 DENT 6423 DENT 6423 DENT 6423L DENT 6431 DENT 6431 DENT 6440 DENT 6442 DENT 6442 DENT 6442 DENT 6442 DENT 6524	Complete Removable Prosthodontics I Lab Fixed Prosthodontics I Lecture Fixed Prosthodontics I Lab Oral Radiology Lecture Preventive Periodontics Endodontics I Lecture Orthodontics: Growth and Development  Dental Behavioral Science I Operative Dentistry III Lecture Pathology II Lecture Removable Partial Prosthodontics Periodontics I and II Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lecture Fixed Prosthodontics Lab Pediatric Dentistry I Medical Emergencies in the Dental Office Oral Surgery I Lecture Treatment Planning Endodontics II Lecture Endodontics II Lecture Endodontics II Lab Principles of Medicine and Physical Diagnosis Orthodontics I Lecture Orthodontics I Lab	2.0 1.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 25.0 Hours 1.0 2.0 3.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 2.0 1.0	Summer Term DENT 6558 DENT 6650 Clinic Total Hours Fall Semester DENT 6429 DENT 6514 DENT 6584 DENT 6603 DENT 6610 DENT 6617 DENT 6635 Clinic Total Hours Spring Semester DENT 6604 DENT 6605 DENT 6618 DENT 6618 DENT 6631 Clinic	Applied Éthics  Behavioral Science II Pathology III Lecture Case Presentation Grand Rounds III Anxiety/Pain Control in Dentistry Periodontal Treatment Planning Pediatric Dentistry Seminar Practice Administration I Lecture Community-Based Education II  r Review of Clinical Dentistry Grand Rounds IV Review of Clinical Dentistry II Dentistry for the Special Patient Dental Jurisprudence and Ethics	0.5 0.5 9.0 10.0 Hours 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0

ASS SCHEDULE - F	IRST YEAR		SCHOOL OF DENTIS	STRY	See reve	erse for final exam	schedule
8:00-8:50	9:00-9:50	10:00-10:50	11:00-11:50	1:00-1:50	2:00-2:50	3:00-3;50	4:00-4:50
Physiology Lecture Huang, C.	Anatomy II Lecture Thomas, C.	Applied Neurosci Peters, R.	iences				光3
LSPHYS 401 Rm. 202	BMS 9301 Rm. 202	D6335 <sup>-</sup> Rm. 202				14	年生
Histopathology Lec Singh, A.	ture		Physiology Lecture Huang, C.				
D6350 Rm. 202			LSPHYS 401 Rm. 202				
Physiology Lecture Huang, C.	Anatomy II Lecture Thomas, C.	Anatomy II Lab Thomas, C.		Dental Occlusion Lecture Petrie, C.	Dental Occlusion La Petrie, C.	b	
LSPHYS 401 Rm. 202	BMS 9301 Rm. 202	BMS 9301L Rm. 249	* • •	D6317 Rm. 202	D6317L Rm. 281 & 286		
Physiology Lecture Huang, C.	Intro. Oral Diagnosis Rice, C.			Oper. Dent I Lec Williams, D.	Operative Dent I La Williams, D.	b	**
LSPHYS 401 Rm. 202	D6314C Rm. 202		e _ =	D6305 Rm. 202	D6305L Rm. 281 and 286		
Physiology Lecture Huang, C.	Anatomy II Lecture Thomas, C.	Anatomy II Lab Thomas, C.		Intro Oral Diagnos Rice, C.	is Clinic		
LSPHYS 401 Rm. 202	BMS 9301 Rm. 202	BMS 9301L Rm. 249		D6314C Clinic			

	PRING SEMESTER 20 LASS SCHEDULE - F		UNIVER	RSITY OF MISSOURI SCHOOL OF DENT			See rever	se for final exam	schedule
	8:00-8:50	9:00-9:50	10:00-10:50	11:00-11:50	2002000	1:00-1:50	2:00-2:50	3:00-3:50	4:00-4:50
M O N D	Lecture Huang, C.	Anatomy II Lecture Thomas, C.	Applied Neurosci Peters, R.	ences	Hard State of Sept State of Se				
A Y	LSPHYS 401	BMS 9301 Rm. 202	D6335 Rm. 202		PRODUCTION TO SERVICE STATE OF THE PRODUCTION OF				
T U E S	Singh, A.	ture		Physiology Lecture Huang, C.	harain ananan kanan kanan				
D A Y	D6350			LSPHYS 401 Rm. 202					
W E D N	Lecture Huang, C.	Anatomy II Lecture Thomas, C.	Anatomy II Lab Thomas, C.			Dental Occlusion Lecture Petrie, C.	Dental Occlusion Lab Petrie, C.		
S D A Y	LSPHYS 401	BMS 9301 Rm. 202	BMS 9301L Rm. 249	e e		D6317 Rm. 202	D6317L Rm. 281 & 286		
T H U R	Lecture Huang, C.	Intro. Oral Diagnosis Rice, C.				Oper. Dent I Lec Williams, D.	Operative Dent I Lab Williams, D.		
S D A Y	LSPHYS 401	D6314C Rm. 202				D6305 Rm. 202	D6305L Rm. 281 and 286		
F R I D	Lecture Huang, C.	Anatomy II Lecture Thomas, C.	Anatomy II Lab Thomas, C.	· · · · ·	æ.	Intro Oral Diagnosi Rice, C.	is Clinic	B	
A Y		BMS 9301 Rm. 202	BMS 9301L Rm. 249			D6314C Clinic		,	

0.00 0.50	0.00.0 =0	10 00 10 50	11 00 11 -0				
8:00-8:50	9:00-9:50	10:00-10:50	11:00-11:50	1:00-1:50	2:00-2:50	3:00-3:50	4:00-
M Orthodontics I O Lecture N Reed, I.	Orthodontics I Reed, I.	Lab		Rem. Part. Pros. Lec Eshelman, G.	Pathology II Lecture Dunlap, C.	Principles of M Diagnosis Moghadam, B.	(edicine & ) 稻
A D6526 Y Rm. 209	D6526L Rm. 281 and 28	36		D6417 Rm. 209	D6415 Rm. 209	D6524 Rm. 209	2年
Periodontics I U Rapley, J. E S	Lecture	Operative Dentistry III Purk, J.	Fixed Pros. II Lec Deines, D.	Endo II Lab Lee, C.			Endo II I Dryden, J
D D D D D D D D D D D D D D D D D D D		D6411 Rm. 209	D6423 Rm. 209	D6442L Rm. 281 & 286			D6442 Rm. 209
W Removable Pa E Eshelman, G. D N E	rtial Pros Lab			Medical Emergencies Shultz, R.	Pathology II Lecture Dunlap, C.		
S D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	6			D6439 Rm. 209	D6415 Rm. 209		
T Fixed Pros II I Deines, D. U R S	Lab			Oral Surgery I Bellome, J.			
D A D6423L Y Rm. 281 and 28	36			D6440 Rm. 209			
Radiographic R Interp L Kumar, V.	Dental Pharma Brockmann, W.		Pediatric Dentistry Bohaty, B.	Help Lab Staff			
A D6556	Course D6564		D6431	1			

8:00-8:50	9:00-9:50	10:00-10:50	11:00-11:50	1:00-1:50	2:00-2:50	3:00-3:50	4:00-4:50
Orthodontics I Lecture Reed, I.	Orthodontics I Reed, I.	Lab		Rem. Part. Pros. Lec Eshelman, G.	Pathology II Lecture Dunlap, C.	Principles of M Diagnosis Moghadam, B.	ledicine & Physica
D6526 Rm. 209	D6526L Rm. 281 and 286	5		D6417 Rm. 209	D6415 Rm. 209	D6524 Rm. 209	
Periodontics I Le Rapley, J.	cture	Operative Dentistry III Purk, J.	Fixed Pros. II Lec Deines, D.	Endo II Lab Lee, C.			Endo II Lec Dryden, J.
D6420 Rm. 209		D6411 Rm. 209	D6423 Rm. 209	D6442L Rm. 281 & 286		10	D6442 Rm. 209
Removable Parti Eshelman, G.	al Pros Lab			Medical Emergencies Shultz, R.	Pathology II Lecture Dunlap, C.		
D6417 Rms. 281 & 286				D6439 Rm. 209	D6415 Rm. 209		
Fixed Pros II Lal Deines, D.	•	:		Oral Surgery I Bellome, J.			
D6423L Rm. 281 and 286	-	i		D6440 Rm. 209			
Radiographic Interp Kumar, V	Dental Pharmae Brockmann, W.	cology	Pediatric Dentistry Bohaty, B.	Help Lab Staff			
D6556 Rm. 217A	Course D6564 Rm. 209		D6431 Rm. 209	Rm. 281 & 286			

CLASS SCHEDU	JLE - TI	HRD YEAF		SCHOO	L OF DENTISTRY		See reverse for final exam schedule		
8:00-8:5	0	9:00-9:50	10:00-10:50	11:00-11:50	12:00-1:00	1:00-1:50	2:00-2:50	3:00-3:50	4:00-4:30
M Implant Den O Woolsey, J. N D A D6595 Y Rm. 217A	tistry		CLINIC	e	e en es major e esta e e e e e e e e e e e e e e e e e e e		CLINIC		稲光 5 3 年生
T Advanced Pr U Petrie, C. E S D A D6534 Y Rm. 217A	os.	4	CLINIC		Team Meetings Jones, J.; Houston, G.; Prine, R.  Team 1 - Rm. 202 Team 2 - Rm. 209 Team 3 - Rm. 217A		CLINIC		
W Diag/Mgmt E Orofacial Pa D Lausten, L. S D A D6559 Y Rm. 209	in		CLINIC	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			CLINIC		
T Oral Surger, H Ferguson, B. U R S D A D6522 Y Rm. 209	y III		CLINIC			ē	CLINIC		
F Grand Roun R Overman, P. I (by assignmen A Y D6602			CLINIC			Intro Dental Public Health Hong, L. D6633 Rm. 209	Therapeutics Brockmann, W.  D6527 (Rm. 209		

ASS SCHEDULE -	2009 THIRD YEAF			OF MISSOURI-KANS. OL OF DENTISTRY		See reverse for	· final exar	n schedul
8:00-8:50	9:00-9:50	10:00-10:50	11:00-11:50	12:00-1:00	1:00-1:50	2:00-2:50 3:0	00-3:50	4:00-4:3
Implant Dentistry Woolsey, J. D6595 Rm. 217A		CLINIC	*			CLINIC		
Advanced Pros. Petrie, C.  D6534 Rm. 217A		CLINIC	4	Team Meetings Jones, J.; Houston, G.; Prine, R.  Team 1 - Rm. 202 Team 2 - Rm. 209 Team 3 - Rm. 217A		CLINIC		
Diag/Mgmt Orofacial Pain Lausten, L.  D6559 Rm. 209		CLINIC				CLINIC		
Oral Surgery III Ferguson, B. D6522 Rm. 209		CLINIC				CLINIC		
Grand Rounds II Overman, P. (by assignment)  D6602		CLINIC			Intro Dental Public Health Hong, L. D6633 Rm. 209	Therapeutics Brockmann, W.  D6527 (Rm. 209		

<b>CL</b> A	ASS SCHEDULE - FO	OURTH YEAR	SCHO	OL OF DENTIS	STRY	See reverse for final e	xams schedule
	8;00-8;50	9;00-9:50	10:00-10:50	11:00-11:50	12:00-1:00	1:00-4:30	
M O N D A			CLINIC		× *	CLINIC	稲光 6 4 年生
T U E S D A			CLINIC	e ,	Team Meetings Jones, J.; Houston, G.; Prine, R.  Team 1 - Rm. 202 Team 2 - Rm. 209 Team 3 - Rm. 217A	CLINIC	7
W E D N E S D A			CLINIC			CLINIC	
T H U R	Practice Mgmt II Thein, D.		CLINIC			CLINIC	
S D A Y	D6631 Rm. 217A						
F R I D A Y	Grand Rounds IV Gottman, E. D6604 Rm. 209	Jurisprudence Lec. Eplee, H. D6618 Rm. 217A	Rev. Of Clinical Dent. Parkinson, J.  D6600 Rm. 217A			CLINIC	

	G SEMESTER 200 SCHEDULE - FO		UNIVERSITY OF MISSO SCHOOL OF DEN'		See reverse for final exams schedule
	8:00-8:50	9;00-9:50	10:00-10:50 11:00-11:50	0 12:00-1:00	1:00-4:30
M O N D A Y		F	CLINIC		CLINIC
T U E S D A			CLINIC	Team Meetings Jones, J.; Houston, G.; Prine, R.  Team 1 - Rm. 202 Team 2 - Rm. 209 Team 3 - Rm. 217A	CLINIC
W E D N E S D A			CLINIC		CLINIC
T Pr Th U R S D	ractice Mgmt II hein, D. 6631 m. 217A		CLINIC		CLINIC
R Go I D A D6	erand Rounds IV ottman, E. 6604 m. 209	Jurisprudence Lec. Eplee, H. D6618 Rm. 217A	Rev. Of Clinical Dent. Parkinson, J.  D6600 Rm. 217A		CLINIC

#### アメリカ歯科医学教育視察

2009.2.18 森實敏夫

#### 時期および訪問校

Nancy N. Mills, PhD Interim Dean



• 期間

- 2009年2月8日~2月14日

• 訪問校

John N. Williams, DMD, MBA

Dean



 University of Missouri-Kansas City, School of Dentistry

- University of North Carolina, School of Dentistry

- University of Kentucky, College of Dentistry

Sharon P. Turner, DDS, JD



#### UMKC, Oral Biology



- Dr. Michael J. Reed, B..D.S.,Ph.D. (Dean Emeritus)
  - Clinical competencyが早く身に付いた学生は、試験を早く受けられる。
  - 医科系科目はカリキュラムの中にばらばらに配置されており、学生が自分で統合する必要がある。
  - 医学部付属病院のClinical clerkshipはしていないが、医学部学生および歯学部学生が相互にCCを体験させるとよいと思っている。

#### UMKC, Periodontics

- Dr. John W. Rapley, D.D.S., M.S.
  - Case-based learningで高血圧、糖尿病、腎移植患者、AIDS患者などの口腔病変と治療について教えている。歯科の立場からの全身疾患へのアプローチ。

# UMKC, Oral Pathology, Medicine and Radiology

- Dr. Behjat K. Moghadam, D.Sc.D., D.D.S.
  - General clinicを担当している。
  - 全身疾患40症例をBlackboard(イーラーニングシステム)に掲載し2年生の学生が、週に3症例勉強する。
  - 患者への質問(dialogue)、危険因子、医学的問題、 医科へのコンサルテーションなどを宿題としてやらせる。
  - 医科からのコメント、質問状などの実例を掲載。
  - American Heart AssociationのGuidelineに沿って教えている。

#### 'continued

- Oral Medicine
  - 口腔病変を見せ、所見を記述させ(description)、 患者への質問、鑑別診断、危険因子、治療計画 などを書かせる。(3年生、4年生)
  - 実戦的な内容。
  - 講義ごとに質問を出し、次の週に正解を提示する。
  - クラスでも、所見の記述をやらせる。

#### Many thanks!

• John W. Killip, DDS (Assistant Dean, Student Programs)



• Pamela R. Overman, Ed.D. (Associate Dean for Academic Affairs)

#### UNC, Dental Ecology, Dental Research

- Dr. James D. Beck, PhD. (Associate Dean)
  - Clinical Research Programは医学部との共同研究
  - アメリカでは医師過剰で歯科医師が不足している。
  - 基礎科学を減らす傾向がある。80人の学生のう ち、研究職を希望するのは、1 - 2名のみ。
  - 歯科医療は保険外であり、あったとしても医科疾 患の治療のために必要なものだけに限定。

#### UNC, Oral & Maxillofacial Surgery

- Dr. Raymond White, Jr., D.D.S., Doctor of Dental Surgery, PhD.
  - 外科など他の医科と同じことをする必要があった。
  - ヨーロッパの影響を受けた。
  - 1974年当時、レジデント1年目麻酔科を3 4か月 ローテーション、1年目の最後に医学部3年生の 勉強を始める、3年後にMDのDegreeをとれる、そ の後一般外科を6か月、1-3年歯科をする。

#### **UNC**, Dental Ecology

- Dr. Rick Mumford, DMD, MPH, Clinical Associate Professor
  - 夏に学生がいろいろな医療現場をローテーション する。
  - 75%のアメリカ人は歯周病を持っている。
  - Medicareのカバーは限定的。
  - Healthcare safety net providers
  - State Children's Health Insurance

#### **UNC**, Dental Ecology

- Dr. John N. Williams, DMD, MBA, BA (Dean)
  - アメリカには146の医学部と57の歯学部がある。
  - NCには、4つの医学部と1つの歯学部のみ。
  - 歯科医は、161,000人、患者の増加に対して歯科医数は横ばいである。
  - いくつかの活動

    - Into The Mouths of Babes スクリーニング、フッ素塗布など小児科医、家庭医にやってもらう。
       NC Extramural rotations (Dentistry in Service to Communities-DISC program)1年生から4年生までの歯学生にいろいる医療現場を経験させる。夏にローテーションを組む。

#### UNC, School of Dentistry

Dr. Janet Guthmiller, DDS, PhD (Associate Dean for Academic Affairs)



- Dr. Albert D. Guckes, DDS, MSD (Assistant Dean for Admissions and Predoctoral Education Academic Affairs)
- Dr. Matthew M. Morano, PhD, LPC (Director of Academic Services)

#### UK, College of Dentistry

- Dr. Sharon P. Turner, DDS, JD, (Dean)
   Marylandで医学のStomatologyとして始まり、その後、別になった。
   UKの歯学部は50年の歴史がある。

  - State Health Insuranceでは歯科治療もカバーされるようになってきた。
     新しい教育モデルを採用。全人的、内科的、家庭医的。

  - Oral-facial painはMedicalな要素が多い。世界的権威のDr. Jeffrey P. Okeson, DMDがいる。
  - Accreditation of educationを受けるのは随意であるが、これに受からないとFundingもらえず、免許ももらえない。カリキュラム、スタッフ、臨床など6つの分野で基準を満たしているかオンサイトでのチェックを受ける。
  - Competency-based curriculumについて、オープンコメントが求められる。

#### UK, College of Dentistry



- Dr. Karen Novak, DDS, MS, PhD, (Associate Professor)
   フルタイムスタッフ75名、パートタイム、ボランティア、地域の歯科医など78名。

  - 各教科の期間は学期と必ずしも一致しない。 Redundancyを除くように、学生からのフィードバック(内容、教え方)も活用。

  - nam。 臨床をできるだけ早く始めるよう、Diagonal Curriculumとなっている。 2年生9月に検診車で小学生の治療に出向く。 基礎の講義の中に、臨床家の講義を挟んで、基礎との関係を理解させる。
  - スタッフは25時間/週学生とのコンタクトがある。さらに、Scholarship (研究、臨床研究)も行う。 FDは教え方、研究手法、などについて行う。 カリキュラム委員会には学生も参加している。

  - すべての講義の評価はコンピュータベースである。4年終了時には Focus groupで評価を行う。

#### 'continued

- American Dental Education Association (ADEA)が Competency Listを作成。
- Patients with special needsに関する教育の中に 全身疾患が含まれる。

#### UK, Microbiology

- Dr. Jeffrey L. Ebersole, PhD
  - 心理学、薬理学、医学、生物学などは他の学部 に頼んでいる。
  - 他の学部の研究担当副学長とポートフォリオを共 有している。
  - 共同研究を奨励している。

#### UK, Restorative Dentistry



- Dr. Fonda G. Robinson, DMD, Associate Professor (Assistant Dean, Predoctoral Clinical Operation)
  - Team leader conceptで学生に患者を配当
  - 15人のTeam leaderはGeneral dentistでスクリーニン グする。
  - 4人のTeam coordinatorがいる。
  - Endo 7 casesなど必要。
  - 口腔外科と口腔病理は3年生で2週間、4年生で2週 間、Working clerkとして学生が働き、給料ももらえる。

#### UK, OHS/Pediatric Dentistry



- Dr. David A. Nash, DMD, MS, EdD (Emeritus Dean)

  - -.. Savia A. Ivasii, DIVID, IVIS, EaD (Emeritus Dean)
     DMDとDDSは同じ意味で用いられている。
     1,2,3年は医学部と同じ、4年でClinical clerkship,5年で歯科というコースを立案したが、実現しなかった。現在でも反対が多い。
  - 経済の悪化に伴い、歯学部を医学部の一部にしようという動き がある。
  - 年収:一般歯科医20万ドル、口腔外科医30万ドル
  - 歯学校が新設される一方、伝統校が閉鎖されたりしている。 新設校では研究部門を持たないところもある。

  - Dental therapist (歯科治療師)を2年で養成し、小児を主に診ることにしたらどうか。
  - Over-educated for what dentists actually do, under-educated what dentists should be

#### Many thanks!

• Dr. Jeffrey P. Okeson, DMD (Professor, Chair, Dept. of Oral Health Science, Director, Orofacial Pain Program)



#### まとめ

- アメリカでは歯科医療に対するニーズが高く、歯科医は不足している。 歯科医の給与は高く、歯学部を希望する学生が多く、少なくとも10倍の競争率で、成績優秀な学生が入学する。
- 3,4年生では、実際の患者の診療を行う。学生の診療を希望する患者には、料金が安く設定されている。
- 大学スタッフの給与は他より低いので、歯科医学教育の担い手は少ない。
- 米国歯科医学協会(ADEA)が歯科医のコンピテンシーを定めており、それを実現するようカリキュラムが設計されている。
- 医学部付属病院や一般病院などにおける臨床クラークシップはほとんど 行われていないが、教育についてスタッフの支援は行われている。
- 歯科医学を医学と統一する計画が提案されたが、反対の方が多く、実現されていない。

#### 今後のステップ(案)

- 歯科医療に対する社会のニーズのアセスメント。
- 図171区7原にX3 y の 任会のニースのアセスメント。 高齢化などによる疾病構造の変化。 歯科医学、医学の進歩によるニーズの変化。 歯科医を対象とした、医療ニーズに対する評価のアセスメント。
  - 歯科医療の現場で起きている医療ニーズの変化を具体的に、 全国レベルで調査する。
- 歯科医師に必要なコンピテンシーの設定。
  - 米国の歯科医師コンピテンシーなどを参考に、医学的コンピテンシーをどこまで入れるが検討する。 コンピテンシーに基づくカリキュラムの作成。

## Competencies for the new dentist

#### General Skills

- 1 Apply ethical principles to professional practice.
- 2 Provide empathetic care for all patients, including members of diverse and vulnerable populations.
- 3 Apply the principles of jurisprudence to the practice of dentistry.
- 4 Continuously analyze the outcomes of patient treatment to improve that treatment.
- 5 Evaluate scientific literature and other sources of information to make decisions about dental treatment.
- 6 Manage oral health based on an application of scientific principles.
- 7 Participate in professional organizations.

#### Information Management—Currency of Skills

- 8 Assess his or her level of skills and knowledge and take steps to improve areas of deficiency.
- 9 Evaluate social and economic trends and their impact on oral health care.

#### Practice Management

- 10 Evaluate career options, practice location, and reimbursement mechanisms.
- 11 Educate staff in professional, governmental, legal, and office policies and professional responsibilities.
- 12 Coordinate and supervise the activity of allied dental health personnel.
- 13 Maintain patient records.
- 14 Use business systems in dental practice settings for scheduling, record-keeping, reimbursement, and financial arrangements.
- 15 Implement and monitor infection control and environmental safety programs according to current standards.
- 16 Practice within the scope of one's competence and make referrals to professional colleagues.
- 17 Use information technology and information management systems for patient care, practice management, and professional development.

#### Communication

- 18 Assess patient goals, values, and concerns to establish rapport and guide patient care.
- 19 Communicate orally and in writing with peers, other professionals, staff, patients or guardians, and the public at large.

#### Community Resources

20 Participate in improving the oral health of individuals, families, and groups in the community through diagnosis, treatment, and education.

#### Debt Management

21 Use professional debt management and financial planning skills.

#### PATIENT CARE COMPETENCIES

#### **Diagnosis**

- 22 Establish rapport and identify patients' general needs and expectations.
- 23 Identify patients' chief complaints.
- 24 Obtain medical, dental, psychosocial, and behavioral histories.
- 25 Perform head and neck and intraoral examinations.
- 26 Select, obtain, and interpret clinical, radiographic, and other diagnostic information and procedures.
- 27 Obtain medical and dental consultations when appropriate.
- 28 Recognize signs of abuse or neglect and report and refer as necessary.
- 29 Recognize predisposing and etiologic factors that require intervention to prevent disease.
- 30 Use clinical and epidemiological data to diagnose and establish prognosis for dental abnormalities and pathology.
- 31 Recognize the normal range of clinical findings and significant deviations that require monitoring, treatment, or management.
- 32 Monitor therapeutic outcomes and re-evaluate and modify initial diagnoses or therapy.
- 33 Develop treatment alternatives based on clinical and supporting data.

#### **Treatment Planning**

- 34 Integrate multiple disciplines into an individual, comprehensive, sequenced treatment plan using diagnostic and prognostic information.
- 35 Discuss etiologies, treatment alternatives, and prognoses with patients and educate them so they can participate in the management of their own care.
- 36 Develop and implement a sequenced treatment plan that incorporates patients' goals, values, and concerns.
- 37 Obtain informed consent from patient, parent, or guardian.

#### **Treatment**

38 Anticipate, diagnose, and provide initial treatment and follow-up management for medical emergencies that may occur during dental treatment.

- 39 Perform basic cardiac life support.
- 40 Recognize and manage acute pain, hemorrhage, trauma, and infection of the orofacial complex.
- 41 Manage patient with pain and anxiety by the use of nonpharmacological methods.
- 42 Select and administer or prescribe pharmacological agents in the treatment of dental patients.
- 43 Anticipate, prevent, and manage complications arising from the use of the therapeutic and pharmacological agents employed in patient care.
- 44 Provide patient education to maximize oral health.
- 45 Manage preventive oral health procedures.
- 46 Perform therapies to eliminate local etiologic factors to control caries, periodontal disease, and other oral diseases.
- 47 Manage patients with advanced periodontal diseases and conditions.
- 48 Manage patients with pulpal and periradicular diseases.
- 49 Perform uncomplicated endodontics procedures.
- 50 Perform uncomplicated oral surgical procedures.
- 51 Manage patients who have complicated oral surgical problems.
- 52 Manage patients requiring modification of oral tissues to optimize restoration of form, function, and esthetics.
- 53 Manage patients with occlusal and temporomandibular disorders.
- 54 Manage dental care for disabled and special care patients.
- 55 Manage patients in the hospital setting.
- 56 Manage a comprehensive maintenance plan following the active phase of periodontal treatment.
- 57 Manage patients requiring minor tooth movement or space maintenance.
- 58 Manage patients who have complex orthodontic problems.
- 59 Restore single defective teeth.
- 60 Restore partial or complete edentulism with uncomplicated fixed or removable prosthetic restorations.
- 61 Manage the restoration of partial or complete edentulism using implant procedures.
- 62 Manage patients with oral esthetic needs.
- 63 Communicate case design with laboratory technicians and evaluate the resultant prosthesis.

Source: American Association of Dental Schools (now American Dental Education Association). Competencies for the new dentist.

Proceedings of the 1997 AADS House of Delegates, Appendix 2. J Dent Educ 1997;71:556-8.

#### University of Kentucky College of Dentistry

学生 55 名の 4 年制 Doctor of Dental Medicine (DMD) degree program 特徴

- · competency based education
- •早期体験実習
- · diagonal curriculum
- ・臨床実習(1学年を4チームに分ける)1チーム(14名)チームリーダ(教員)
- 選択実習

#### 特に重視している分野

- チームアプローチによる包括的治療
- ・competency based 評価システム
- · public health dentistry
- ・倫理的・歯科医師としての態度と実践
- 1年生 biomedical science 歯冠修復、歯周病の基礎実習 早期体験実習
- 2年生 biomedical science の続きと、歯冠修復と歯内療法の基礎実習 臨床実習開始 national board dental exam (part1)終了
- 3 · 4年生

biomedical science

Dental public health (開業医、刑務所、インデアン居住区,小学生に対する移動歯科診療所など)

sedation, dental implantology, dental pharmacology and therapeutics, management of medically compromised patients, oral diagnosis, oral pathology, diagnosis and management of facial pain national board dental exam (part 2) 終了

#### 時間数 (4年間)

biomedical science942 時間 (20%)歯科臨床科学3592 時間 (75%)行動科学・社会科学・研究方法277 時間 (5%)

#### <u>カリキュラム改革</u>

- · competencies for the new general dentist
- CCI principle (ADEA)
- ・ケンタッキー大学歯学部の教育理念

医学的知識が豊富な 外科処置ができる 社会的通念が備わっている Critical thinker である

歯科医師を育てる

## 北米歯科医学教育視察 報告

# Harvard School of Dental Medicine (HSDM)

2009年3月23日 TV会議報告

岩手医科大学 歯科内科 福岡大学 歯科口腔外科学 鶴見大学 内科 中居賢司 喜久田利弘 子島 潤

## 時期および訪問校

- ・期間
  - 2009年1月15日
- 訪問校
  - Harvard School of Dental Medicine (HSDM)







#### THE HARVARD SCHOOL OF DENTAL MEDICINE

http://www.hsdm.harvard.edu/ASP-HTML/about.html





- Harvard Dental School was founded in 1867.
- In 1940, under President James B. Conant, the School was reorganized as Harvard School of Dental Medicine to place stronger emphasis on the biological basis of oral medicine and to institute multidisciplinary programs of dental research.
- In 1957, postdoctoral educational programs, combining advanced clinical and biomedical research training.

## **HSDM** staff

- T. Howard Howell, DDS
   Dean for Dental Education
   A. Lee Loomis Professor of Periodontology, HSDM
- Dr. Karimbux (Associate Professor)
- Shigemi Ishikawa-Nagai, DDS,MSD,Ph.D
   Assistant Professor, Director of Advanced Dentistry Department of Restorative Dentistry & Biomaterials Sciences, HSDM





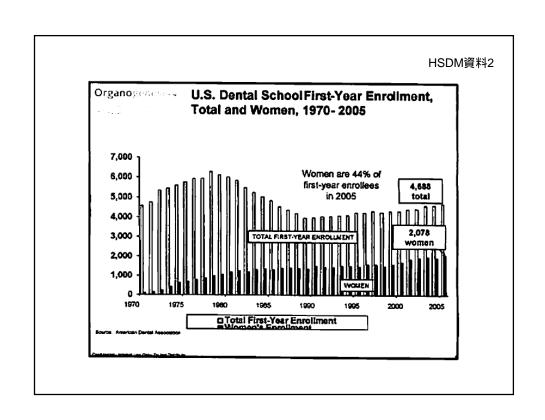
### HSDM討論概要 1

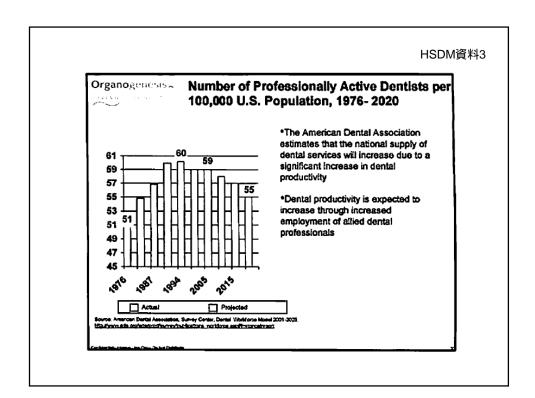
- ハーバード大学のカリキュラムはOdontologyである。
- 現行のカリキュラムは1年、2年時の90%が医学部生と同時受講で、残りの10%を歯科・口腔の専門医学教育としている。内容は毎年、新しく更新される。 \*シラバスは別表に示す。
- ハーバード大学歯学部の教育は将来像を考えた(20年先)カリキュラムとしている。ADAのCommission on Dental Accreditation (CODA)にある歯科医学教育ガイドラインに沿って行ってはいるが、マネキンや臨床実習はかなり少ない。その分、歯科医学研究を学生自ら行いテーシスを作成しないとDMDの取得も卒業もできないとしている。

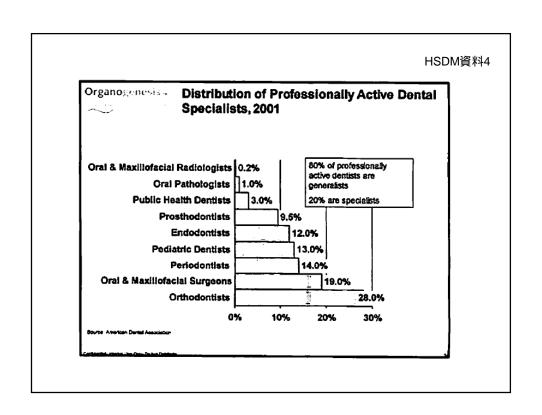
## HSDM討論概要 2

- アメリカでは、歯学部教育は大学院教育(一般の大学を出た後に入学する)である。常に高水準と将来性を見越した教育を心がけている。また、HSDMでは歯学教育のリーダーと研究者の育成に力を入れてもいるため、1学年の定員は35名と非常に少ない。
- アメリカの歯科医師数は、医療内容からすると、やや不足しているのが現状である。大学院教育の基本方針が異なり、各大学間で学生定員数が異なる。ハーバード大学は高度な医療知識と技術を持つDMD (Doctor of Dental Medicine)を養成するとともに、研究者を育成することを目的としている。
- 1985年頃に歯科医指数が多いとADA が判断し、歯学部をかなり少なくした。そのため、歯科医師が少ない地域(多くは西南部、南西部)があり、現在、新しい歯学部がその地域に新設されている。

# ## HSDM CURRICULUM BLUEPRINT — DRAFT: February 2007 ## HSDM CURRICULUM BLUEPRINT — DRAFT: February 2007 ## HSDM CURRICULUM BLUEPRINT — DRAFT: February 2007 ## HSDM COLOR November December January February March April May June ## February March April May June ## Harman Royalem ## Harman Roya







## HSDM訪問まとめ

- MD一元化論
  - 研究者や教育者を育成するという方向性から、その必要性はないとのことである。口腔外科のように一般医学が特に必要であれば、MD+専門医コースに入ればよいという考え方である。
- HSDMでは、1年生と2年生が医学部と同一の教育を受けている。
- 歯学部から出向く医学部での口腔医学教育は、医学部長の考え方で決定される 独自性必要。
- 教育カリキュラムーADA (Government関与していない)
  - Commission on Dental Accreditation (CODA)

## 戦略的大学連携支援事業:

口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考

# 米国東海岸大学視察報告

期間: 2009年1月12日(月)~18日(日)

- ·喜久田利弘 福岡大学 医学部 医学科 歯科口腔外科学講座
- ·中居 賢司 岩手医科大学 歯学部 歯科内科学科
- ·子島 潤 鶴見大学 歯学部 内科学講座

報告日:2009年3月23日(月)

# 北米視察先大学の選定と申し込み

- 1. 第1回カリキュラム作成担当者会議(2008.11.04)
- 2. 2008.11.19の e-mail にて米国東海岸グループに指定。
- 3. 交涉

## ・タフツ大学歯学部

九州歯科大学歯学部卒業生:平山先生が教授で勤務している。

・ハーバード大学歯学部

岩手医科大学歯学部卒業生:永井先生が助教で勤務している。

・他に2校申し込んだが、日程など合わず視察不可能であった。

# ・タフツ大学歯学部との交渉

- 1. タフツ大学 歯学部 歯科補綴学教授 Prof. Hirayama とメール交渉
- 視察申し込み カリキュラム担当 Prof. Arbree への申し込み
- 3. 秘書からの視察スケジュール連絡

日付	交通機関	行き先	行 程	宿泊
1/12(月)	航空機	関西国際 → サ ンフランシスコ → ボストン	移動日	ボストン
1/13(火)			13:00~ 打ち合わせ等 ハーバード大学 Dr. Nagaiと打ち合わせ	ボストン
1/14 (水)			10:00~ Tufts Universityを視察	ボストン
1/15(木)			10:00~ Harvard School of Dental Medicineを視察	ボストン
1/16(金)			13:00~ タフツ大学 Dr. Hirayamaのクリニック見学と総括	ボストン
1/17 (土)	航空機	ボストン → サン フランシスコ	移動日	機内泊
1/18 (日)	航空機	→ 関西国際	移動日	

視察にあたり、今後のカリキュラム作成をふまえた調査のポイントを以下に 記しますので、宜しくお願いします。

- 1) 視察大学の現行カリキュラムの長所と短所を調べる、教えてもらう、あるいは 探ってください。カリキュラムが odontology 系か stomatology 系で、 それぞれ長短ありますから、その実状を調査してください。
- 2) 現行カリキュラムの詳細を調査してください。各科目の講義あるいは実習の時間数(コマ数)と受講学年など具体的に。 できればシラバスをもらってください。
- 3) さらに、その実状に対して、今後の方向性はいかがか(変更の必要性?)、 尋ねてみてください。
- 4) 視察国の医療事情、特に歯科医療が医療界全体の中で果たす役割や位置付けと 将来の方向性を調べ、そして尋ねてください。
- 5) 歯科医師養成数について、需給バランスはどこで決まっているのか、行政が 調整しているのか、それとも自律的に変動しているのか、尋ねてください。
- 6) 卒後教育、特に歯科系専門医制度とその教育システムを調べてください。

汚江 俊治 (カリキュラム作成担当者)



## 1月14日(水) タフツ大学視察

- •10:00 Dr. Singh, Dr. Dohertyと討論
- •11:00 Dr. Gandaと教育カリキュラムにおける内科医学教育の討 論
- •12:00 Dr. Hirayamaと昼食:タフツ大学教育の方向性を聞いた。
- •13:00 Dr. Hanllyと教育カリキュラムの内容の良否と改変すべき 点を聞いた。 内科医学教育や歯科麻酔学教育(術中管理 学)の充実を増やしたい。
- •14:00 Mr. Mooreから教育カリキュラムのコンピュータ管理の全容 を聞いた。
- •14:30 Mr. Cedrone, Miss. McCabeから教授用、学生用のプログラムガイドなどの説明があった。
- ・15:30 歯学部長のDr. Norrisと会い、今回の視察のお礼やタフツ 大学で得た情報の内容の質問と将来像を聞いた。
- -16:00 Miss. Gonthier、Mr. Cedroneと施設見学
- •17:00 Dr. Hirayamaと視察結果のまとめを18:30まで行った。



## 1月16日(金) Dr.Hirayama 開業クリニック視察と総括

- 13:00 Dr. Hirayamaの個人開業クリニックの見学と今回の視察内容について討論し、総括した。
- •16:00 討論終了し、ホテルに戻った。



	Medical Science	Medicine I II (1,2 year)	108	
一般教		Ethic & Professionalism (1year)	23.75	2 (lab)
養	Law and Ethics	Ethic(seminor)II (3 year)	3	
	Behavioral Science	Behavioral Scieces II(Seminor) (3 year)	3	
		Dental Anatomy/CFF I (1 year)	6	7
		Gross Anatomy (1year)	13	32
		Neuroanatomy (1year)	73	
	Embryology	Histology (1 year)	13	34
		Basic Human Pathology I, II (1,2 year)	66.5	
		OMF Pathology (2 year)	81	
	Pathology	OMF Pathology IS (2 year)	18	
		Clinical Pathologic Conference For IS (Seminar) (3 year)	3	
		Clinical Pathology (seminar) (4 year)	3	
	Biochemistry	Biochemistry (1year)	48	
基礎医	Microbiology	Microbiology/Oral health Promotion (1 year)	30.5	
		Epidemiology (2 year)	13	
		Epidemiology Livrary (workshop) (2 year)	1	
	Infectious	Infectious Diseases & Lab (2 year)	29.5	
		Infectious Diseases (2 year)		9(lab
	Immunology	Immunology (1 year)	26	
	Physiology	Physiology (1 year)	83	
		Pharmacology (3 year)	28	
	Pharmacology	Nitrous Oxide Sedation(workshop) (4 year)	3	
		Antibiotics For IS (3 year)	3	
	Biomaterial	Biomaterial I II (1,2 year)	38	

iv.				1/2
		Periodontology I II (2, 3 year)	49	
	Periodontology	Periodontology II For IS (3 year)	11	
	12 (-1) (-2) (-1) (-2)	Periodontology (workshop) I II III IV (3 year)	10	
		Endodontics PT SIM (2 year)	55.25	
		Endodontics CSLE Preparation(Seminor) (3 year)	1	
	Endadortics	Endodontics (Seminor) I II III IV (3,4 year)	12	
	Endodontics	Endodontic Fixed Simulated Patient Tutorial (workshop) (3 year)	3	
		Endodontics M.P.E. (workshop) (4 year)	4	
	o o	Operative Dentistry (1 year)	160	
	Operative Dentistry	Operative Dentistry IS (2 year)	84	
		Fixed Prosthodontics PT SIM/CFF II (2 year)	136.5	
		Removale Prosthodontics (2 year)	117	
	Prosthodontics	Fixed Prosthodontics IS (2 year)	93	
		Removale Prosthodontics IS (2year)	48	
歯科口		Prosthodontics & Operative (3 year)	9	
腔系 授業		Endo Fixed Prostho Simulated Patient(workshop) (4 year)	14	
		Prosthodontics Esthetics (Seminar) (4 year)	3	
		Orthodontics (2 year)	45	
	0.11	Orthodontics For IS (3 year)	45	
	Orthodontics	Orthodontics (seminor) (3 year)	3	
		Orthodontic Case Presentation(Seminars) (4 year)	1	
	Implant	Implant Dentistry (2 year)	56	
	Pediatric Dentistry	Pediatric Dentistry (2 year)	29	
	Radiology	OMF Radiology (2 year)	27	
	Radiology	Oral Diagnosis/Treatment PL (2 year)	10	
	Special care dentistry	Geriatric Dentistry (2 year)	11	
is a	Special care demustry	Special Care Orientation (Seminor) (3 year)	2	
	Dental practice	Practice management I II (1,2 year)	21	
	Dental practice	Practice management(Seminor)I II III IV (3, 4 year)	10	
	Craniofacial	Craniofacial Function III (3 year)	12	
	Development	Craniofacial Function IS (Seminars) (2 year)	3	

医科系授業	Surgery	OMF Surgery (2, 3 year)	27	
	Anaesthesia	Anesthesiology (2 year)	16	
		Cardio Pulmonary Resusc. (1 year)	5	
	Emergency	Cardio Pulmonary Resusc. (workshop) (2, 4 year)	10	
		Medical Emergency Code IS (seminars) (2 year)	1	

	Clinical Practice	Periodontology Rotation Orient (2 year)	2	
		Pediatric Dental Assist (2 year)	3	
		OMF Radiology (2 year)	6	
		Periodontology Rotation (2 year)	6	
		OMF Radiology (3 year)	15	
歯学系		Post Grad Prostho (3 year)	3	
臨床実習		Oral Soft Tissue Pathologic Conf. (3 year)	0.75	
		Periodontology (3 year)	15	
		Orthodontics (3 year)	9	
		Pediatric Dentistry Off-Site Rotation (3 year)	3	
		OMF Radiology 3rd Semester (3 year)	6	
		Periodontology 3rd Semester (3 year)	15	
	Clinical Practice	Emergency (3 year)	15	
		OMF Surgery 3rd Semester (3 year)	30	
		Medicine III (3 year)	60	
		Geriatric (3 year)	9	
		Pediatric (3 year)	15	
		Medicine III For IS (3 year)	60	
医学系		CSL Externship (3 year)	150	
臨床実		Emergency 3rd Semester (3 year)	15	
習		OMF Surgery 3rd Semester (3 year)	15	
		Pediatric 3rd (3 year)	15	
		Community Service Learning Externship (4 year)	150	
		Emergency (4 year)	15	
		Pediatric (4 year)	30	
		OMF Surgery (4 year)	15	
		Specaial Care (4 year)	32.5	

保健	Oral Health	Oral Health Pro/Nutrition (seminars) (2 year)	3	
		Oral Health Pro/Nutrition IS (seminars) (2 year)	3	
		ADA Success Program I II III IV (1,2,3,4 year)	15	
	Other subjects	Intro to Clinical Experience I II (1,2 year)	103	
		Nutrition (1 year)	19	
		Board Review I II (2, 3 year)	52	
		Board Review Panels (2 year)	1	
		Intro to clinical Experience IS (2 year)	90	Ш
		Operative-Intro to Matl.(workshop) (2 year)	3	
		Risk Management Safety/Infection Cont. (Symposium) (2, 3 year)	8	
		Orientation (3, 4 year)	6	Ш
		CSL Externship Forum (seminor) (3 year)	3	
		Alumni Mentor(Seminor)( 3 4 year)	6	
		Interdisciplinary Seminor (3 year)	3	
その他		Operative Prep Workshop (3 year)	5	
		Form for Function (workshop) (3 year)	2	
		Pindex(workshop) (3 year)	2	
		Porcelain Esthetic(workshop) (3 year)	3	
		Post Workshop (3 year)	3	
		Practice Management Career Options(Panels) (3 year)	2.5	
		Group Practice meeting(seminor) ( 3 year)	10	
		Group Practice meeting(seminor) (4 year)	8	Ш
		Nerb Screening(workshops) (4 year)	3	
		Operative Board Preparation(workshop) (4 year)	3	
		WREB Review(workshop) (4 year)	14	
		WREB Screening(workshop) (4 year)	2.5	
		Bates Day (Symposia) (3 year)	7	
		Board Review II (Panels) (3 year)	1	

# タフツ大学歯学部カリキュラムの内訳

総カリキュラム時間数: 3253.25 時間

1. 生命科学教育 : 27.1%

2. 医科系臨床教育: 26.1%

3. 歯科口腔系教育: 46.8%

	Competency Exam	Operative Simulated Patient (3 year)	5
		Endo FixedProstho (3 year)	14
		Operative Simulated Clinical (3 year)	2
		Orthodontics Simulated Clinical (3 year)	1
		OMF Pathology Simulated Clinical (3 year)	1
		Endo FP Simulated Patient 3rd TRI (3 year)	16
=-		OMF Pathology FOR IS (3 year)	1
試験		Case Presentation C.E (4 year)	3
		Orthodontics Simulated Cli Exam For IS (4 year)	1
		Periodontology Simulated Patient C.E. (4 year)	2
		Operative Clinical C.E. (4 year)	3
		Post Simulated Patient Examination (4 year)	3
		OMF Surgery WRITTEN Examination (4 year)	1
		OMF Surgery ORAL Examination (4 year)	1



#### UBLICATION DATE: SEPTEMBER 2008

552 PAGES ~ 7 X 10 ~ ILLUSTRATED PAPERBACK ~ 978-0-8138-0926-7 \$79.99

#### About the Author

KANCHAN GANDA is the Director of Medicine at Tufts Dental School and is responsible for the creation, entation and co-ordination of teaching dental students. Additionally, she acts as Medical Consultant for all medically complex patients seen in the Tufts Dental Clinics. She also oversees the prevention and care of medical emergencies and personally lectures in continuing education courses to faculty and outside practitioners.

#### **Dentist's Guide to Medical Conditions and** Complications

#### Kanchan Ganda

Tufts University

Dentist's Guide to Medical Conditions and Complications is a highly accessible seferen to dental treatment of medically compromised patients. The ability to treat medically compromised patients is necessary for most dentists and dental professionals, and this book serves as a guide to effectively treat these patients. In a succinct, easy-to-use format, Demint's Guide to Medical Condition and Complication outlines protocols for treating patients with common conditions, presents essential drug interaction information, and guides the dental professional through the prevention and management of in-office medical emergencies

Covering a variety of common conditions, the book's practical format will help practical dentists hone their skills for treating medically compromised patients. Dentist's Guide to Medical Conditions and Complications is useful for practicing dentists, dental students, and

#### Features

- Quick and accessible reference to treating medically compromised patien
- · Presents essential drug interaction information in a concise, user-friendly format
- Ourlines protocols for treating patients with common conditions
   Guides the dental professional on the prevention and management of in-office medical emergencies

#### Contents

- 1. History Taking
- 2. Medical History Form
- 3. The Physical Examination
- Someoning the Medically Compromised Dental Patient

  AIDS Patients

  AIDS Patients

  10. Drugs, Facts, and Drug-Drug

  Dental Patient

  Interactions
- Dental Patient

  S. AHA Recommendations and
  Conditions Needing and Not Needing
  Endocraditis Prophylaxas

  6. Seventh Joint National Commission
  (JNC-VII) Classification of Blood
  Pressure for 18 years and older

  13. References
- 7. Medical Emergencies in the Dental Office
- 8. Oral Lesions Associated with AIDS
  9. Treatment of Oral Manifestations in
  AIDS Patients
- - Interactions
    11. Detailed Discussion of Diseases, Drugs,
    Drug-Drug Interactions and Assessment
    of Laboratory Test Results
  - Significant Facts About Commonly Encountered Drugs in Dentistry



Phone Toll-Free: 877.762.2974 • Fax Toll-Free: 800.597.3299

Mail: Customer Care, 10475 Crosspoint Blvd, Indianapolis, IN 46256

www.blackwellpublishing.com/dentistry

## タフツ大学歯学部との討論内容のまとめ

- 1)タフツ大学のカリキュラムはOdontologyである。
- 2) 生命科学教育、臨床内科医学教育と歯科治療に関連する内科医 学教育に力を入れている。それは全カリキュラムの 半数以上 (53.2%)を占めている。内容は毎年、新しいものにしている。
- 3)タフツ大学歯学部の学生教育は一般医学、特に内科医学知識を 習得した最良の臨床歯科医師を養成する方向性を持っていた。内 科学の教育は1名の常勤内科医であるが、他に26名の講師を医学 部から呼び講義と診断学実習を行っていた。

その内容は特別ではなく、アメリカ歯科医師会(ADA)の Commission on Dental Accreditation (CODA)にある歯科医学教 育ガイドラインに沿って行っているとのことであった。

- 4)アメリカでは、歯学部教育は大学院教育(一般の理系大学を出た後に入学する)であるから、常に高水準の教育を心がけている。
- 5)アメリカの歯科医師数は、医療内容からすると、現在はやや不足している。各大学の学生定員数はさまざまであるので、各大学院教育の方向性でそれは決まってくる。タフツ大学は高度な医療知識と技術を持つ歯科医師(DMD: Doctor of Denral Medicine)を養成することを目的としていた。DDS(Doctor of Dental Surgery)とDMDは現在、全く内容に相違のない卒業資格と言われている。それはADAが教育内容のガイドラインを指示しているからと言える。

古い東部アメリカの大学の卒業時に出す学士にDMDが多いようである。州立大学やその他の大学はDDSを用いる場合が多い。ちなみに座学が終了した後に受けるパートI、患者臨床実習修了後に受けるパートIIもADAが行っている。また、州が発行する開業医ライセンス管理も各州のADAが行っている。

- 6)タフツ卒業生の、80%は一般歯科コースで、20%が専門医コース (3年間が多い。口腔外科は4年間もしくは6年間)へ入る。もちろん 専門医コースは自学出身者と他大学出身者からなっている。
- 7) MD一元化論は、全く受け入れられない。それはタフツでは、一般医学教育と内科医学教育は十分に行っているから充分とのこと。また、医学部教育のみでは、特殊性を持つ口腔という器官、臓器の治療における教育に充分な時間は取れない。咬合機能という困難な顎運動生理、口腔解剖学的分野であるからと言及していた。歯学部の内科医学教育を行うDr. Gandaが、強くそれを理解し、最も言及していた。

その理由から、一元化しなくても十分な生命科学教育と内科医学教育を行うことで、解決できるとのことであった。

8)タフツ大学歯学部学生キュラムは、生命科学、内科学や歯科医療に関連する内科医学教育を重要視していた。

## 戦略的大学連携支援事業

「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」 口腔医学シンポジウム

## 「口腔医学」-歯科医療の将来像-

日時:平成21年1月22日(木)14:00~ 会場:福岡県歯科医師会館5F 視聴覚室

## プログラム

14:00	開会・挨拶	福岡歯科学園 理事長	田中	健藏
14:05	基調講演「なぜ?今、」	コ腔医学か」		
	福岡歯科大学	学長	本田	武司
14:25	「医歯二元論の歴史と原	展望」		
	鶴見大学歯学	部 特命教授	瀬戸	晥一
14:45	「口腔医学の果たすべる	き役割と進むべき方向」		
	北海道大学歯	学部口腔病態学講座 教授	戸塚	靖則
15:05	「医学・歯学教育の将著	来」		
	国立国際医療·	センター名誉総長	鴨下	重彦
15:25	「医学と歯学によるチー	ーム医療」		
	福岡大学医学	部耳鼻咽喉科学講座 教授	中川	尚志
15:45	討 論			
	モデュレータ	福岡歯科学園 理事長	田中	健藏
17:00	閉 会			

17:30 懇親会

(福岡県歯科医師会館 1階 第1·第2会議室)

#### なぜ?今、口腔医学か

#### 本田 武司

#### 福岡歯科大学長

我が国で一時、同じ資格として行われていた医師と歯科医師の開業試験が、別個に行われるようになって約100年が経過した。その間、医学、歯科医学としてそれぞれの学問体系を確立しながら医療、歯科医療が進歩発展を遂げ、現在、世界に伍して高度な医療、歯科医療が提供されている。業としても歯科と医科は法律的に極めて厳格に分けられ、歯科医業の対象は、ほぼ歯に限局した形となり、同じ人体の一部でありながら口腔は他の部位と全く別扱いの感がある。解剖学的な口腔は空間かもしれないが、口腔に含まれる舌をはじめ口腔粘膜や、歯、顎骨、唾液腺、顎関節などは摂食・嚥下、呼吸、消化、発音など、人体にとって極めて重要な機能を持ち、全身疾患との関わりも深い。しかし、口腔が人体の中から切り離された形で医学部と歯学部で別個の教育、医療体制が取られているため、医療と歯科医療実践の過程で、しばしば領域間の問題や、これに起因する諸種の問題も起こっている。

口腔に関しては、主に歯学部で教育が行われているが、歯学教育の大半は歯に集中し、医学部でも口腔に関する教育はあまり行われていない。しかし、超高齢社会を迎えて有病高齢者が増加した現在、摂食障害や口腔常在菌による誤嚥性肺炎などの高齢者特有の病気が多発している。そのため、口腔ケアーをはじめとした医療の在り方、歯に重きを置きすぎた歯学教育の在り方、そして口腔をあまり視野に入れていなかった医学教育の在り方を再考する必要があると思われる。

従って、これらの問題解決の糸口として、また、患者さんのための医療を実践するためにも、現在のように歯に重点を置きすぎた歯学教育、歯科医療から歯と周囲組織や顎関節などを広く含めた口腔領域全体を視野に置いた教育や診療(口腔医学)に変革し、医学教育の中にも口腔医学を取り入れた教育を行う必要がある。

#### 医歯二元論の歴史と展望

#### 瀬戸 晥一

#### 鶴見大学歯学部特命教授 (学長補佐)

明治7年医制76が制定されたときは医歯一元論であった。それが32年後医歯二元論として医師法、歯科医師法が制定されるまでにどのような変化があったのか。また国際的にも国内的にも二元論に至る必然性、社会的な背景に関しては詳しい文献に乏しい。欧米においては外科学の発展が目覚しく、外科学の延長上に歯科学が発展していったが、わが国はロ中医の伝統が古来からあり欧米型とは別の発展様式を辿っていた。江戸時代の入れ歯、入れ眼、入れ鼻師などが出現して高度な補綴が行われていたという記録もある。

蘭学の到来と共に西洋医学が輸入されるようになると日本の医学そのものが大変革を強いられ、やがて明治時代の西洋指向型に連なっていく。その過程の中で、英米人から直接指導を受けた歯科医集団が現れ、その代表格が明治9年歯科医師免許第一号となった小幡英之助で、この頃から日本は西洋式の医歯二元論が定着し、明治39年医師法、歯科医師法の同年成立を見ることになる。

日清、日露戦争を経て日本の国威は急速に発揚して俄かに世界史に登場するようになったが、この頃20世紀初頭の外科医学水準はまだまだで、麻酔、感染対策の充実に支えられて驚異的な発展を遂げるのは少し時代が下がる。しかしこの近代医学の黎明期にあって、確実に除痛をはかり、咀嚼機能回復が行える歯科医師は爆発的な需要の増加と共に大きく飛翔しえたのである。その後歯科医師の需要が急速に伸びるにつれて、歯科医師の医行為などについて頻りに議論されていたがやがて敗戦になり、米国の主導で一気に歯科大学が誕生したのである。

欧州においては大きな戦争が繰り返され、口腔外科学が軍陣医学の中で脚光を浴び急速に進歩していった。口腔外科学は医歯二元制のなかで本来的に両者の狭間に存在する一方、両者の共有部分でもある。そのためにドイツ語圏を中心としてダブルライセンスの考え方がクリミア戦争の頃から生まれた。その方向は米国をはじめとして20世紀末には全世界を席巻するかに見えた。ドイツ医学を奉じていた日本には医歯両免許取得の機運は生じたが大きく実るということはなく現在歯科医師の口腔外科医は95%を上回っている。そこで日本が先頭に立って米国に影響し、全世界を巻き込んでのライセンス論争が繰り広げられ、01年に国際口腔顎顔面外科学会総会にてダブルライセンスは必ずしも必要ないことが確認された。

戦後歯科大学が誕生して歯学部は医学部とならんで6年制をとり、医歯二元の理念が制度の中で明瞭に確立され、それは世界のモデルともなる整然としたものであった。多くの歯科医学の学会もこの頃に誕生した。しかし不思議なことに新医療技術を研究開発する使命、あるいはそれを他の科学領域に発信する使命を果たすこともなく、この間における外科医療の驚異的な発達に比べていかにも貧弱化しているのが実情である。そればかりか法的には徹底した二元論が敷衍して歯科医療は医科の医療から次第に乖離する傾向にあり、そのために様々な医療上の齟齬が生じ国民の信頼を失いつつあるのが現状ではなかろうか。いま歯科医学、歯科医療は根本的に考え直す必要に迫られている。そこで医歯一元論をも視野に入れて原点に帰った意識構造改革を行うことが現状打開の切り口になるであろう。

しかし現状では歯科医師法の改定はそう簡単には行われえないことは自明であり、医歯二元論が世界の中で定着している中で日本のみが逆噴射するわけにはいかない。さらに極端な負の連鎖の渦中にある歯科が一元論を唱えても医科が簡単に承諾することはないであろう。

そこで今為すべき最も肝要なことは歯学教育において自動車学校的なスキル教育を改めて教養教育の 基盤の上で医学教育を本格的に導入し、その上でデンタルスキルを教育するスタイルに変更するのはど うであろうか。それによって医療の中での歯科医療の位置づけが明らかとなり、自費診療マインドが払 拭され、また若い頭脳が再び歯科に集まってくるであろうと確信しているがいかがであろうか。

#### 口腔医学の果たすべき役割と進むべき方向

#### 戸塚 靖則

#### 北海道大学大学院歯学研究科口腔病態学講座口腔顎顔面外科学教授

口腔は、食物の摂取や咀嚼、嚥下、会話など様々な機能を営んでいる。それを可能ならしめるため、 口腔及びその周囲は、歯や歯槽骨、歯肉、粘膜、顎骨、咀嚼筋、唾液腺など、多くの組織や器官から構 成されており、形態も複雑である。ただし、代謝面からみると比較的単純で、代謝が活発な骨や筋肉、 唾液腺、粘膜などの組織と、代謝がほとんど行なわれない歯に分類される。前者においては、自然治癒 が期待できることから、疾病の治療は、投薬や生活習慣の改善などによる病因の排除、ならびに安静や 栄養補給などによる体力の回復が主体となる。必要に応じて病変の除去などの外科的処置も行われるが、 創傷治癒が正常に営まれることを前提としている。一方、後者では、自然治癒が期待できないことから、 歯、特にエナメル質や象牙質に生じた病変は全て人の手で除去し、欠損部は人工物を用いて人為的に修 復しなければならない。しかも、歯は極めて硬く、エァタービン等が導入されるまでは、歯の硬組織病 変の除去は時間と手間のかかる困難な手技であった。また、口腔は物理的・化学的・生物学的にみて厳 しい環境にあるため、歯の修復材料には安全性や機械的強度に加えて、耐酸性や操作性、審美性など様々 な性質が要求される。また二次う蝕の予防に加えて、歯根膜に存在する知覚神経は極めて鋭敏であるこ とから、歯科用修復物の製作には数10ミクロン単位の正確さが要求される。このため、エァタービン等 が用いられるようになった後も、歯の欠損の修復には多くの知識と高度な技術が不可欠で、その修得に は相当の年月が必要であった。研究面でも、新たな機器や優れた材料の開発が必要であった。これらの ことが、歯学は医学の一分野でありながら、今日まで、医学とは異なった教育研究体制がとられ、異な った道を歩んできた大きな理由である。しかし、科学技術の進歩により、歯の切削等に用いる機器は飛 躍的に進歩し、また修復物の作製に関しても新しい材料の出現や製作機器の開発などにより、基本的な 手技の修得は以前に比べて容易になっており、最近では CAD/CAM による修復物の製作も行われている。

一方、少子高齢化や口腔の健康志向の高まりなどから、歯科で扱う疾病は大きく変化している。以前は、う蝕と歯周炎がほとんどであったが、最近では、口腔乾燥症や粘膜疾患、舌痛症、嚥下障害、味覚障害、顎関節症など、多様化している。近年、歯周疾患と糖尿病との関連が注目されているが、その他にも全身状態や全身疾患と関わりのあるものが少なくない。さらに、以前は一般の歯科で扱う部位は歯と歯周組織に留まっていたが、最近では歯科用インプラントが標準的な治療になりつつあり、顎骨にまで拡大している。また、患者の高齢化が進み、慢性疾患や合併症を抱えた患者の割合が増加している。歯科治療においては、局所麻酔を使用する頻度が高く、しかも歯周組織の解剖学的な特徴から、アドレナリンを含有したものや高濃度の麻酔剤を用いることが多く、循環動態に影響を及ぼしやすい。また、歯髄炎や歯周炎など歯性感染症の割合が高く、抗菌薬や鎮痛薬を投与することも少なくない。このように、最近は、歯科で扱う疾患や治療法をみても、あるいは患者の年齢・全身状態からみても、歯科医師にとって、全身の理解と医科で扱う疾患についての知識が不可欠のものとなってきている。

このような状況において、口腔の健康維持や口腔疾患に対する人々の要望に応じて最良の対応ができる歯科医師を養成するには、2つの方法がある。1つは、歯学教育カリキュラムを大幅に見直し、これまで歯の切削や修復物の製作に関する知識と手技の修得に費やしてきた時間を、一般医学の修得に当てることである。もう1つは、医学と歯学の教育を一元化することである。この場合は、歯学に特有の教育が加わることから、医学教育に必要な時間数は増加するが、基本的な事項に絞り込めばそれほど膨大なものになるとは思われず、また咀嚼や生体材料、口腔ケア等についての教育は医師にとっても有益であろう。歯科に特有の歯の切削や修復物の製作に関する知識と手技の修得は、内科や外科、耳鼻咽喉科等と同様に、卒後研修と後期研修で行われることになる。そのため、現行に比べると一人前の(歯科)医師になるまでに時間がかかるが、全身に関する豊富な知識を持った口腔医学の専門医が養成される。

現在別々に行なわれている医学教育と歯学教育が統合されると、共通分野の統廃合が進み、教員の有効活用が可能となり、教員不足の解消にも繋がる。研究面をみても、現在は遺伝子・分子生物学の時代であり、医学と歯学ばかりでなく、薬学、農学、理学との壁もなくなってきている。材料等の分野でも、歯の再生が可能となりつつある時代に、歯科に限定している必要はなく、人体全体を対象とすべきであろう。このように、医学・歯学教育の一元化は時代の変化に即したものであり、多くの利点を有することから、その実現に向けて早急に討議を開始すべきであると考える。

#### 医学・歯学教育の将来

#### 鴨下 重彦

#### 国立国際医療センター 名誉総長

現在医師不足が大きな社会問題となっている。しかし、つい10数年前には関係者の間で医師過剰に対する警戒感が強く、旧厚生省は文部省を通じ医科大学に対し学生の定員削減を要請していた程であった。それがここ数年は急速に医師不足の状態となり、医療の現場では医療崩壊が叫ばれている。その対策として医学部学生定員を1.5倍に増やす、というような議論さえ出た。医師不足には臨床研修必修化が追い討ちをかけたとされているが、その見直し程度で解決する問題であろうか。また医師不足に対し、医学部の学生定員を増やすというのは、あまりにも短絡的ではないであろうか。すでに日本は人口減少社会となっている。今後は毎年50万都市あるいは100万都市が消えていく勘定という。今年医学部を卒業して医師になるものは50年後も現役であろう。2050年には、4割増えた医師が2割減った人口を診ることになる。医療費が変わらなければ医師の収入は半減する。一方で歯科医師はすでに過剰といわれている。

この際、中長期的に将来の医療のあり方を見据えて、医学、歯学、薬学、看護学、他のコメディカルも含む医科学 (Medical Sciences) 教育のグランドデザインを考え、抜本的改革を行わなければならないのではなかろうか。

以下のような問題点について私見を述べたい。

- 1. 医師、歯科医師の教育は大学院レベルのものにする。 獣医学、薬学が6年制の現在、医学・歯学の教育は8年制を検討する。学士編入学制度ではなく、 全大学がアメリカ型のメデカルスクールを目指すべきではないか。
- 2. リベラルアーツ教育を重視する。
  - 医学進学課程の廃止により、一般教養教育が希薄になっている。法、文、経、の文科系学部や、理、 工、農など理系各学部を卒業したもので、さらに医師として人道に奉仕したいとの高い志を持つ学 生を医師として教育すべきではないか。
- 3. 看護教育の充実を図り、専門看護師を養成し、広く活用する。 4年制看護大学の数は現在169校、医科大学の倍以上である。看護婦が看護師になって何が変わったのか? 看護師、保健師、助産師はもっと高度の技術を身につけて医師と協力して医療現場で活躍すべきではないか。
- 4. 医学と歯科学との統合を考える。

戦後の教育大革で6・3・3・4制がスタートしたとき、医学と歯学だけは6年制となり、教養教育2年、専門教育4年となり、その間で入学試験が行われていた。歯科学はその専門性を生かしつつ、 頭頚部の外科の一分野として発展すべきではないか。

#### 医学と歯学によるチーム医療

#### 中川 尚志

#### 福岡大学医学部耳鼻咽喉科学講座教授

医科である耳鼻咽喉科および形成外科は歯科口腔外科と診療領域を重なるため、長年にわたって領域問題が存在してきたことは衆知の事実である。これに対し、平成8年厚生省(現厚生労働省)でひらかれた歯科口腔外科に関する検討会で議論され、意見がとりまとめられた。ひとつは歯科口腔外科の診療対象を具体化することと②歯科口腔外科の診療領域における歯科と医科の協力関係の確立である。しかし、具体的問題への対応はその後の重要な課題とされた。このため、医療機関ごとに意見の「まとめ」に沿って、問題解決に前向きの姿勢で臨み、口腔咽頭領域で良質な医療を提供し得るよう努力を続けるようにと記された。領域問題は本シンポジウムの本題とするべきことではないし、私自身の考えは医師側意見の代弁とはなりえない。このため、今回は②の協力関係に話しの重きをおき、医学と歯学がチーム医療を行なうことによっていかに口腔医学領域でよりよい医療を目指すことができるかについて私見を述べる。

#### 口腔医学シンポジウム アンケート集計結果

1. あなたの年齢を教えてください a 20代 b 30代 c 40代 d 50代 e 60代以上	3 11 16 5	35	アンケート配付数 回収枚数 回答率	48 <b>35</b> 72.9%
2. あなたの専門分野を教えてく a 歯科医師(臨床系) b 歯科医師(基礎系) c 歯科医師(その他) d 医師 e その他	ださい 17 4 1 4 9	35		
aと答えた方にお尋ねしる 専門の診療科を教えてく a 口腔外科系 b 保存系 c 補綴系 d その他				
3. あなたの職階について教えて a 教授 b 准教授 c 講師 d その他	18 10 3 4	35		
4. 講演より前に口腔医学につし a 聞いたことがあり、理解し b 関いたことはあるが、ある	していた。		りますか。また理解していまし 31 35 4	たか。

b 聞いたことはあるが、あまり理解していなぇ

c まったく聞いたことがなかった。

5. 講演者の人選は適切でしたか。 35

> a 適切と思う 23 b 普通 11 c 適切とは思わない 1

#### cと答えた方は理由をお聞かせ下さい。

回答b 口腔外科系にやや偏りがあると感じる

回答c 口腔外科出身の講師が多く、偏りが感じられた。補綴系、保存系の講師の話を聞いてみたかった。 また医歯学に専門でない方(人文系など)の意見も聞いてみたい。

回答a 今回の講演者は口腔医学、医歯一元、二元論について日頃から認識の高い人の講演であり、 人選は適切であったと思うが、歯科領域からの演者がいずれも口腔外科出身者であったので、 今後それ以外の科(領域)の先生の意見も聴きたい。

6. 歯学教育における医学教育の時間をこれまで以上に増やすという考えに対し、あなたの意見をお尋ねします。

a 大いに賛成である 13

b どちらかというと賛成である 15 7

c どちらでもない

d どちらかというと反対である

e 全く反対である

#### dまたはeと回答された方は理由をお聞かせ下さい。

回答b 歯学教育に資する医学教育(項目も含め)十分に考えて選択するのが良いと考える。

#### 7. 医学教育において、口腔医学を取り入れた教育を行うことに関して、あなたの意見をお尋ねします。

35

a 大いに賛成である 17

b どちらかというと賛成である 15 3

c どちらでもない

d どちらかというと反対である

e 全く反対である

#### dまたはeと回答された方は理由をお聞かせ下さい。

回答a 医学と口腔(歯学)を関連づける教育が不可欠と考える。

#### 8. これからの歯科医療にとって口腔医学の確立が必要と思いますか?

a 大いに思う 20 35

b どちらかというとそう思う 13 c どちらでもない 2

d あまり思わない

e 全く思わない

#### dまたはeと回答された方は理由をお聞かせ下さい。

回答bカリキュラムの編成によって良し悪しが出てくると思う。

#### 9. 次回のシンポジウムについてお尋ねします。

#### 1)討論してもらいたいテーマがありましたらお聞かせください。

- 一元論・二元論には言及せずに、医学的基盤の必要性を様々な診療科の方に紹介してもらうとよいと思う。
- 医学教育における新しい教育方法(もしくは教育領域)の試みについて
- 具体的な科目(内容)や編成(時間割)等についてのコンセプト
- ・口腔医学と国試成績は直ちに両立するか(ポジティブに考えてください)
- 臨床模型実習の見直し
- ・歯科医療(治療)における患者の全身疾患状態をどのように把握するか、またそのための知識をいかに 身につけるか。
- ・歯科医療の制度について厚労省の考え方が知りたい。
- ・医科と歯科の教育について諸外国での取り組みのちがいや歴史的背景について
- ・医学(医科)と歯学(歯科・口腔科)の区割りは必要か?(下記●の領域・立場の人の意見・討論)
- ・歯科が扱う疾患は実際に変化したのか。それとも疾患は同じで治療法が変化したのか。
- ・ 歯科医療の展望 行政的立場から
- 歯科臨床の現場と医学(全身を扱う)教育の必要性
- ・口腔医学における学生の実際のカリキュラムがどのように変更していくのか?医学部との関係はどう なるのか?など
- ・学生の理解、学生が口腔医学の必要性についてどう考えているのか。
- ・口腔医学の立場からの実際の臨床の歯科医療のあり方。
- ・歯科の疾病の変化と将来の予測について
- 保存や補綴の専門家の意見について
- 心身医療に関する活題

#### 2)また、講演者はどのような方がよいとお考えですか?

- あるテーマに関する問題の認識や方法論においては色々な考え方があると思いますので、今回のように 意見やニュアンスの異なる人も含めてバランスのよい人員構成であれば良いと思います。
- 大学又は開業医(歯科)の各診療科のドクター
- ロ腔外科系以外の分野の先生
- ・口腔医学責任者と国試責任者(ポジティブに考えてください) そのあとで父兄や学生
- 医療関係者でない人
- 臨床系教員
- ・補綴系の方、人文系(一般市民)の方
- 救命救急医療従事者の方。
- 1. 歯科の領域から(補綴系、保存系、一般開業歯科医師)2. 国民(患者)がどのように考えているのかの 意見を述べる人、有識者(医療関係外の人)3. 大学の他領域(理工学部、薬学部、文系学部他)の人が 歯学部、医学部の区別をどのように思っているかの意見
  - ・難しいかとは思いますが、口腔外科系の先生以外の方の講演もできれば拝聴したいと思います。

- ・厚労省や文科省の行政職の方、歯科医師会の方、口腔疾患の疫学調査を行われている方。
- ・口腔医学の考えに反対の立場をとられる方もいらっしゃると思います。その方のご意見も今後口腔医学の普及には必要かと思います。
- 行政、歯科、医科をとりまぜ、広い観点から話をしてもらうとよい。
- ・反対派の意見も聞きたい。
- ・医歯大 豊福教授など

#### 10. その他、口腔医学に関してご意見がありましたらお聞かせください。

- ・医科領域の人材で、口腔医学に大いに反対であるという立場の方がいらっしゃるようならば、お話を拝聴 してみたい。
- ・ 高齢化社会を迎えて口腔医学の重要性についての認識はどなたも異存はないだろうと思います。問題は 云うまでもなく、様々な利害対立や制度上の問題がある中で、口腔医学の確立をどのように展開していく のかという方法論のプロセスだと思います。とにかくできることから一歩ずつ前進していくしかないと思って います。
- ・歯科と医科の一元化を期待します。患者さんたちも安心して歯科治療を任せられると思います。
- 現在の歯科界の閉塞感を打破するため、また歯学部の志願者を増やすためにも口腔医学のアピールは重要だと思う。
- ・歯科と医科の一元化を期待します。患者さんたちも安心して歯科治療を任せられると思います。
- ・教育内容にかかれることなので、国試を含めた全国的な変更(カリキュラムや教育目標)が 必要と思います。
- ・動機が高齢化という社会変化のみでは少々パワーに欠けるように思える。より明確な動機を鮮明に打ち出した方がよいのではないか。
- ・現時点で学生である者たちだけではなく、将来的には社会人向けの再教育、つまり歯科医師の資格を 持ち、すでに歯科医師として働いている人たちに対する口腔医学教育も近い将来必要になると思います。 そのような教育に対する準備も始めなければならないのではないでしょうか。
- ・国民のQOLの向上に口腔医学の確立は大変重要なことと考えられます。一方、卒前・卒後の口腔医学教育に関して、大学のみならず、地域、行政といった多方面からの情報の収集を行い、コンセンサスを深める必要があると考えます。
- ・歯科は歯のみという考えではなく、口腔内の一組織と考えなければならないということを今回の講演で再認識した。歯科医師もそのことを踏まえた上で、全身のことも考慮に入れながら診察・治療を進めなけらばならない。私も口腔医学の考えに基本的に賛成である。
- ・歯科医療従事者が全身疾患との関連を意識しながら歯科治療にあたることは、患者側から見た場合、大いに結構である。口腔医学という学問分野が確立することは良いことと思うが、従来の歯科治療、特に保存修復や咬合、顎補綴、矯正といった分野との関わりについてどのようになるのかが、自身の理解不足と思うがよく分からない。
- ・医学教育は5年あるいは6年の臨床実習の期間を利用することで口腔医学としてより効果の上がる 内容もあると考える。
- ・歯科医療の現在の窮状をどう打開するかという観点から歯科医療のあり方、方向性を考えないと、 口腔医学というコンセプトが空回りするのではないかと考えます。

## 戦略的大学連携事業平成20年度研修プログラム

	::::::::::::::::::::::::::::::::::::::
時 間	内 容
13:00~13:30	受付
13:30~13:40	開会挨拶 福岡歯科大学 厚谷彰雄 事務局長
13:40~14:20	・「口腔医学の確立について」 講師:福岡歯科学園 田中健藏 理事長
14:20~15:10	・「口腔医学の学問体系の確立と医学歯学教育体制の再考」 講師:福岡歯科大学 北村憲司 学長
15:10~15:25	休憩
15:25~16:30	・基調講演 「高等教育及び私学の現状と問題点」 講師:文部科学省高等教育局参事官付運営調査係 村本定則 主任 質疑応答
16:30~17:00	キャンパス案内
17:00~17:30	会場移動
17:30~	自主研修

	::::::::::::::::::::::::::::::::::::::
時 間	内 容
09:00~10:15	・情報交換(フリーディスカッション) I (各大学から業務上の課題等を事前に出してもらい、その課題に対するディス カッションを行い、他大学の取組みを課題解決の参考にする)
10:15~10:30	休 憩
10:30~12:00	・「大学職員の能力開発 ーより良い経営と教職協働のために一」 講師:広島大学高等教育研究開発センター 山本眞一 センター長 質疑応答
12:00~13:00	昼食
13:00~14:00	・情報交換(フリーディスカッション) Ⅱ
14:00~14:10	閉会挨拶 福岡歯科大学 厚谷彰雄 事務局長

#### 平成20年度SD研修(2/19-20)アンケート集計結果

回収件数: 17

1. 全体の日程等(開催時期・日程・時間配分等)について

適切であった	10
概ね適切であった	4
あまり適切でなかった	3
適切ではなかった	0

- ・GP関係は年度末に収支の処理が多い為、早めの方が良いのでは。
- ・2月は各大学で最も業務が多い。
- ・時間配分は良かった。開催時期は11~12月頃がよい。
- ・開催時期を検討してほしい。
- ・開催時期が年度末ということで、業務上苦しかった。
- 講演・ディスカッションのバランスがよく充実していた。
- ・開催が業務多忙な時期で、参加者が限られたのが残念だった。

#### 2. 会場について

適切であった	14
概ね適切であった	3
あまり適切でなかった	0
適切ではなかった	0

- ・少人数に合わせた部屋の大きさでよかった。
- ・最後のフリーディスカッションの部屋は声が響くので、グループ内の話が聞き取りにくかった。
- 大変良い会場をありがとうございました。
- お世話になりました。

#### 3. 研修について

(1)「口腔医学の確立について」講師:福岡歯科学園 田中健藏 理事長

有意義であった	11
概ね有意義であった	4
あまり有意義でなかった	0
有意義ではなかった	0
無回答	2

- ・学問体系の確立に職員として協力していく意義の向上になった。
- 専門的なことが多かったが、職員も認識しておかなければならないと思った。
- ・歯学ではなく、口腔医学という考え方について教えていただいた。
- ・歯学の方向性の問題点を感じた。
- ロ腔医学についてわかりやすい説明だった。
- とても感銘を受けた。

(2)「戦略的大学連携支援事業概要について」講師:福岡歯科大学 北村憲司 学長

有意義であった	10
概ね有意義であった	5
あまり有意義でなかった	0
有意義ではなかった	0
無回答	2

- ・事業ではどのような展開を行っていくのか説明がほしかった。
- 目的を明確にできた。
- 専門的なことが多かったが、職員も認識しておかなければならないと思った。
- 教員と意見交換をするためには、事務職員の能力向上は必要であるという意見に納得した。
- ・今回の連携の意見を多くの方が知る機会になりよかったと思う。
- 戦略的大学連携支援事業の概要が理解できた。
- (3)基調講演「高等教育及び私学の現状と問題点」講師:文部科学省高等教育局 村本定則 主任

有意義であった	3
概ね有意義であった	5
あまり有意義でなかった	6
有意義ではなかった	1
無回答	2

- 資料を読んだだけの印象があった。
- ・歯科大学の現状における改善策、何故歯科医師過剰になったか、また将来歯科医師の需要が大学 としてどれくらい先まで維持できればまた改善されていくのか知りたかった。
- ・突然の講師交代で講師自身も難しい講演だったと思うが、資料の説明だけなら配布でもよい。
- ・歯学部についてもう少し現状を教えてほしかった。
- 資料を読んでいるだけで実の話がなかった。
- (4)「大学事務職員の能力開発-より良い経営と教職協働のために-」

講師:広島大学高等教育研究開発センター 山本眞一 センター長

有意義であった	13
概ね有意義であった	3
あまり有意義でなかった	1
有意義ではなかった	0

- ・18歳人口の減少による大学経営の悪化に対し、事務職員としての役割の大きさを感じた。
- ・事務職員の能力開発の重要性を認識した。
- 教員の先生方にもぜひ聞いていただきたい内容だった。
- ・もう少し具体的な話を聞きたかった。
- ・プロフェッショナルに近づくよう努力したい。
- ・もう少し実務に近い内容の方がよい。研究発表のようであった。
- ・教員と事務の役割を再認識できた。自分の仕事に置き換えてもつと努力が必要と感じた。
- 大学というより企業人に近い意識が必要だと痛感した。
- ・説明がうまく、よく理解できた。講師の考えている専門職についても、もっと詳しく聞きたいと思った。
- 大学職員として自己啓発の必要性を再認識した。
- ・これからの大学職員のあるべき姿、やらなければいけないこと、意識など参考になり、勉強になった。
- ・職員としてのあるべき姿が再確認できた。学内への周知には時間がかかるが少しずつ良い方向へつなげていきたい。

#### (5)フリーディスカッションについて

有意義であった	14
概ね有意義であった	3
あまり有意義でなかった	0
有意義ではなかった	0

- 各大学の方と本音の意見交換ができた。大変有意義で貴重な時間を過ごせました。
- ・ 非常に有意義であったので、もう少し時間を増やしてほしい。あと1時間くらい。
- 事前にテーマを決めてディスカッションした方がよい。
- ・座談会のようになっていたが、共通の問題点があることが分かった。
- ・今回のようにテーマを限定しない方がよい。
- 4名という人数での意見交換は今後の業務の上で非常に参考になるよい場となった。
- ・歯科系大学同士のディスカッションをして、同じ環境、同じ悩みをもっていることを実感した。
- 時間がもっと長ければよかったと思う。
- ・他大学との情報交換により、業務遂行上の同じ問題点が認識でき、今後も大学に戻り情報交換できる 人脈ができた。大変有意義な時間だった。
- ・職種が異なっても問題点、悩み等共有することができた。
- 事前に各人の担当業務を聞いてそれを基に班に振り分けた方がよい。
- ・各大学でも問題を知ることができ、気づきにつながった。大変参考になる意見ばかりだった。

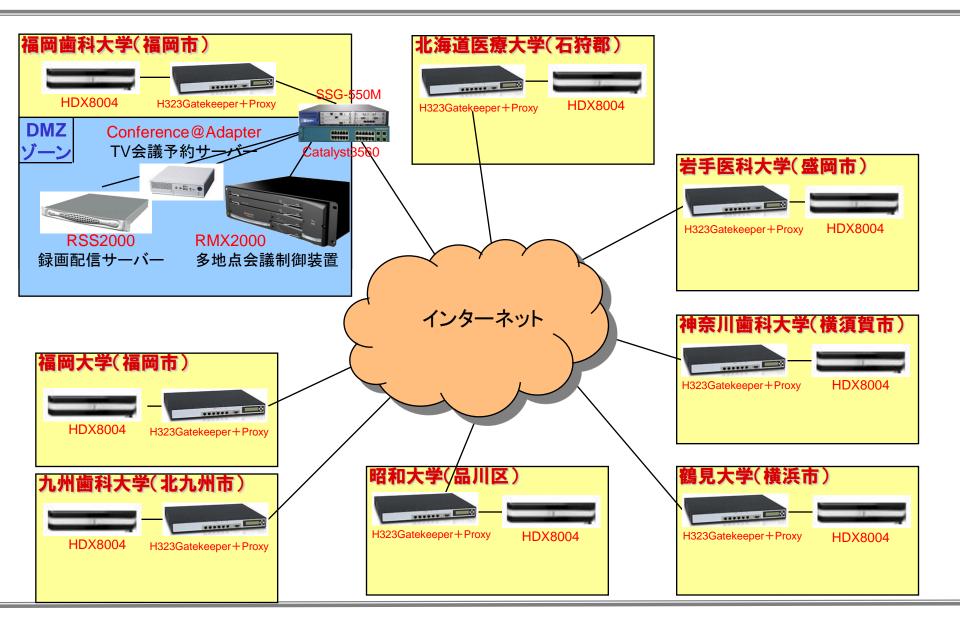
<取り上げてほしいテーマ> 競争的資金獲得に関して 管理経費削減に関して

#### 4. お気づきの点やご意見・要望、今後取り上げてほしい事項

- ・他大学の方々と意見交換ができ、非常に有意義な研修だった。今後もできるだけ参加し、色々なことを 吸収して業務に生かしたい。
- ・2日間にわたりお世話くださった福岡歯科大学様に厚く御礼申し上げます。他大学の方々との意見交換を通じ、今後取り組むべき自分自身の課題も見えてきたように思います。このような場を設けていただき本当にありがとうございました。
- ・福岡歯科大学のスタッフの方にお世話になり、ありがとうございました。
- ・今回、貴重な機会をありがとうございました。
- お世話になりました。夜の情報交換が非常に有意義でした。主管校の重要さもわかりました。
- ・フリーディスカッションではやはりある程度テーマを決めている方がよいと思った。現状報告会となり、 内容がぼやける。
- 各大学の実情がわかり、今後の糧としていきたい。福歯大様お疲れ様でした。
- ・福岡歯科大学の皆さんありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・福歯大のスタッフの皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 福岡歯科大学の皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。おかげ様で有意義な研修となりました。
- とてもよいSD研修でした。ありがとうございました。
- ・とても有意義な時間でしたので、またこのメンバーでディスカッションしたいと思った。
- 日常業務で疑問に思っていること等、ざっくばらんに話ができたので非常に有意義であった。
- ・初日の時間外研修、とても有意義でした。準備等、大変ご苦労があったかと思います。 ありがとうございました。

## 全体システム構成





2008年 (平成20年) 11月4日 (火曜日)

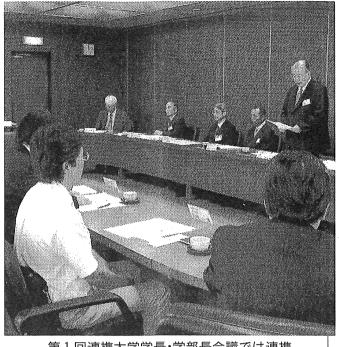
(昭和42年9月22日) 第三種郵便物認可)

日 歯 科 新 聞 本

(1)

週刊(毎月4回、火曜日発行)

第1579号



第1回連携大学学長・学部長会議では連携 事業における今後の方向性が話し合われた

## 文科省「大学間連携戦略」に採択

を行う医療人の育成は

口腔疾患の予防・治療 |『歯学』から、『医学』の学 問体系の中に確立した

医科大学、昭和大学、神奈川歯科大学、 九州歯科大学、北海道医療大学、岩手 を目指すため、八つの大学が手を結り 代にマッチする医学・歯学統一の教育 育体制の再考」が文科省の平成20年度 `略的大学連携支援事業「大学間連携 |学の学問体系の確立と医学・歯学教 |見大学、福岡大学が連携する 「口 ―。福岡歯科大学を代表校として 「口腔医学」の学問体系の確立と、時

制の育成を目指す。 や「担当者会議」、「連携事 携大学学長·学部長会議\_ 当代表者、職員による「連 連携校の学長・学部長、担 実施体制としては、

アするために高速ネット 連携の地勢的問題をクリ |会議||などを実施。広域

歯大連携企画室が行う。

事務に関する統括は福

が最善」との考えから、第 体系の確立とその教育体 『口腔医学』により行うの による「口腔医学」の学問 段階として、医歯連携 ワークシステムのテレビ された教職員及び学外の の共通化を図る。 会議を設けて情報、認識

連携を形成し、医師・歯科 を核として、より大きな た、国内・国際シンポジウ を設置し、各大学にフィ 学自己点検·評価委員会」 有識者らによる「口腔医 ムの開催も検討する。 ードバックしていく。ま 将来的には同連携事業

評価機構として、選任 目的。 医師の在り方や、時代に 業の推進や実施方法につ 学長・学部長会議は9月 に開かれており、連携事 育体制を再検討するのが マッチする医学・歯学教 1月10日に昭和大学で開 第2回会議は、 て協議された。 なお、第1回連携大学 、来年の

第1579号



2008年(平成20年)

1月4日

<発行所> 日本歯科新聞社

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-20-4 電話03(3234)2475 FAX03(3234)2477 http://www.dentalnews.co.jp/ idn@dentalnews.co.ip 年間購読料18,900円(税·送料込) 郵便口座番号00120-5-130369

厚生労働省記者クラブ加盟社









〈発行所〉日本歯科新聞社 厚生労働省記者クラブ所属

: 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-20-4

303(3234)2475付/FAX03(3234)8302/メールアドレス jdn@dentalnews. co. jp

【無断転載を禁ず】 ょうは2分です

> 学問体系の確立と医学・歯 学教育体制の再考」が文科 学が連携する「口腔医学の 歯科大学、鶴見大学、福岡大 医科大学、昭和大学、神奈川 を代表校として、九州歯科 を結んだ―。福岡歯科大学 指すため、八つの大学が手 医学・歯学統一の教育を日 入学、北海道医療大学、岩手

確立と、時代にマッチする 「口腔医学」の学問体系の 戦略」に採択された。 連携支援事業「大学間連携 省の平成20年度戦略的大学 「口腔疾患の予防・治療を

腔医学」確立と教育体

制

えから、第一段階として、医 歯連携による「口腔医学」の より行うのが最善」との考 中に確立した『口腔医学』に から、『医学』の学問体系の 体制の育成を目指す。 学問体系の確立とその教育 行う医療人の育成は『歯学』

学長・学部長会議」や「担当 携校の学長・学部長、担当代 表者、職員による「連携大学 実施体制としては、各連

のテレビ会議を設けて情 的問題をクリアするために どを実施。広域連携の地勢 報、認識の共通化を図る。 者会議」、「連携事務会議」な 高速ネットワークシステム

れた教職員及び学外の有識 評価機構として、選任さ

> 討する。 点検・評価委員会」を設置 者らによる「口腔医学自己 際シンポジウムの開催も検 クしていく。また、国内・国 し、各大学にフィードバッ

る医学・歯学教育体制を再 検討するのが目的。 核として、より大きな連携 在り方や、時代にマッチす を形成し、医師・歯科医師の 将来的には同連携事業を

進や実施方法について協議 かれており、連携事業の推 長・学部長会議は9月に開 なお、第1回連携大学学

月10日に昭和大学で開かれ 第2回会議は、来年の1

事務に関する統括は福歯

# 鹿児島 カミ

1

市の城山観光ホテルで開か 講演、祝賀会が2日、鹿児島 合設立15周年の記念式典、 険組合設立50周年、協同組 立100周年、国民健康保 鹿児島県歯科医師会の創

れ、県内外の関係者約40

の基本理念にのっとり更な

が放映された。 での同会の歩みを綴る映像 0人が出席した。 に6人の会員からスタート し、現在825人となるま 式典に先立ち、明治40年

務を負っている」と述べ、会 を委ねていただき、我々は 諸先輩からこれからの未来 万感の思いをこめて後輩達 くの困難を乗り越えてきた に渡さねばならぬ大きな貴 式辞で四元貢会長は、「多 会の大久保満男会長があい

郎県知事、日本歯科医師

保健医療の再認識を図って け講演会などを通じ、歯科 や広報キャラバン、住民向 念事業としてのテレビCM いくことを紹介した。 る邁進を誓った。そして記 また、来賓として伊藤祐

それぞれの受賞者代表に表 従業員、関係団体表彰など 身会員、永年会員、永年勤続 表彰式では、会員功労、終

利徳氏が謝辞を述べた。 れ、受賞者を代表して児玉 彰状や記念品などが手渡さ 式典終了後には自民党参

み」が行われた。 更なる発展を願った。 森博幸鹿児島市長が祝辞で 議員、石井みどり参院議員、 祝賀会では保岡興治衆院

政諮問会議は百害あるの 議院議員会長で元厚労相の 尾辻秀久氏による記念講演 国家財政と医療~経済財 試算は、現在の医療・介護

兆円、公費11兆円で、公費を 必要となる財源は保険料9 大連携企画室が行う。 news.co.jp/ nttp://www.dental 本社ホームページ

#### 2025年 の医 政府 第 療

年の41兆円から最大94兆円 提示した。 会議サービス保障分科会に は10月23日、社会保障国民 とする医療・介護費用は77 まで膨らむとの試算を政府 2025年に国民が必要

革に分けて計算した。 を克服し、国民の求めるサ 費は85兆円程度で追加的に 改革を実施④更に進んだ改 め、①現状のまま推移②穏 できる体制づくりなどのた も効率的かつ効果的に提供 ービスを質・量の両面で最 サービス提供体制の問題点 やかな改革を実施③大胆な ①の場合では医療・介護

(2面に続く)

4

#### ★暮らしのなかの守人って?/福岡工業大学

少年野球の監督や消防団員など と呼ばれることが多い消防団員など

同大社会環境学部の環境科学研 づくりへのヒントを提示する。 究所の主催で、講師は同学部の山室 敦嗣准教授。ボランティア活動など 3236へ。

の取り組みをテーマにした市民公開 の活動に対し、山室准教授は「ボラ 環境講座「暮らしのなかの守人(もり ンティアと言っては特別なものとし

詳しくは同研究所☎092(606)

#### ★創立 75 周年で記念講演会/福岡大学

2009年に創立75周年を迎える福 の久保田勇夫氏が「米欧の『金融危 岡大学(福岡市城南区)は24日(水)機』と日本経済」をテーマに世界的な 午後3時から、同市中央区のホテル 金融問題について、次いで九州経済産 ニューオータニ博多で記念講演会 業局長の橘高公久氏が「九州地域経 「地域の発展と活性化を考える」を済の活性化に向けて」と題して話す。

参加は無料。事前申し込みが必要 大和竹史副学長による同大の社で、先着200人まで。申し込みや問い 会貢献の推進に関する講演の後、特合わせは、同大記念講演会事務局 ☎

#### ★芸術科高校生の卒業制作展/福岡県立太宰府高校

市)は来年1月20日(火)からの6日間、 術科は「芸術科の生徒にとって卒業 美術と書道の芸術科の生徒約40人に なもの。卒業制作展に作品を展示す

室を使い、絵画や工芸、彫刻、デザイ多くの参観を呼び掛けている。 ンなど美術専攻生の作品と、臨書や

福岡県立太宰府高校(同県太宰府 作品の合計約400点を展示。同校芸 るために、毎日遅くまで作品制作に 期間中は同美術館の1、3階の展示 励んできた成果を見てほしい」と、

入場は無料。詳しくは同校 芸術科

## 教育情報与七日七日

育機関で取り組まれている最新の研 空・教育と活発なキャンパスを紹介す

企画·制作/西日本新聞社広告局

虫歯などの治療にとどまらず、全身の健康とも密接に結び付く口の中のケア、いわゆる口腔(こうくう) ケアへの関心が高まっている。福岡歯科大学(福岡市早良区)を代表とする全国8大学は従来の「歯学」 を発展させ、全身の健康を目的とした歯科医療「口腔医学」の学問体系を確立させようと、「口腔医学 の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」事業を立ち上げた。医学・歯学を統合した時代に マッチする教育を目指すこの事業は、文部科学省の2008年度戦略的大学連携支援事業「大学間連携 戦略」に採択された。事業の内容や意気込みについて、福岡歯科大学の北村憲司教授に聞いた。

## 口腔医学の確立へ、全国8大学が次数

-2008年度文科省支援事業に認定

## 代表校•福岡歯科大学 北村 憲司教授にインタビュー

#### 高齢者のQOL向上

一福岡歯科大学が以前から重視していた口 腔医学の確立への動きが本格化しましたね。

北村 今までの歯科治療は虫歯や入れ歯な ど、"健康な人"の歯の機能回復が目的でした。 しかし高齢者にとっての口腔ケアは、体全体 の健康と密接に結び付いています。例えば、

▲北村憲司教授(次期学長)

食べ物を飲み込む反 射機能が低下して、本 来気管に入ってはい けない物が気管に 入って肺炎を起こし たり、かむ力が弱

やすくなったり します。65歳以 上の高齢者が国 内人口の約3 割を占め

は、高齢

者が食べたり話したりする機能を保ち、社会 参加を通じて生活の質(QOL)を向上させ ることは、社会の活力の向上につながります。 現代の歯科医師には、全身の健康維持につい て医師と同等の知識と理解を持ち、口腔ケア もできる技量が求められています。人材育成 を担う大学としては、「歯学」にとどまらず、 医学の学問体系の中に [口腔医学] を確立す ることが必要と考えたのです。

#### カリキュラム全体を改革

一文科省が支援する3年間で、どのような ことを進めていくのですか。

北村 本学をはじめ、北海道医療大学(北 海道当別町)と岩手医科大学(盛岡市)、昭和 大学(東京都品川区)、神奈川歯科大学(神奈 川県横須賀市)、鶴見大学(横浜市)、九州歯科 大学(北九州市小倉北区)、福岡大学(福岡市城 南区)の8大学が協力し、口腔医学カリキュラ ムの創設と教育体制の確立に取り組みます。

北村 歯学部では、内科や外科、耳鼻科な ど医科のカリキュラムを充実させ、学部全体 の教育改革を行います。実際の業務は歯科医

一どのようにして?

師法と医師法で明確に分けられていますが、 悪化に深く関係していることや、口内手術の 連携校の学長・学部長会議や担当者会議など 決め、教職員に対する教育研修や一般の人々 際シンポジウムなども予定しています。

#### 連携校には医学部も

一連携校の中には、歯学部だけでなく医学 部が交じっていることも特色ですね。

北村 医学部での口腔医学分野のカリキュ ラムも非常に大事ですので、医学部の学生さ んに対して本学に隣接する高齢者施設での実 習を取り入れていくことで進めていく予定で す。九州では本学のほかに、医学部を持つ福 岡大学が参加していますから、将来的には互 いの授業に出席できるようにすることもある でしょう。患者さんを中心に医師同士が連携 する "チーム医療" のためにも重要なことだ と思っています。

▲福岡歯科大学の実習風景。□腔医学の確立をにらんだ教育改革でカリキュラムはどう変わるのか

一最後に、取り組みへの意気込みを。

北村 口の中と全身の健康を関連付けて考 える医療が大切だと分かっていても、これま では漠然とした意識でしかありませんでし た。今回8大学が連携して新たな学問体系づ くりに着手することで、実現への第一歩が踏 み出せました。教育の視点を身体パーツに関 する専門家による医療から、患者さんを中心 とした専門家による医療へと変え、「何かが起 とって対応する」のでなく、「何かが起こらな いように対応する」歯科医や医師を育ててい きたいと考えています。

## 地域の健康づくりリーダーを育成 来年4月、ライフ・ウェルネス学科新設 熊本学園大学 これからの地

域社会における 健康づくりを担 う人材を育てよ うと、熊本学園 大学(熊本市)は 2009年4月、社 会福祉学部に「ラ イフ・ウェルネ ス学科」(入学定 員80人)を新設 する。ウェルネ ス(Wellness)と は、心身の健康 だけでなく人の 生・人生観や生 きがいを含む幅

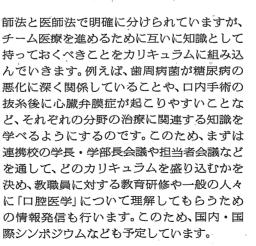


と。同学科では、住民一人一人がウェルネスをはぐくみ、健康 的で充実した人生を送れるようにするための社会福祉の専 門家を育て、同学科自体が地域での健康づくりの拠点として の役割を発揮していくことを教育目標としている。

カリキュラムは、社会福祉・健康・スポーツを柱に構成。「ス ポーツ指導法実習」や「運動処方」「レクリエーション概論」な どの保健体育学分野と、「ソーシャルワーク方法論」や「地域福 祉論」などの社会福祉学分野の両方を学べる教育体制を整 え、両者が融合した新たな教育体系の創造を目指す=図参照

同学科で学べば、社会福祉士国家試験受験資格や中学校教 諭一種免許(保健体育)、高校教諭一種免許(同)などの取得 が可能となる予定で、卒業後は福祉専門職従事者だけでなく 広く地域の健康づくり活動やスポーツ指導者、教職員、ス ポーツクラブなどでの健康運動指導士などの道があるとい

同大広報室では「地域社会における健康寿命の延伸に向け たユニークな新しい取り組み。たくさんの学生に学びに来て ほしい」と呼び掛けている。



平成21年1月21日(水曜日)

第2345号

(2)

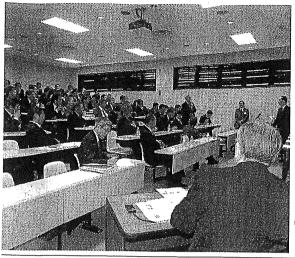


昭和28年創刊



教育学術新聞 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館内 編集兼発行人小出秀文 TEL 03 (3261) 7048 FAX 03 (3261) 0769 1部100円(税込)毎週水曜発行 年月800円(税込)毎週水曜発行 年4800円(税込)第5水曜休刊 (2009©) www.shidaikyo.or.jp

8大学連携事業でシンポジウ



#### 全国から関係者ら100人が参加

学教育体制の再考」。 問体系の確立と医学・歯 学、鶴見大学、福岡大学が 助成の戦略的大学連携支 連携する「口腔医学の学 援事業で、福岡歯科大学 と九州歯科大学、北海道 和大学、神奈川歯科大 療大学、岩手医科大学、 同事業は、文部科学省

学」の学問体系確立等を 目指す事業の関連シンポ 8大学が連携し、「口腔医 ジウムが1月22日、福岡 、歯科医師会で開かれた 福岡歯科大学を中心に 岡歯科大学理事長の田中 の将来像」をテーマに、福 『口腔医学』—歯科医療

武司氏、鶴見大学歯学部 務めた。同大学長の本田 健藏氏がモデュレータを

歯学・医学関係者が参加

全国から約100-

分の

シンポジウムでは、 授の中川尚志氏が講演。 講演後の討論では、活発 彦氏、福岡大学医学部教 ンター名誉総長の鴨下重 、塚靖則氏、国立医療セ

な議論が交わされた。

第1591号



2009年(平成21年)

2 $_{ extsf{f}}10$  $_{ extsf{h}}$ 

<発行所> 日本歯科新聞社 〒101-0061

東京都千代田区三崎町2-20-4 電話03(3234)2475 FAX03(3234)2477 http://www.dentalnews.co.jp/ jdn@dentalnews.co.jp 年間購読料18,900円(税・送料込) 郵便口座番号00120-5-130369 厚生労働省記者クラブ加盟社 北海道大学歯学部教授の 特命教授の瀬戸院 氏

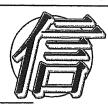
推進に有意義なシンポジ し、関係者は「口腔医学の一ウムになった」と話す。











【無断転載を禁ず】

ょうは 3 🦫です

歯学教育体制の再考」の の学問体系の確立と医学・

<sup>場として行われたもの。</sup>

〈発行所〉日本歯科新聞社 厚生労働省記者クラブ所属

本社:〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-20-4 全は101-0061 東京都千代田区三崎町2-20-4 全の3(3234)2475代/FAX03(3234)8302/メールアドレス jdn@dentalnews. co. jp

必要とされている。連携大

た、8大学による「口腔医学 学連携支援事業に採択され 手医科大学、昭和大学、神奈 科大学、北海道医療大学、岩 会議システムにより九州歯 岡歯科大学で開かれ、TV タッフ・ディベロップメン 学間で職員自身が在るべき 川歯科大学、鶴見大学、福岡 姿を考えるためのSD(ス 人学に同時配信された。 文科省の20年度戦略的大

S D 修

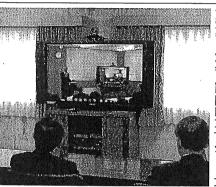
強調。大学の経営・管理・運 の力が期待されている」と 共有するなどを役割として 協働により、教員と目標を 動の企画と支援、教員との 営への参画や、教育・研究活 営・営業のサポートに、職員 大学経営に移行し、その経 る講義なども検討してい テムを応用して学生に対す の在り方を目指していく構 ね、それぞれに合った大学 で議論、情報交換などを重 え。来年度はTV会議シス 確立するために、8大学間 同事業では、口腔医学を

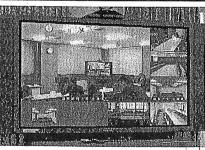
大学改革が求められる 、職員の役割にも変化が 長のリーダーシップによる

学管理運営から、学長・学部 な大学マネジメントの必要 ために」と題して講演。新た ンターの山本眞一センター 広島大学高等教育開発セ 「大学事務職員の能力 -よりよい大学経営の

#### 連携事業でSD研修

北海道医療大学、岩手医 が必要とされている。連 科大学、昭和大学、神奈川 開かれ、TV会議システ の両日、福岡歯科大学で SD(スタッフ・ディベロ るべき姿を考えるための 携大学間で職員自身が在 により九州歯科大学、 ンメント)研修が19、20





TV会議システムで各大学の職 員、関係者らが傍聴した。①鶴見大 学で研修の講演を聞く職員ら⑤ 連携大学それぞれの画面も表示 できる

> 宮・営業のサポ 移行し、その経

TV会議システムを応用

して学生に対する講義な

していく構え。来年度は

トに、職員の

文科省の20年度戦略的大一れた、8大学による「口腔 | 学連携支援事業に採択さ

中、職員の役割にも変化

人学改革が求められる

大学に同時配信された。

たもの。 医学・歯学教育体制の再 考」の一環として行われ 広島大学高等教育開発

学の学問体系の確立と

センターの山本眞一セン

の能力開発―よりよい大 学経営のために」と題し

> 支援、教員との協働によ 教育・研究活動の企画と

・管理・運営への参画や、

いる」と強調。大学の経営

て講演。新たな大学マネ 性として、「教授 ジメントの必要 会中心の大学管 り、教員と目標を共有す

理運営から、学 長・学部長のリ る大学経営に ダーシップに った大学の在り方を目指 どを重ね、それぞれに合 学間で議論、情報交換な を確立するために、8十 同事業では、口腔医学

るなどを役割として「示し

2009年(平成21年)

**2**月**2**4日

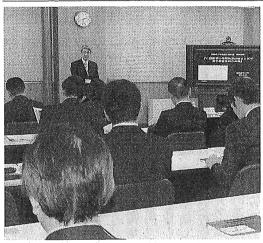
<発行所> 日本歯科新聞社

〒101-0061

東京都千代田区三崎町2-20-4 電話03(3234)2475 FAX03(3234)2477

http://www.dentalnews.co.jp/ jdn@dentalnews.co.jp 年間購読料18,900円(稅·送料込) 郵便口座番号00120-5-130369 厚生労働省記者クラブ加盟社 第2350号

(2)



研修会の様子

係主任による基調講演「高 私学部の村本定則運営調査

演を連携校に同時配信し

憲司学長) においてSD の両日、福岡歯科大学(北村 ´スタッフ・ディベロップメ 、ト)研修会が開催された。 同研修会は、文科省の戦 なり、九州歯科大、北海道 択された、同大が代表校と 医療大、岩手医科大、昭和 む『「口腔医学」の学問体 力向上を目指すことを目的 として、各連携校の中核的 体制の再考』の事業の一環 系の確立と医学・歯学教育 な職員に対し、問題解決能 に開催された。 福岡大と連携して取組 神奈川歯科大、鶴見

去る二月十九日と二十日 福岡歯科大でSD研修会 略的大学連携支援事業に採 連携 昭和28年創刊



教育学術新聞東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館内編集兼発行人小出秀文TEL 03(3261)7048 FAX 03(3261)0769 1部100円(税込)第5水曜休刊(2009@) (2009©) www.shidaikyo.or.jp

学の確立について」、北村 演の後、文科省高等教育局 援事業概要について」の講 学長の「戦略的大学連携支 田中健藏理事長の「口腔医 一日目は、福岡歯科学園 たとない機会となった。 会議システムを利用して講 なお、同研修会は、TV

より良い経営と教職協働の から九州までの医学・歯学 考える機会となり、北海道 た。また、これからの大学 変化や大学から求められて 感想及び各大学の能力開発 が「大学職員の能力開発— ターの山本眞一センター長 等教育及び私学の現状と問 系大学職員が交流する、 職員としてなすべきことを いる能力・知識を再確認し は、大学を取り巻く環境の ィスカッションが行われた。 の実態等について活発なデ 行った後、同講演に関する ために一」と題する講演を 大学高等教育研究開発セン れた業務上の課題につい 題点」が行われた。 交換を行った。続いて広島 て、グループ討議、意見の 研修会を通し、参加者 一日目は、事前に提出さ

平成20年度文部科学省戦略的大学連携支援事業 口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考

# 歯科医学から口腔医学へ~口の中から、人の健康が見えてきた。

#### これからの歯科医療は変わります。

これまではっきりしていなかった歯周病と 糖尿病や心臓の病気などとの関係がだん だん分かってきました。その結果、虫歯の 治療だけにとどまらない、いわゆる口腔(こ うくう)ケアへの意識の高まりが本格化して きています。健康な身体を維持するために は口の健康、口の中のトータルケアから始 めることが大切です。このような社会状況 に対応するため、このたび「歯学」を発展 させ、歯の健康だけではなく全身の健康を 担う歯科医療、「口腔医学」によって歯科 医師を養成する事業を開始しました。医学・ 歯学の学問体系を整備し、時代に合った 教育を目指すこの「口腔医学の学問体系 の確立と医学・歯学教育体制の再考」事 業は、文部科学省2008年度戦略的大学 連携支援事業に採択され、本格的な活動 を開始しました。

#### 全国の8大学が連携して 事業に取り組んでいます。

本事業は福岡歯科大学を代表校として、 北海道医療大学、岩手医科大学、昭和大学、 神奈川歯科大学、鶴見大学、九州歯科大学、 福岡大学の8校が協力。歯学部では医科 のカリキュラムを充実させるなど、授業全体



の改革をはかります。一方で医学部を持つ 大学では、口腔ケアを重視した実習を取り 入れるなど、これからの社会が必要とする 医療人を育成するための教育を検討して いきます。

#### 事業の本格化へ向けて、 具体的な取り組みをはじめています。

今後も、口腔医学によるこれからの歯科 医療、医学・歯学教育体制の再考につい て多くの皆さんに知っていただくためのさま ざまな取り組みを計画しています。

#### 〈平成20年度活動実績〉

- ・大学教育改革プログラム合同フォーラム参加
- 「口腔医学」シンポジウム開催
- •海外調査
- ・ 海外の 歯科医師 養成教育の紹介
- ・SD (スタッフ・ディベロップメント) 研修
- ・連携大学間テレビ会議

ご意見をお寄せ下さい 福岡歯科大学 kikaku@college.fdcnet.ac.jp

文部科学省戦略的大学連携支援事業(平成20年度~22年度)

口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考

# 全身の健康を考える歯科医療へ!

## 変わりつつある歯科医療に対応

歯周病と糖尿病や心臓の病気との因果関係が数多くの研究で明らかになってきま した。だからこそ、歯の治療だけにとどまらない歯科医療が今必要とされています。 健康志向が高まる中、健康な身体は、口の健康、口の中のケアから始めるのが、重要 なポイント。

そこで、時代のニーズに対応するため歯学を発展させ、歯の健康だけでなく全身の 健康を担う歯科医療、「口腔医学」に基づく歯科医師を養成する事業を8大学(福岡 歯科大学、九州歯科大学、北海道医療大学、岩手医科大学、昭和大学、神奈川歯科大 学、鶴見大学、福岡大学)が連携協力して開始しました。医学・歯学の学問体系を整 備し、時代に合った教育を目指すこの「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教 育体制の再考」事業は文部科学省助成の2008年度戦略的大学連携支援事業にも 採択され、質の高い医療人の養成を行います。



岩手医科大学

福岡大学

九州歯科大学

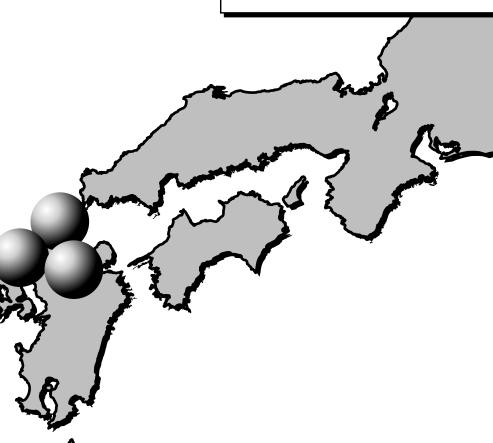
昭和大学

神奈川歯科大学

福岡歯科大学

北海道医療大学

鶴見大学



## 「歯科医学」から「口腔医学」へ

## 最善の医療を提供し、信頼される医療人の育成

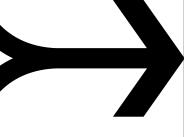
口腔医学とは、全身疾患・全身の健康との関連を重視した口腔疾患の予防・治療・ケ アを対象とする学問です。

これからの社会が必要とする歯科医師は全身の健康維持について医師と同等な知 識と理解を持ち、口腔疾患の予防・治療に対する専門的な能力を持った医療者です。 こうした医療者を育成するために、連携する8大学は協力して「口腔医学カリキュラ ムの作成と実施」、「教職員の相互研修派遣」、「教職員に対する教育研修」、「海外の 教育事情に関する情報収集とその応用」、「口腔医学に関する情報の発信」などの 事業を行い、医師・歯科医師の資質向上に役立てます。

口腔医学教育を実施することによって、口腔の健康から全身の健康を担う医療人、 21世紀社会に求められる医療人を育成します。



歯と周囲組織の疾病 の治療



口腔医学教育

全身との関連を重視

口腔と歯・周囲組織 の疾病の治療



〈平成20年度活動実績〉

大学教育改革プログラム合同フォーラム参加

「口腔医学」シンポジウム開催

海外調査

海外の歯科医師養成教育の紹介

SD(スタッフ・ディベロップメント)研修

連携大学間テレビ会議

平成20年度文部科学省

## 戦略的大学連携支援事業

代表校

福岡歯科大学

#### 連携校

九州歯科大学 北海道医療大学 岩手医科大学 昭和大学 神奈川歯科大学 鶴見大学 福岡大学

#### 関係自治体等

社会福祉法人「学而会」 特別養護老人ホーム サンシャインプラザ

#### 更新履歴

概要(PDF) 概要図

#### トピックス

- 「海外視察報告会」を開催(3月23日)
- 「第1回口腔医学自己点検・評価委員会」を開催(3月23日)
- 平成20年度SD研修を開催(2月19日~20日)
- 『口腔医学』シンポジウム、開催 (平成20年度FD事業)(1月22日)
- 「第2回口腔医学カリキュラム作成担当者会議」を開催(1月22日)
- 文科省平成20年度「大学教育改革プログラム合同フォーラム」ポスターセッションへ出展しました。(平成21年1月12~13日、於:パシフィコ横浜)
- 「第2回学長・学部長会議」及び「第2回戦略連携事業実施担当者会議」合同会議を開催しました。(1月10日、於:昭和大学旗の台キャンパス)
- 第1回各担当者会議、開催
- 『「口腔医学」確立と教育体制整備』として日本歯科新聞に掲載されました。(11月4日付) 日本歯科新聞(PDF) 歯科通信(PDF)
- 第1回連携大学学長・学部長会議を開催しました。(9月4日)

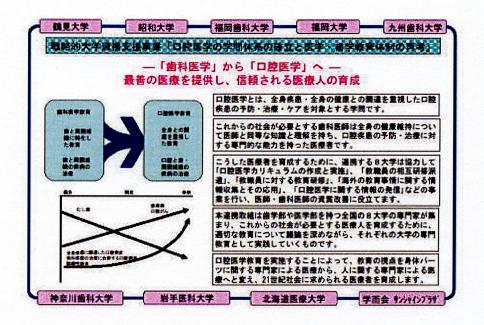
#### お知らせ

#### ・取組名称「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」

本事業は、次代の患者ニーズ・社会ニーズに対応する医療人の育成を目指すもので、医歯学連携による口腔医学の教育プログラム開発・実施、FD・SD活動、教職員の人事交流、学外実習など多様な連携取組が行われます。また、全国横断的に医歯学系の大学間が連携することで効果的な教育研究活動の展開が期待され、特に歯科医師の資質向上に大きく貢献することになると思われます。

#### 1. 事業の戦略目標

医学、歯学、生命科学等の急速な進歩、少子高齢化社会、国民の生活環境の改善等によって疾病構造は変化し、医療に対する社会のニーズは大きく変化した。時代のニーズに対応した医療人の育成が医育機関に求められており、口腔疾患の予防・治療を行う医療人の育成には「歯学」から、「医学」の学問体系の中に確立した「口腔医学」によって行うのが最善である。また、高齢者医療における「四腔疾患の予防、の重性も認識する必要がある。本を、高齢者医療における「口腔医学」のが、医学教育における「口腔医学」を創設し、医学・歯学の教育体制を関係として、医歯連携によって「口腔医学」の学問体系を確立し、その教育体制を再発として、医歯連携によって「口腔医学」の学問体系を確立し、その教育体制を育成する。本連携取組を核として、より大きな連携形成につとめ、現在の医師・歯科を関する。本連携取組を核として、より大きな連携形成につとめ、現在の医師・歯科を関するのあり方、医学部・歯学部の設置形態等について検討し、連携校は協力して決制度等を含めた教育環境の改革を関係官庁および関連諸団体に働きかけ、合理的対象、次代にマッチする医学・歯学を統合した一体教育を実施する。



#### 2. 密接な連携を担保するための実施体制の在り方

各連携校の学長・学部長、担当代表者、職員による「連携大学学長・学部長会議」、「担当者会議」および「連携事務会議」によって取組を実施し、必要に応じて各大学の審議機関で審議する。担当者会議は高速ネットワークシステムを用いたテレビ会議と通常の会議とによって情報と認識の共通化を行う。事務に関する統括は福岡歯科大学連携企画室が行い、教育プログラムの実施に関する具体的な業務は各連携大学事務部局が担当する。各大学から選任された教職員及び学外の有識者で構成される「口腔医学自己点検・評価委員会」を設置し、本取組の内部評価を行い、評価結果は各連携校の各施設・部局にフィードバックし改善資料とする。

#### 3. その他大学間連携を実施する上で必要な事項

広域連携という本取組の地勢的問題をクリアするため、テレビ会議システムを連携校間に配備する。国内・国際シンポジウムを開催するとともに、歯科医師会、医師会等関係諸団体と協議し、プログラムの深化と社会に対する啓発を行う。口腔医学確立に向けて、協力施設の地域・広域ネットワーク化、連携校専任教職員の人事交流の活性化等を図る。

#### 4. 戦略的大学連携支援事業とは

文部科学省では、平成20年度から、国公私立大学間の積極的な連携を推進し、各大学における教育研究資源を有効活用することにより、当該地域の知の拠点として、教育研究水準のさらなる高度化、個性・特色の明確化、大学運営基盤の強化等を図ることを目的とした「戦略的大学連携支援事業」を実施している。

お問い合わせ 〒814-0193

福岡市早良区田村2丁目15番1号

福岡歯科学園企画課

TEL: 092-801-0411(代) FAX: 092-801-3678

MAIL: kikaku@college.fdcnet.ac.jp

▶ニュース一覧へ

Home

#### 加盟大学ニュース

▶ 加盟大学ニュース

高等教育ニュース

審議会ニュース

協会本部ニュース

協会支部ニュース

研修会・協議会参加 申し込み

イベント掲載申請

アンケート調査

2009年1月22日

#### 福岡歯科大学 「口腔医学」シンポジウム開催

去る1月22日、福岡県歯科医師会館において、文部科学省助成の8大学(福岡歯科大学・九州歯科大学・北海道医療大学・岩手医科大学・昭和大学・神奈川歯科大学・鶴見大学・福岡大学)連携による戦略的大学連携支援事業取組名称「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」に係る平成20年度FD事業:『口腔医学』シンポジウムが開催された。



テーマを『「口腔

医学」―歯科医療の将来像―』として、福岡歯科大学の田中健 藏理事長をモデュレータ、に本田武司福岡歯科大学長、瀬戸晥 一鶴見大学歯学部特命教授、戸塚靖則北海道大学歯学部教 授、鴨下重彦国立国際医療センター名誉総長、中川尚志福岡 大学医学部教授らが講演した。そののちに討論が行われ、活発 な議論が交わされました。100人に及ぶ歯学・医学の関係者が 全国から参加し、口腔医学の推進に有意義なシンポジウムとなった。



Page Top

Copyright (c) Association of Private Universities of Japan 1999-2009. All rights reserved.

トニュース一覧へ

Home

#### 加盟大学ニュース

▶ 加盟大学ニュース

高等教育ニュース

審議会ニュース

協会本部ニュース

協会支部ニュース

研修会・協議会参加 申し込み

イベント掲載申請

アンケート調査

2009年2月19日

#### 戦略的大学連携支援事業SD研修を開催 福岡歯科大学

去る2月19日、20日の2日間、福岡歯科大学において、戦略的 大学連携支援事業平成20年度SD(スタッフ・ディベロップメント) 研修が開催された。

これは、文部科学省の戦略的大学連携支援事業に採択された、福岡歯科大学が代表校となり、九州歯科大学、北海道医療大学、岩手医科大学、昭和大学、神奈川歯科大学、鶴見大学、福岡大学と連携して取組む『「口腔医学」の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考』の事業の一環として行われた。

同研修は、各連携校の中核的な職員に対し、問題解決能力向 上を目指すことを目的に開催された。

1日目は、福岡歯科学園田中健藏理事長の「口腔医学の確立

について」、福岡歯科大学北村憲司学長の「戦略的大学連携支援事業概要について」の講演の後、文科省高等教育局村本定則氏による基調講演「高等教育及び私学の現状と問題点」が行われた。

2日目は、事前に提出された業務上の課題について、グループ討議を行い、意見の交換を行いました。続いて 広島大学高等教育研究開発センター山本眞ーセンター長の「大学職員の能力開発―より良い経営と教職協働 のために―」と題する講演が行われ、その後に感想及び各大学の能力開発の実態等についての活発なディスカッションが行われた。参加者は、大学を取り巻く環境の変化や大学から求められている能力・知識を再確認し、これからの大学職員として、為すべきことを考える機会であったとともに、北海道から九州までの医学・歯学 系大学職員が交流する、またとない機会となった。

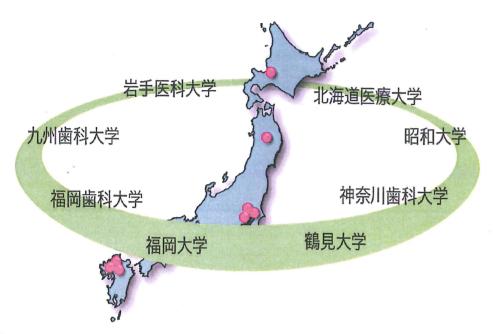
今回は、連携校の職員に、それぞれの大学で講演を聴講することができるよう、補助金で導入したTV会議システムを利用の上、講演を連携校に同時配信した。



Page Top

## 平成 20 年度戦略的大学連携支援事業

## 口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考



#### 背景

- 1 医療の進歩、栄養状態の改善、健康に対する意識の向上 等による平均寿命の延長
- 2 栄養状態の変化と生活習慣病の増加
- 3 少子化と団塊世代の高齢化による少子高齢社会の到来
- 4 むし歯の減少と残存歯の増加による歯周病の増加
- 5 高齢化に伴う口腔がんの増加
- 6 口腔疾患と全身疾患の関係の科学的な証明

歯科医師は口腔ケアの観点から全身の健康に留意できる医療 者であることが必要であり、医師は全身の健康を管理する観

点から口腔ケアの重要性を認識する必要がある。 一般医学に関する教育を受けた歯科医師と口腔 疾患に関する教育を受けた医師による連携がこれからの医療にとって最善の方法である。その

ために、大学は「医学」教育と、医学と共通基盤にたつ「口腔 医学」教育によって、医師及び歯科医師を育成し、国民の健康 に奉仕することが求められている。

## コンセプト

## 「歯科医学」から「口腔医学」へ

口腔疾患は全身の健康に密接に関係しており、歯とその周囲組織の疾患の予防・治療に限局した「歯科医学」教育から全身疾患との関係を含めた口腔疾患の予防・治療・ケアを対象とする「口腔医学」に再編し、「口腔医学」教育によって歯科医師を育成することが、社会のニーズであり、時代の要請である。

本事業は社会ニーズから乖離しつつある歯科医学教育を次世代にマッチした口腔医学教育として再編し、口腔疾患と全身疾患との関連について十分な知識を持ち、口腔ケ

アを含む口腔疾患の予防、治療ができる医療人の育成を目指す。

事業内容:口腔医学を確立するために



2 医学部における口腔医学教育の意義・役割と充実に向けた事業 口腔ケアを重視した介護実習の実施

3 教職員の人事交流の活性化・FD/SD事業の共同実施による能力向上

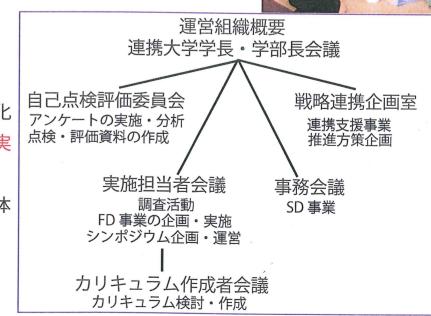
## 授業担当者の相互乗り入れ 職員の派遣研修

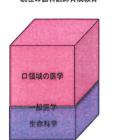
基礎専門教育と社会医学系教育の 役割分析と口腔医学教育への最適化 基礎系・社会医学系教育の共同実 施化の可能性追求

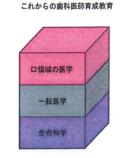
社会への情報発信と医学・歯学一体 的教育に向けての環境整備

シンポジウム・講演会の開催、ポスター等の作成・配布、

学識経験者、医療教育研究者、医療従事者との意見交換等











戦略的大学連携支援事業 平成20年度FD 學素



一面科医療の特殊像一

岩手医科大学 九州歯科大学 福岡歯科大学

"北海道医療大学 昭和大学 神奈川歯科大学

鶴見大学



平成21年1月22日(木) 14:00~17:00

福岡県歯科医師会館(5階) 視聴覚室

スピーカー:

本田 武司 (福岡歯科大学学長)

瀬戸 晥一 (鶴見大学歯学部特命教授)

戸塚 靖則 (北海道大学歯学部教授)

鴨下重彦(財団法人小児医学研究振興財団理事長)

中川 尚志 (福岡大学医学部教授)

モデュレータ:

田中 健藏 (福岡歯科学園理事長)

多数の方の御来聴を歓迎します。シンポジウム終了後、シンポジストを交えて懇親会(1階)を開催します。

連絡先:福岡歯科大学企画課戦略連携企画室

Tel: 092-801-0411 E-mail: kikaku@college.fdcnet.ac.jp